

SC-F7200 SC-F7100 SC-F7000

ユーザーズガイド

本製品の基本的な操作方法、日常お使いいただく上で必要な事項などを説明しています。

商標

「EPSON」、「EPSON EXCEED YOUR VISION」、 「EXCEED YOUR VISION」はセイコーエプソン株式会社の 登録商標または商標です。

Microsoft、Windows、Windows Vista は、米国 Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。 Mac、Mac OS、Bonjour は米国およびその他の国で登録さ れた Apple Inc. の商標です。

Adobe、Reader は Adobe Systems Incorporated (アド ビシステムズ社)の登録商標です。

その他の製品名は各社の商標または登録商標です。

ご注意

- 本書の内容の一部または全部を無断転載することを禁止します。
- 本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容にご不明な点や誤り、記載漏れなど、お気付きの点がありましたら弊社までご連絡ください。
- 運用した結果の影響については前項に関わらず責任を負い かねますのでご了承ください。
- 本製品が、本書の記載に従わずに取り扱われたり、不適当 に使用されたり、弊社および弊社指定以外の、第三者によっ て修理や変更されたことなどに起因して生じた障害等の責 任は負いかねますのでご了承ください。

インクパックは純正品をお勧めします

プリンター性能をフルに発揮するためにエプソン純正品のイ ンクパックを使用することをお勧めします。純正品以外のもの をご使用になりますと、プリンター本体や印刷品質に悪影響が 出るなど、プリンター本来の性能を発揮できない場合がありま す。純正品以外の品質や信頼性について保証できません。非純 正品の使用に起因して生じた本体の損傷、故障については、保 証期間内であっても有償修理となります。

もくじ

ご使用の前に 5
マニュアルの種類と使い方5 マニュアルの構成 5 マークの意味 5 掲載画面 5 掲載イラスト 5 OS の表記 5 PDF マニュアルの見方 6
各部の名称と働き
特長 19 高生産性を実現 19 優れた使いやすさ 19 高画質印刷 20
使用・保管時のご注意20 設置スペース 20 使用時のご注意 20 使用しないときのご注意 21 インクパック・インクタンク取り扱い上のご注 意 21 メディア取り扱い上のご注意 22
添付ソフトウェアの使い方 23
ソフトウェアディスクの内容 23
ソフトウェアの削除 25
LFP リモートパネル 2 の使い方26 LFP リモートパネル 2 の起動方法 26 LFP リモートパネル 2 の終了方法 26
基本の操作 27

メディアのセットと交換27 メディアセット前のご注意 27 メディアのセット方法 (SC-F7200/SC-F7100 の場 合) 27 メディアのセット方法 (SC-F7000 の場合) 33

メディアの交換 40
自動巻取りユニットの使い方 42
メディアの取り付け方(SC-F7200/SC-F7100 の場 合) 42 巻き取ったメディアの取り外し(SC-F7200/SC-F7100 の場合) 49 メディアの取り付け方(SC-F7000 の場合) 50 巻き取ったメディアの取り外し(SC-F7000 の場 合) 56
印刷前の確認 57
使用するメディアに最適な設定を保存(印刷メディ アの設定) 57
メディア設定の内容 57 設定の保存方法 57
印刷のズレ調整(ギャップ調整) 63
メディア送り補正 64 調整パターンを印刷して補正する 65
印刷途中に設定を変更する
メディア送り補正 66 ヒーター/乾燥設定 67
印刷可能領域 68

メディアの確認と設定変更 39

メンテナンスの種類と実施時期 7	0
清掃 70 消耗品の交換・補充 71 その他のメンテナンス 71	
準備と留意点 7	2
準備するもの 72 作業時のご注意 72 プリントヘッドの移動 73	
清掃 7	4
プリントヘッド周辺の清掃 74 キャップの清掃 76 ワイパーと装着部の清掃 79 プラテン・加圧ローラー・メディア押さえ板の 掃 81	青
消耗品の交換・補充 8	3
インクの補充 83 廃インク処理 88	

ワイパークリーナーとワイパーの交換 90 スライド式メディア押さえ板の交換 92	
その他のメンテナンス	95
高濃度ブラックインクのかくはん 95 ノズルの目詰まりチェック 96 ヘッドクリーニング 97	
使用済み消耗品の処分	98
定期交換部品	98

操作パネルのメニューの使い方 **100**

メニューの操作 100)
設定メニュー一覧 101	L
設定メニューの説明 105	5
メディア管理メニュー 105 プリンター設定メニュー 111 メンテナンスメニュー 113 印刷履歴メニュー 113 プリンターステータスメニュー 113 ネットワーク設定メニュー 114 環境設定メニュー 114 全設定の初期化メニュー 115	

困ったときは 116

メッセージが表示されたとき	116
メンテナンスコール/サービスコールが発生した。	とき
は	117
トラブルシューティング	118
印刷できない(プリンターが動かない) 118 プリンターは動くが印刷されない 118 印刷品質/印刷結果のトラブル 119 メディアのトラブル 123 その他 125	
お問い合わせいただく前に エプソンのホームページの Q&A 126 ファームウェアのバージョンアップ 126 トラブルが解消されないときは 126	126

付録 127

消耗品とオプション	 127
使用可能なメディア	 128

移動と輸送	129
移動の方法 129 輸送の方法 130	
メディアガイドバーの脱着	130
メディアガイドバーの取り外し 130 メディアガイドバーの取り付け 132	
平行調整	135
調整ツール A の場合 135 調整ツール B の場合 146	
システム条件	160
仕様一覧	160
サービス・サポートのご案内	162
各種サービス・サポートについて 162 保守サービスのご案内 162	
お問い合わせ先	164
製品に関する諸注意と適合規格	165

ご使用の前に

マニュアルの種類と使い方

マニュアルの構成

本製品には以下のマニュアルが付属しています。 PDF マニュアルは、本製品付属のソフトウェアディスク に収録されています。PDF マニュアルは、Adobe Reader やプレビュー(Mac OS X)などでご覧ください。

セットアップガイド (冊子)	本機を箱から取り出した以降から、本 機を使用可能にするまでの作業を説明 しています。作業を安全に行うため に、必ずご覧ください。
ユーザーズガイド (本書)	本機の基本的な操作方法や日常お使い いただく上で必要な事項、メンテナン ス作業、困ったときの対処方法などを 説明しています。
ネットワークガイド (PDF)	ネットワークプリンターとして使用す るための情報を記載しています。

製品マニュアルの最新版 PDF データをダウンロードでき るサービスを提供しています。 http://www.epson.jp/support/

マークの意味

安全に関するマーク

マニュアルでは、お客様や他の人々への危害や財産への 損害を未然に防止するために、危険を伴う操作や取り扱 いを次の記号で警告表示しています。内容をご理解の上 で本文をお読みください。

⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いを すると、人が死亡または重傷を負う可 能性が想定される内容を示していま す。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いを すると、人が傷害を負う可能性および 財産の損害の可能性が想定される内容 を示しています。

一般情報に関する表示

!重要	必ず守っていただきたい内容を記載し ています。この内容を無視して誤った 取り扱いをすると、製品の故障や、動 作不良の原因になる可能性がありま す。
参考	補足説明や参考情報を記載していま す。
ß	関連した内容の参照ページを示してい ます。参照先が青字で記載されている ときは、青字の部分をクリックすると 該当のページが表示されます。
[プリンター設定]	操作パネルやコンピューターの画面に 表示される文字列は[]で囲んで示し ます。
【OK】ボタン	操作パネルのボタン名称を示していま す。

掲載画面

本書の画面は実際の画面と多少異なることがあります。 また、OSの違いや使用環境によっても異なる画面となる ことがありますので、ご注意ください。

掲載イラスト

本書に掲載のイラストは、実物と多少異なることがあり ます。

OSの表記

Windows の表記

Microsoft[®] Windows[®] XP operating system 日本語版 Microsoft[®] Windows Vista[®] operating system 日本語版 Microsoft[®] Windows[®] 7 operating system 日本語版 Microsoft[®] Windows[®] 8 operating system 日本語版 本書では、上記の OS(オペレーティングシステム)をそ れぞれ「Windows XP」、「Windows Vista」、「Windows 7」、 「Windows 8」と表記しています。またこれらの総称とし て「Windows」を使用しています。

Mac OS の表記

Mac OS X v10.6.8 以降 本書では、上記各オペレーティングシステムを「Mac OS X」と表記しています。

PDF マニュアルの見方

Adobe Reader で PDF マニュアルを見る際の基本的な操作 を Adobe Reader X で表示したときを例に説明します。



- PDF マニュアルを印刷するときにクリックします。
- クリックするたびに、しおりを閉じたり表示したりします。
- ③ タイトルをクリックすると該当のページが表示されます。

[+]をクリックすると、下の階層のタイトルが表示されます。

```
④参照先が青字で記載されているときは、青字の部分

をクリックすると該当のページが表示されます。

元のページに戻るときは、以下のように行います。

Windowsの場合
```

【Alt】キーを押したまま【←】キーを押します。 Mac OS X の場合

【command】キーを押したまま【←】キーを押しま す。

6 確認したい項目名などキーワードを入力して検索ができます。

Windows の場合

PDF マニュアルのページ上で右クリックし、表示されたメニューで[簡易検索]を選択すると、検索ツールバーが表示されます。

- Mac OS X の場合
- [編集] メニューで [簡易検索] を選択すると、検 索ツールバーが表示されます。

⑥ 表示中の文字が小さくて見えにくいときは ● をクリックすると拡大します。 ● をクリックすると縮小します。イラストや画面図など拡大する部分を指定するには、以下のように行います。
 Windowsの場合

PDF マニュアルのページ上で右クリックし、表示されたメニューで[マーキーズーム]を選択します。 ポインターが虫眼鏡に変わりますので拡大したい箇 所を範囲指定します。

Mac OS X の場合

[表示] メニュー - [ズーム] - [マーキーズーム] の順にクリックすると、ポインターが虫眼鏡に変わ ります。そのまま虫眼鏡のポインターで拡大したい 箇所を範囲指定します。

前ページ/次ページを表示します。

ご使用の前に

各部の名称と働き

正面(SC-F7200/SC-F7100)

SC-F7200 のイラストで説明します。



● メンテナンスカバー(左)

プリントヘッドを清掃するときに開けます。通常は必ず閉めた状態でお使いください。 ∠☞「プリントヘッド周辺の清掃」74ページ

2 アフターヒーター

印刷後のインクをすばやく乾かすことができます。 *C* 「ヒーター/乾燥設定(SC-F7200/SC-F7100のみ)」58ページ

🕄 メディアガイドバー

メディアを巻き取るとき、メディアがたるまないように張りを保ちます。

④ ハンドル

メディアを左側のロールホルダーに装着後、ハンドルを回すとロールホルダーが押し込まれメディアの紙管に加圧します。

⑤ 紙管ホルダー

メディア巻き取り用の使用済みの紙管を装着します。左右両側にあります。 ピア「メディアの取り付け方(SC-F7200/SC-F7100の場合)」42ページ

6 紙管ホルダー固定ネジ

紙管を紙管ホルダーに装着後、このネジで紙管ホルダーを固定します。左右両側にあります。

🖸 ロールサポート

巻き取り終わったメディアを取り外す作業中に一旦メディアを置く台です。左右両側にあります。

8 調整ネジ

平行調整作業で使用します。

O Auto スイッチ

自動巻き取りの方向を設定するスイッチです。Offにすると巻き取りません。

🛈 Manual スイッチ

手動巻き取りの方向を設定するスイッチです。Auto スイッチが Off のときに機能します。

1 キャスター

左右の脚部に、2 つずつ付いています。本機を設置後は前面のキャスターを常にロックした状態でお使いください。 固定具を下げすぎるとキャスターが浮いてしまいます。キャスターが浮いた状態で使用しないでください。

12 通風口

内部に空気を取り込みます。通風口を塞がないでください。

⑥ 廃インクボトルホルダー

廃インクボトルをここに設置します。

1 固定具

左右の脚部に、SC-F7200 は 2 つずつ、SC-F7100 は 1 つずつ付いています。キャスターでのロックに加えて、さら に確実に本機を固定するために使います。本機の水平調整には使えません。本機を設置後は、確実に固定した状態 でお使いください。

・ 優インクボトル

廃インクをためる容器です。

廃インクがボトルのラインの付近までたまったら、新しい廃インクボトルと交換してください。

16 ストッパー

廃インクを排出するときの飛び散りを防ぎます。

通常は廃インクボトルの口に密着した状態で使用してください。

🛈 廃インクチューブ

このチューブから廃インクが排出されます。チューブの先を必ず廃インクボトルに入れた状態でお使いください。

18 インクタンク

印刷に使うインクを貯留します。

19 スライダー

∠∽ [スライダー] 13ページ

20 かくはん棒

高濃度ブラックインクのインクタンクのみ付いています。インクタンク内のインクは、1週間に1度かくはんしてく ださい。

② ロックレバー

チップユニット交換時に、スライダーを取り外すときは、ロックレバーを上げてロックを解除します。スライダー 挿入後は、必ずロックレバーを下げてロックしてお使いください。

② チップユニットチェックランプ

チップユニットに関するメッセージが表示されると点灯します。

- 点灯
 「操作パネルの画面でメッセージを確認し、対応してください。
- 消灯 :問題ありません。

② 電源コネクター#1/電源コネクター#2

電源コードを接続します。必ず両方とも接続してください。

🖉 LAN ポート

∠¬¬ 「LAN ポート」 13 ページ

🕗 USB ポート

USB ケーブルを接続します。

🐵 メンテナンスカバー(右)

プリントヘッド周りのメンテナンスをするときに開けます。通常は必ず閉めた状態でお使いください。 *△*ア「清掃」74 ページ

② メディアセットレバー

メディアをセット後に、メディアセットレバーを下げてメディアを押さえます。メディアを取り外すときは、メディ アセットレバーを上げてメディアを解放します。

❷ 大型アラートランプ

エラーが発生すると点灯/点滅します。

点灯/点滅 : エラーが生じています。点灯/点滅はエラーの内容によって異なります。エラーの内容は操作パネルの 画面で確認できます。

消灯 : 問題ありません。

29 操作パネル

_중 「操作パネル」 16 ページ

③ 前面カバー

メディアのセットや内部の清掃、メディア詰まり時に開けます。通常は必ず閉めた状態でお使いください。



● メンテナンスカバー(左)

プリントヘッドを清掃するときに開けます。通常は必ず閉めた状態でお使いください。 *△*ア「プリントヘッド周辺の清掃」74ページ

❷ 排出ガイド

このガイドに沿ってメディアが排出されます。

③ 紙管ホルダー

メディア巻き取り用の使用済みの紙管を装着します。左右両側にあります。 ∠3 「メディアの取り付け方(SC-F7000の場合)」50ページ

④ テンショナー

メディアを巻き取るとき、メディアがたるまないように張りを保ちます。

⑤ 紙管ホルダー固定ネジ

紙管を紙管ホルダーに装着後、このネジで紙管ホルダーを固定します。左右両側にあります。

⑥ ロールサポート

巻き取り終わったメディアを取り外す作業中に一旦メディアを置く台です。左右両側にあります。

🕖 Auto スイッチ

自動巻き取りの方向を設定するスイッチです。Offにすると巻き取りません。

8 Manual スイッチ

手動巻き取りの方向を設定するスイッチです。Auto スイッチが Off のときに機能します。

9 キャスター

左右の脚部に、2 つずつ付いています。本機を設置後は前面のキャスターを常にロックした状態でお使いください。 固定具を下げすぎるとキャスターが浮いてしまいます。キャスターが浮いた状態で使用しないでください。

● 廃インクボトルホルダー

廃インクボトルをここに設置します。

① 固定具

キャスターでのロックに加えて、さらに確実に本機を固定するために使います。本機の水平調整には使えません。 本機を設置後は、確実に固定した状態でお使いください。

⑫ 廃インクボトル

廃インクをためる容器です。

廃インクがボトルのラインの付近までたまったら、新しい廃インクボトルと交換してください。

B ストッパー

廃インクを排出するときの飛び散りを防ぎます。 通常は廃インクボトルの口に密着した状態で使用してください。

🕜 廃インクチューブ

このチューブから廃インクが排出されます。チューブの先を必ず廃インクボトルに入れた状態でお使いください。

① インクタンク

印刷に使うインクを貯留します。

10 スライダー

∠∽「スライダー」13ページ

1 ロックレバー

チップユニット交換時に、スライダーを取り外すときは、ロックレバーを上げてロックを解除します。スライダー 挿入後は、必ずロックレバーを下げてロックしてお使いください。

18 チップユニットチェックランプ

チップユニットに関するメッセージが表示されると点灯します。

点灯 洋操作パネルの画面でメッセージを確認し、対応してください。

消灯 :問題ありません。

① 電源コネクター

電源コードを接続します。

🖉 LAN ポート

🗿 USB ポート

USB ケーブルを接続します。

② メンテナンスカバー(右)

プリントヘッド周りのメンテナンスをするときに開けます。通常は必ず閉めた状態でお使いください。 ∠3 「清掃」74 ページ

② メディアセットレバー

メディアをセット後に、メディアセットレバーを下げてメディアを押さえます。メディアを取り外すときは、メディ アセットレバーを上げてメディアを解放します。

② 大型アラートランプ

エラーが発生すると点灯/点滅します。

点灯/点滅 : エラーが生じています。点灯/点滅はエラーの内容によって異なります。エラーの内容は操作パネルの 画面で確認できます。

消灯 : 問題ありません。

🐵 操作パネル

∠∽ 「操作パネル」 16 ページ

🛽 前面カバー

メディアのセットや内部の清掃、メディア詰まり時に開けます。通常は必ず閉めた状態でお使いください。



① スライダー

インクパックに付属のチップユニットを装着します。 ∠3 「インクの補充」83 ページ

❷ 注入口カバー

インクタンクにインクを補充するときに開けます。

・ チップユニット

IC チップが搭載されたユニットです。 インクパックに付属しています。



● RJ-45 コネクター

LAN ケーブルを接続します。LAN ケーブルは、シー ルドツイストペアケーブル(カテゴリー 5 以上)を 使用してください。

2 データランプ(オレンジ)

ネットワークの接続状態またはデータの受信状態が 点灯/点滅で示されます。

- 点灯 : 接続状態です。
- 点滅 ジデータ受信中です。

❸ ステータスランプ(緑/赤)

- ネットワークの通信速度が色で示されます。
- 赤色 : 100Base-TX
- 緑色 : 1000Base-T

内部

以下の各部位が汚れると、良好な印刷結果が得られません。各項目に記載の参照ページをご覧になり、清掃や交換をして ください。SC-F7200のイラストで説明します。



0 プリントヘッド

左右に移動しながらインクを吐出して印刷します。1週間に1度、清掃が必要です。 ∠3 「プリントヘッド周辺の清掃」74ページ

❷ メディア押さえ板

メディアの浮き上がりやメディア裁断面の毛羽がプリントヘッドに触れるのを防ぎます。メディアの左右端に取り 付けて印刷します。

🚯 カッター溝

メディアをカットするとき、この溝に沿って市販のカッターの刃を移動してカットします。

❹ 加圧ローラー

6 プラテン

この部分でメディアを吸着して印刷します。 ∠3 「プラテン・加圧ローラー・メディア押さえ板の清掃」81ページ

G ワイパークリーナー

ワイパーに付いたインクを拭き取ります。ワイパークリーナーは消耗品です。状態に応じて、交換が必要です。 ∠3 「ワイパークリーナーとワイパーの交換」90ページ

🖸 吸引キャップ

このキャップでプリントヘッドのノズルからインクを引き出します。吸引キャップの内側に触れないでください。 部品が変形して、正常にキャッピングできなくなるおそれがあります。

❸ 乾燥防止キャップ

印刷時を除き、このキャップでプリントヘッドのノズルを塞いで乾燥を防ぎます。1 週間に1度、清掃が必要です。 ∠3 「キャップの清掃」76 ページ

9 ワイパー

プリントヘッドのノズルに付いたインクを拭き取ります。ワイパーは消耗品です。状態に応じて、清掃や交換が必要です。 *△*ア「ワイパーと装着部の清掃」79 ページ

△ 「ワイパークリーナーとワイパーの交換」90ページ

背面

SC-F7000 のイラストで説明します。



● 駆動スイッチ

メディアセット時にメディアを送ったり、メディア交換時に巻き戻したりできます。

🛿 ロールホルダー

メディアを装着します。左右両側にあります。

③ ロールホルダー固定ネジ

メディアをロールホルダーに装着後、このネジでロールホルダーを固定します。左右両側にあります。

④ リフトレバー

メディアをロールホルダーに装着する際に重いと感じるときは、このレバーを使うと負担なくメディアをロールホ ルダーの位置まで持ち上げられます。左右両側にあります。

❺ 挿入ガイド

このガイドに沿ってメディアを挿入します。

6 ロールサポート

メディアをロールホルダーに装着するとき、一旦ここに置いてから装着作業をします。左右両側にあります。

⑦ ハンドル

メディアを右側のロールホルダーに装着後、ハンドルを回すとロールホルダーが押し込まれメディアの紙管に加圧します。



【
じ
】 ボタン(電源ボタン)
 本機の電源を入れたり、切ったりします。

❷ ○ランプ(電源ランプ)

本機の動作状態が点灯/点滅で示されます。

- 点灯 : 電源が入っています。
- 点滅 : データ受信中または本機の電源を切る、ヘッ ドクリーニングなどの処理中です。
- 消灯 : 電源が入っていません。

画面にメディア管理メニューが表示され、[メディア 残量管理]や[メディア選択]、[メディア設定変 更]、[設定内容の印刷]が行えます。印刷中に押し たときは、動作しません。 ∠☞「メディア管理メニュー」105ページ

4 画面

本機の状態やメニュー、エラーメッセージなどが表示されます。∠☞「画面の見方」17ページ

- ③ 【3】ボタン(戻るボタン)

設定メニュー表示中にひとつ上の階層に戻るときに 押します。 </>
。 </>
プ
「メニューの操作」 100 ページ

- ②【▲】/【▶】ボタン(左右ボタン)
 設定メニューで[設定名の登録]や[IP アドレス]
 などを任意に設定する際、入力する文字の位置を指
 定するときに押します。
- ③ 【▲】/【▼】ボタン(メディア送りボタン)
 ・メディアがセットされているときは、【▼】ボタン

を押すとメディアが送られ、【▲】ボタンを押すと 巻き戻ります。【▼】ボタンを押し続けるとメディ アを最大 103cm まで送ることができます。【▲】 ボタンを押し続けるとメディアを最大 25cm まで戻 すことができます。

なお、【▲】ボタンでメディアを巻き戻したとき、 メディアの先端が印刷開始位置に達すると巻き戻 しが停止します。一旦ボタンから指を離して再度 押すと巻き戻しが再開します。

- ③ 【OK】ボタン
 - 設定メニューでメニュー項目を選択した状態で押すと、そのメニューのひとつ下の階層に進みます。
 - 設定メニューで設定値を選択した状態で押すと、
 その設定値が有効に設定されるか、あるいは実行 されます。
 - 警告ブザーが鳴っている状態で押すと、音が止まります。

🔟 🚺 ボタン

SC-F7200/SC-F7100 の場合

画面にヒーター/乾燥設定メニューが表示され、[ヒー ター温度設定]が行えます。 ∠☞「メディア管理メニュー」105 ページ

SC-F7000 の場合

設定メニューを表示中に押すと、メニューを終了し 印刷可能状態に戻ります。

 ① 【□?】ボタン(メンテナンスボタン)
 画面にメンテナンスメニューが表示され、[ノズル チェック]や[クリーニング]、[ヘッドメンテナン ス]、[廃インクカウンタークリア]が行えます。印 刷中に押したときは、動作しません。
 △? 「メンテナンスメニュー」113ページ

2 【II·11】ボタン(ポーズ/キャンセルボタン)

- 印刷中に押すと、一時停止(ポーズ)状態になります。ポーズ状態を解除するには、再度【II・⑪】ボタンを押すか、画面の[ポーズ解除]を選択して【OK】ボタンを押します。画面で[ジョブキャンセル]を選択して【OK】ボタンを押すと処理中の印刷をキャンセルできます。
- •設定メニューを表示中に押すと、メニューを終了 し印刷可能状態に戻ります。

🚯 【 🖵 】 ボタン(メディア送りボタン)

- 印刷可能状態でこのボタンを押し、次に【OK】ボ タンを押すと、印刷後のメディアがカット位置ま で送られます。
 プ「メディアのカット」41ページ
- ・印刷中に押すと、印刷中のメディアのメディア送り補正ができます。
 ∠デ「メディア送り補正」64ページ

画面の見方

SC-F7200



SC-F7100/SC-F7000



0 メッセージ

本機の状態や操作、エラーメッセージが表示されま す。 *C* 「メッセージが表示されたとき」116ページ

❷ ヒーター温度

SC-F7200、SC-F7100 で表示されます。 アフターヒーターの設定している温度の値が表示さ れます。温度計アイコンは、現在のヒーター温度の 目安を以下のように表しています。

ビーターの温度が設定温度に達しています。
 ビーターの温度が設定温度に達していませ

⑥ 印刷中のメディア送り補正情報

 h_{\circ}

印刷の途中で補正値を設定したときに表示されます。

❹ メディア情報

- 左から、選択しているメディア設定、プラテン ギャップ、メディア幅、メディア残量が表示され ます。
- 印刷メディアの選択で、本機に登録されているメディア設定番号を選択したときは、1~30の該当する番号が表示されます。[RIP 設定]を選択したときは、0が表示されます。
- プラテンギャップの設定値により、アイコンが以下のように変わります。
- PG ₺- 1.5
- PG⊧ : 2.0

PG≰**1** 2.5

•メディア残量は [メディア残量管理] で [残量管 理設定] を [OFF] に設定しているときは表示され ません。アイコンの表示はパネル表示設定で選択 したアイコンが表示されます。

∠〒「メディア管理メニュー」105ページ

チャージとチップユニットの状態 (SC-F7200)

	-1
• •	2
С	3

1 チャージの状態

新品のチップユニットを本機に装着すると、イン ク1パック分の使用可能情報が本機に書き込まれ (チャージされ)、この部分に表示されます。本機 にチャージされた1チップユニット分のインク使 用可能情報とインクの使用状況から、インク残量 を推定して表示されます。



: インクがインクタンクの底面から 70mm より多く残っていると推定 されるため、印刷には支障ありませ ん。表示はインクの使用状況に応じ て変わります。

・インクの残量を確認してください。 インクがインクタンクの底面から 70mm 以下になっていたら、チッ プユニットの交換とインク1パック を補充してください。70mm より 多いときは、70mm 以下になるま で使い続けてから、交換と補充をし てください。

2 チップユニットの状態

チップユニットの状態が以下のように表示されま す。



※ 新品のチップユニットが装着(予約)されています。
この状態でチップユニットを取り外

すと予約が解除されて点滅に変わり ます。取り外したチップユニット は、まだ本機にチャージされていな いため使用できます。

-	-	1

ジェチップユニットが予約されていません。

本機にチャージ済み(使用済み)の チップユニットが取り付けられてい るか、チップユニットが取り付けら れていません。



途中まで使用された可能性のある新品ではない(中古)チップユニットが予約されています。
 インクの使用可能情報がどのくらいあるか不明なため、新品のチップユニット(インクパック)の準備をお勧めします。使用可能情報が不明なところ以外は、上記のアイコンと同じ表示パターンになります。



スライダーのロックレバーが上がっ ています。そのため予約中のチップ ユニットから本機にチャージできま せん。ロックレバーを下げてくださ い。チャージ時期を超過すると点滅 します。



 エラーが生じています。画面のメッ セージを確認し、エラーを解除して ください。





・ チップユニットの交換時期が近づいています。インクがインクタンクの底面から70mm以下になっていたら、チップユニットの交換とインク1パックを補充してください。チップユニットの交換時期がさらに迫ってくると点滅します。



- : チップユニットが認識できないか、 予約に失敗しています。チャージに 失敗すると点滅します。画面のメッ セージを確認してください。
- * エラーまたは警告の表示中は、その表示になった チップユニットが付いていたインクパックからイ ンクタンクにインクを補充しないでください。イ ンク色の混合などにつながるおそれがあります。 メッセージに従ってエラーまたは警告が解消され たら、その時に装着したチップユニットが付いて いたインクパックからインクを補充してください。

3 インク色の略号

HDK^*	: 高濃度ブラック
BK^*	: ブラック
Y	:イエロー

- M : マゼンタ
- C : シアン

* 使用状況によりどちらか一方が表示されます。

⑤ チップユニットの状態 (SC-F7100/SC-F7000)



1 チップユニットの状態

チップユニットの状態が次のように示されます。

👖 🗄 問題ありません。印刷できます。



エラーが生じています。画面のメッセージを確認し、エラーを解除してください。



 チップユニットが認識できないか、本 機用のものではありません。あるいは、 スライダーがロックされていません。 画面のメッセージを確認してください。

インクタンクのインク残量を確認して、
 チップユニットの交換とインク補充を
 適切に行ってください。
 チップユニットの交換時期がさらに迫っ
 てくると
 が点滅します。
 デ「インクの補充」83 ページ

2 インク色の略号

- HDK^{*} : 高濃度ブラック
- BK* : ブラック
- Y : イエロー
- M : マゼンタ
- C : シアン

* 使用状況によりどちらか一方が表示されます。

⑥ 廃インクボトルの状態

廃インクボトルの空き容量の目安や状態が表示され ます。この表示は、空き容量が残り少なくなったと きやエラーが生じると以下のように変わります。



1 状態表示

廃インクボトルの状態が次のように示されます。

問題ありません。インジケーターの高
 さは空き容量に応じて変わります。



: 廃インクボトルがもう少しでいっぱい になります。新しい廃インクボトルの 準備が必要です。



※ 廃インクボトルが満杯です。新しい廃 インクボトルと交換してください。

特長

本機は、1626mm(64 インチ)のロールメディアに対応 した大判インクジェットカラープリンターです。本機の 主な特長は以下の通りです。

高生産性を実現

乾燥性向上

SC-F7200、SC-F7100 はアフターヒーター搭載により、インクをすばやく乾かすことができます。

大容量ロールが装着できるメディア搬送ユニット メディア搬送ユニットには、外径 250mm、重量 40kg ま での大容量メディアを装着できます。これにより、メディ アの交換の頻度が軽減されます。

自動巻取りユニットを標準装備

印刷後のメディアをきれいに、しわなく自動的に巻き取ることができます。大量印刷、夜間の連続印刷に役立ちます。SC-F7200、SC-F7100は連続式昇華転写機に対応可能な高精度巻き取りを実現しています。

大容量インクタンク搭載

高い生産性を実現するため、大容量インクタンクを搭載 しています。補充用のインクパックも 1000ml と大容量で 提供しています。頻繁にインクカートリッジを交換する わずらわしさがありません。

優れた使いやすさ

メディアのセット・巻き取りが簡単

ロールホルダー、紙管ホルダーともスピンドルの無い構 造のため、セット前にメディアをスピンドルにセットす る必要がありません。メディアを運んで来てそのまま直 接本機にセットできます。作業スペースが狭くても、長 いスピンドルを取り回さずに簡単にセットできます。 さらにロールサポートにメディアを仮置きできるほか、 リフトレバーを使って重たいメディアも負担なくロール ホルダーの位置まで持ち上げられます。

メンテナンスの容易さ

印刷品質を維持するためには、日々のメンテナンスが欠 かせません。本機は、メンテナンススペースが広く設計 されており、メンテナンス作業が容易に行えます。 メール通知機能でエラー/ワーニング状態を通知

本機のネットワークインターフェイスに内蔵の EpsonNet Config(Web版)にはメール通知機能が装備されていま す。メール通知設定を行うと、本機にエラーやワーニン グ発生時に、設定したアドレスにメールで状態が通知さ れます。これにより、夜間無人運転時なども安心して本 機から離れることができます。

EpsonNet Config(Web 版)の起動方法 🧷 『ネットワー クガイド(PDF)』

大型アラートランプとブザーでエラーを通知

エラーが生じたときは、ブザー音と大型アラートランプ が点灯してお知らせします。大型アラートランプは視認 性が良いので、離れた位置からも確認できます。 同時にブザーでもお知らせしますので、エラーで印刷が 止まっているのに気付かずにいたという時間の無駄使い を防止できます。

High-Speed USB/ギガビットイーサネット

High-Speed USB と 100Base-TX/1000Base-T 対応のネット ワークインターフェイスを標準搭載しています。

高画質印刷

新開発のブラックインクを用意

新開発の高濃度ブラックインクは、ブラックインクに比 ベ黒濃度が向上し、より深みのある黒の表現が可能とな りました。さらにカラーの色域も拡大し、コントラスト がはっきりとしたビビッドな表現が可能となりました。 ブラックインクは、ご購入時に高濃度ブラックまたはブ ラックインクのどちらかをお選びください。ブラックイ ンクを切り替えるときは、サービスエンジニアによるイ ンクタンクの交換が必要です。ブラックインクの切り替 えは、有償となります。

お買い求めの販売店またはエプソンサービスコールセン ターにご連絡ください。

エプソンサービスコールセンターの連絡先 *△* 「お問い 合わせ先」164 ページ

使用・保管時のご注意

設置スペース

排紙や消耗品の交換を支障なく行うために、最小限、以下のスペースを確保して物などを置かないでください。 本機の外形寸法は、「仕様一覧」をご覧ください。 ∠37「仕様一覧」160ページ



- *1 SC-F7200 使用時
- *2 SC-F7100、SC-F7000 使用時

使用時のご注意

本機を使用する際は、故障や誤動作、印刷品質低下の原 因となりますので、以下の点に注意してください。

「仕様一覧」に記載の温度・湿度範囲を守って使用してください。
 △ア「仕様一覧」160ページ

ただし、上記の条件を満たしていても使用するメディア の環境条件を満たしていないと、正しく印刷できないこ とがあります。必ずメディアの環境条件も満たした場所 で使用してください。詳しくは、メディアのマニュアル をご覧ください。

また、乾燥する地域やエアコンが稼動している環境、直 射日光が当たる場所で使用するときは、乾燥に注意して 条件範囲内の湿度を保つようにしてください。

- 作業スペースを清潔に保ってください。ホコリや塵がプリンターの内部に入ると、製品の故障やプリントヘッドのノズルの目詰まりの原因となります。
- ・送風機やエアコンなどの風が直接当たる場所、熱源のある場所での使用は避けてください。プリントヘッドのノズルが乾燥し目詰まりが発生することがあります。
- •十分に換気ができる場所で使用してください。
- 廃インクチューブを曲げたり、引っ張ったりしないでく ださい。インクが本機の内部や周辺に漏れることがあり ます。

 使用頻度や指定する時期に応じて清掃や交換などのメン テナンスが必要です。メンテナンスを怠ると印刷品質低 下の原因となります。適切なメンテナンスをせずに使い 続けると、プリントヘッドが損傷するおそれがありま す。

∠중「メンテナンスの種類と実施時期」70ページ

- メディアが詰まったときやエラーが起こったまま電源を 切るとキャッピングされない(プリントヘッドが右端に 位置しない)ことがあります。キャッピングとは、プリ ントヘッドの乾燥を防ぐために自動的にプリントヘッド にキャップ(ふた)をする機能です。この場合は、再度 電源を入れてしばらくすると、自動的にキャッピングが 行われます。
- 本機の電源が入っている状態で、電源プラグをコンセントから抜いたり、ブレーカーを落としたりしないでください。プリントヘッドがキャッピングされないことがあります。この場合は、再度電源を入れてしばらくすると、自動的にキャッピングが行われます。

・印刷後一定時間が経つとプリントヘッドのノズルの目詰まりを防ぐために、自動的にヘッドクリーニングが行われます。
 そのため、本機の電源が入っている状態では必ず廃インクボトルを装着してください。
 ∠デ「プリンター設定メニュー」111ページ

- プリントヘッドを良好な状態に保つため、印刷時以外に もヘッドクリーニングなどのメンテナンス動作でインク が消費されます。
- 安定した色合いで印刷したいときは、15 ~ 25 ℃の環 境下で一定の室温に保ち、使用してください。

使用しないときのご注意

本機を使用しないときは、以下の点に注意して保管して ください。保管状態が適切でないと、印刷再開時に正し く印刷できないことがあります。

 印刷しない期間が長くなると、プリントヘッドのノズル が乾燥し目詰まりを起こすことがあります。プリント ヘッドの目詰まりを防ぐために、2週間に1度は電源を 入れてください。

電源を入れると、起動後に自動でヘッドクリーニングが 行われます。ヘッドクリーニングが終了するまで電源を 切らないでください。

電源を入れずに放置すると、故障の原因となります。修 理が必要な際は、有償となります。 •2週間以上使用しないときは、サービスエンジニアによる事前と事後のメンテナンスが必要です。事前・事後メ ンテナンスは有償となります。

なお、事前メンテナンスを実施しても、保管期間や環境 などによっては事後メンテナンスの際に修理が必要にな ることがあります。修理が必要な際は、有償となりま す。

お買い求めの販売店またはエプソンサービスコールセン ターにご連絡ください。

エプソンサービスコールセンターの連絡先

/>
/>
/>
/>
/>

- プリントヘッドがキャッピングされている(プリント ヘッドが右端に位置している)ことを確認してから本機 を保管してください。キャッピングせずに長時間放置す ると、印刷不良の原因となります。

(参考)

キャッピングされていないときは、本機の電源を入れ、再度 切ってください。

- 全てのカバーを閉めて保管してください。また、長期間 使用しないときは、ホコリが入らないよう、静電気の発 生しにくい布やシートなどを掛けておくようにしてくだ さい。プリンターのノズルは大変小さいものです。その ため、目に見えない小さなホコリがプリントヘッドに付 着すると、目詰まりして正しく印刷できないことがあり ます。
- 本機を長期間使用しなかったときは、印刷を再開する前 に必ずプリントヘッドの目詰まりの状態を確認してくだ さい。プリントヘッドに目詰まりが確認されたときは、 ヘッドクリーニングを行ってください。
 ∠デ「ノズルの目詰まりチェック」96ページ
- 本機を傾けたり、立てたり、逆さにしたりせず、水平な 状態で保管してください。

インクパック・インクタンク取 り扱い上のご注意

インクパックとインクタンクは、以下の点に注意して取 り扱ってください。

インクタンクは取り外さないでください。
 インクタンクは、取り付け時に調整を行っています。取り外すと品質や性能を損なうことがあります。

- インクパックは、直射日光を避けて常温で保管してください。
- 良好な印刷品質を得るために、以下の期日のうち早いほうの期日までに使い切ってください。
 - •インクパックに記載の推奨使用期限
 - •インクタンクに補充した日から25日
- インクパックを寒い所に長時間保管していたときは、4
 時間以上室温で放置してからお使いください。
- インクタンクにインクを補充するときは、インクパックのインクは残さず、一度で注ぎ切ってください。
- インクパック開封後は速やかにインクタンクに補充して ください。
- インクタンクの上に物などを置いたり、強い衝撃を与えないでください。インクタンクが外れることがあります。インクタンクが外れたときは、お買い求めの販売店またはエプソンサービスコールセンターにご連絡ください。

エプソンサービスコールセンターの連絡先 *△*ア「お問い 合わせ先」164 ページ

 高濃度ブラックとブラックインクを混合して使用しない でください。ブラックインクを切り替えるときは、サー ビスエンジニアによるインクタンクの交換が必要です。 ブラックインクの切り替えは、有償となります。 お買い求めの販売店またはエプソンサービスコールセン ターにご連絡ください。
 エプソンサービスコールセンターの連絡先 2 「お問い 合わせ先」164 ページ

メディア取り扱い上のご注意

メディアの取り扱いや保管の際は、以下の点にご注意ください。メディアの状態が悪いと、良好な印刷結果が得られません。

必ず各メディアのマニュアルも併せてご覧ください。

取り扱い上のご注意

- メディアを折り曲げたり、印刷面を傷付けたりしないように注意してください。
- •メディアの印刷面には触れないでください。手の皮脂や水分が印刷品質に影響します。
- メディアの端を持って取り扱ってください。また綿製の 手袋を着用することをお勧めします。
- メディアを濡らさないでください。
- 個装箱や個装袋は、メディアの保管時に使用しますの で、捨てないでください。

- •高温、多湿、直射日光を避けて保管してください。
- 使用しないメディアは、本機から取り外し、巻き直してから梱包されていた個装袋に包んで個装箱に入れて保管してください。長期間セットしたまま放置すると、メディア品質が低下するおそれがあります。

印刷後メディア取り扱い上のご注意

印刷後は、良好な印刷結果を長期間保持するために以下 の点に注意して適切に取り扱ってください。

- 印刷物をこすったり引っかいたりしないでください。こ すったり引っかいたりするとインクが剥がれることがあ ります。
- 印刷物の表面は触らないでください。インクが剥がれる ことがあります。
- 印刷後のメディアは、重ねたり折り曲げたりせずに十分 に乾燥させてください。乾燥させずに重ねたり巻き取る と印刷面が傷つくことがあります。
- 直射日光に当てないでください。
- 印刷後は、変色を防ぐためにメディアのマニュアルの指示に従って展示/保存してください。

添付ソフトウェアの使い方

ソフトウェアディスクの内容

付属のソフトウェアディスクには、以下のソフトウェアが収録されています。必要に応じてインストールしてください。 各ソフトウェアの詳細は『ネットワークガイド』(PDF)、または各ソフトウェアのオンラインヘルプを参照してください。

参考

- ・付属のソフトウェアディスクにはプリンタードライバーは収録されていません。印刷を行うにはソフトウェア RIP が必要です。エプソンのホームページでは、付属のソフトウェアディスクに収録されていないソフトウェア(本機対応のソフトウェア RIP など)を紹介しています。
 http://www.epson.jp
- 最新版のアプリケーションソフトはエプソンのホームページからダウンロードしてください。 http://www.epson.jp

Windows の場合

ソフトウェア名称	概要
LFP リモートパネル 2*	LFP リモートパネル 2 はコンピューターから本機の設定メニューで設定したメディア設定のコピーや ファームウェアのアップデートを行うソフトウェアです。 最新版のアプリケーションソフトはエプソンのホームページからダウンロードしてください。 http://www.epson.jp ② 「LFP リモートパネル 2 の起動方法」26 ページ ③ 「LFP リモートパネル 2 の終了方法」26 ページ
ドライバーとユーティリ ティー	Epson 通信ドライバー(EPSON SC-F7200 Series Comm Driver/EPSON SC-F7100 Series Comm Driver/ EPSON SC-F7000 Series Comm Driver)がインストールされます。 Epson 通信ドライバーは、LFP リモートパネル 2 でメディア設定のコピーを行うのに必要な通信用の ドライバーです。印刷用のプリンタードライバーではありません。また、コンピューターと本機を USB 接続して使用するときは、Epson 通信ドライバーがインストールされていないとソフトウェア RIP 上 で本機のステータス表示をできないことがあります。ステータス表示機能の有無については、ソフト ウェア RIP のマニュアルでご確認ください。
ネットワークユーティリ ティー	インストールを実行すると、ウィザード形式でネットワークに接続するためのアドレスの設定が簡単 にできます。
EpsonNet Config	コンピューターから本機のネットワークに関する各種設定を行うソフトウェアです。キーボードを 使ってアドレスや名称を入力できるので便利です。 インストールを行うとマニュアルも一緒にインストールされます。

* SC-F7100、SC-F7000のみ収録されています。

Mac の場合

ソフトウェア名称	概要
LFP リモートパネル 2*	LFP リモートパネル 2 はコンピューターから本機の設定メニューで設定したメディア設定のコピーや ファームウェアのアップデートを行うソフトウェアです。 最新版のアプリケーションソフトはエプソンのホームページからダウンロードしてください。 http://www.epson.jp ② 「LFP リモートパネル 2 の起動方法」26 ページ ③ 「LFP リモートパネル 2 の終了方法」26 ページ
ネットワークユーティリ ティー	インストールを実行すると、ウィザード形式でネットワークに接続するためのアドレスの設定が簡単 にできます。

ソフトウェア名称	概要
EpsonNet Config	コンピューターから本機のネットワークに関する各種設定を行うソフトウェアです。キーボードを 使ってアドレスや名称を入力できるので便利です。 インストールを行うとマニュアルも一緒にインストールされます。

* SC-F7100、SC-F7000のみ収録されています。

ソフトウェアの削除

!重要

- 「コンピューターの管理者」アカウント(管理者権限のあるユーザー)でログオンしてください。
- 管理者のパスワードまたは確認を求められたときは、パス ワードを入力して操作を続行してください。
- ほかのアプリケーションソフトを起動しているときは終了 してください。

Windows

LFP リモートパネル 2、Epson 通信ドライバーを例に削除 方法を説明します。



本機の電源を切り、インターフェイスケーブルを 外します。

2 [コントロールパネル] の [プログラム] - [プ ログラムのアンインストール] をクリックしま す。

プログラム プログラムのアンインストール スタートアップ プログラムの変更

3 削除するソフトウェアを選択して [アンインス トールと変更](または [変更と削除])をクリッ クします。

[EPSON SC-F7200 Series Comm Driver] / [EPSON SC-F7100 Series Comm Driver] / [EPSON SC-F7000 Series Comm Driver] プリンターアンインストールを選択すると、Epson 通信ドライバーを削除できます。

[LFP リモートパネル 2] を選択すると、LFP リモートパネル 2 を削除できます。

4 本機のアイコンをクリックして、[OK] をクリッ クします。

この後は、画面の指示に従ってください。 削除を確認するメッセージが表示されたら[はい] をクリックします。 Epson 通信ドライバーを再インストールするときは、 コンピューターを再起動してください。

Mac OS X

5

LFP リモートパネル 2 の削除方法を説明します。

- 1 LFP リモートパネル 2 を終了します。
- 2 [アプリケーション] フォルダ内の [EPSON LFP Remote Panel 2] フォルダごと、[ゴミ箱] に ドラッグ&ドロップして削除します。

その他のソフトウェアの削除は「Uninstaller」を使いま す。再インストールやバージョンアップをするときは、 対象のソフトウェアを削除してから行います。

入手方法

「Uninstaller」を弊社のホームページからダウンロードし てください。 アドレス http://www.epson.jp/

操作手順

「Uninstaller」を入手時に手順も確認いただき、その手順 に従ってください。

LFP リモートパネル 2 の使 い方

LFP リモートパネル 2 はコンピューターから本機の設定 メニューで設定したメディア設定のコピーやファームウェ アのアップデートを行うソフトウェアです。 エプソンのホームページ(http://www.epson.jp)からダ ウンロードできます。

LFP リモートパネル 2 の起動方 法

LFP リモートパネル 2 は、本機の画面に [印刷可能] と表示されていることを確認してから起動してください。

Windows



次のどちらかの方法で起動します。

- デスクトップの [LFP リモートパネル 2] アイコンをダブルクリックします。[LFP リモートパネル2] アイコンは、本ソフトウェアをインストールすると作成されます。
- [スタート] [すべてのプログラム](または[プログラム]) [LFP リモートパネル 2] [LFP リモートパネル 2] の順にクリックします。

2 LFP リモートパネル 2 のメイン画面で実行する項 目をクリックします。

詳細は、LFP リモートパネル 2 のヘルプをご覧ください。

Mac OS X

[アプリケーション] - [Epson Software] - [EPSON LFP Remote Panel 2] - [LFP リモートパネル 2] アイコンの 順にダブルクリックすると、LFP リモートパネル 2 のメイ ン画面が表示されます。

LFP リモートパネル 2 の終了方 法

LFP リモートパネル 2 のメイン画面で [終了] をクリック します。

基本の操作

メディアのセットと交換

お使いの製品により、セット方法が異なります。お使い の製品にあったセット方法をご覧ください。

SC-F7200/SC-F7100 使用時

次項をご覧ください。

SC-F7000 使用時

*△*⑦「メディアのセット方法(SC-F7000 の場合)」33 ページ

メディアセット前のご注意

メディアのセットは、必ず以下の注意事項を確認してか ら実施してください。

本機で使用できるメディアの詳細は、以下をご覧くださ い。

∠⑦「使用可能なメディア」128ページ

- ヒーターやメディア押さえ板は、高温になっているので注意して作業してください。火傷のおそれがあります。
- 前面カバーを開閉するときは、手や指を挟まないよう注意 してください。けがをするおそれがあります。
- メディアの端を手でこすらないでください。メディアの側面は薄く鋭利なため、けがをするおそれがあります。
- •メディアは重いので、1人で運ばないでください。

メディアは印刷直前にセットする

メディアを本機にセットしたまま放置すると、表面に加 圧ローラーの跡が付くことがあります。また、メディア が波打ったり、反ったりしてメディア送り不良やプリン トヘッドのこすれの原因となります。

メディア取り扱い時は以下の点を守る

以下の点を守らずにメディアを取り扱うと、メディア表 面に小さなゴミや毛羽ゴミが付き、印刷結果にインクの ボタ落ちが生じる原因となります。

むき出しのままで直接メディアを床に置かない。
 メディアは、巻き直してから梱包されていた個装袋に包んで個装箱に入れて保管してください。

・衣類にメディア表面を付けた状態で持ち運ばない。
 本機にセットする直前まで、個装袋等に入れて取り扱ってください。



左右端が不ぞろいなメディアはセットしない

ロールの左右の端が不ぞろいなメディアをセットすると、 メディア送り不良が生じ印刷中にメディアが蛇行する原 因となります。端がそろうように巻き直してから使用す るか、問題のないロールを使用してください。



(参考)

本機で使用できるメディアの詳細は、以下をご覧ください。 ∠3°「使用可能なメディア」128 ページ

メディアのセット方法 (**SC-F7200/SC-F7100**の場 合)

メディアのセット方法を説明します。

- 1 【①】ボタンを押して、画面に[メディアをセッ トしてください。]と表示されるまで待ちます。
- 2 前面カバーを開けて、メディア押さえ板を退避さ せます。

!重要

メディア押さえ板を退避させないと、メディアをセットする際にメディアを挿入できなかったり、メディアの先端が傷ついたりします。

スライド式のメディア押さえ板

メディア押さえ板のツマミを両側から押さえながら プラテンの左右両端へ移動します。



はめ込み式のメディア押さえ板

メディア押さえ板をメディアの両端から取り外しま す。



3 ロールホルダー固定ネジを左右両側とも十分に緩 め、ロールホルダーをロールメディアの幅よりも 外側に移動します。

ロールサポートが均等に配置されていないときは、 均等になるように移動します。



!重要

右側のロールホルダーのハンドルの軸が見えていない ときは、下図のようにハンドルが回らなくなるまで回 します。ハンドルの軸が見えていないと、メディアを 正しく取り付けられません。



4 メディアの巻き仕様に応じて、以下の向きでメ ディアをロールサポートに載せます。このとき、 メディアの左端をラベル上のセット位置に合わせ て載せてください。

印刷面外巻き



印刷面内巻き





ラベルにセット位置合わせの印が付いていないとき は、別冊の『セットアップガイド』をご覧になり印 を付けてください。

∠ ア『セットアップガイド』(冊子)



5 左側のリフトレバーを上げてメディアを持ち上 げ、ロールホルダーをしっかりと差し込みます。

ロールの外径が 140mm 未満のメディアをセットす るときは、手で抱え上げてロールホルダーにセット します。リフトレバーで持ち上げても紙管部分が ロールホルダーに届きません。



6 ロールホルダーを上から押し付けたまま、固定ネ ジを回らなくなるまできつく締めます。

ロールホルダーが動かないように固定してください。



7 右側のリフトレバーを上げてメディアを持ち上 げ、ロールホルダーをしっかりと差し込みます。

手順 5 と同様に、ロールの外径が 140mm 未満のメ ディアをセットするときは、手で抱え上げてロール ホルダーにセットします。



8 ロールホルダーを紙管に十分に差し込むために、 ロールホルダー上部をロール側に押し付けます。



!重要

ロールホルダーが紙管に十分に差し込まれていないと、 ロールホルダーと紙管が滑るため、印刷中にメディア 送りが正しく行えません。 このため、印刷結果にバンディングが生じることがあ ります。



ロールホルダーが動かないように固定してくださ い。



!重要

10

ロールホルダー固定ネジに緩みがあると、印刷中にロー ルホルダーが動いてしまい、スジやムラが生じ、印刷 品質低下の原因となります。

以下の図の A の部分が完全に入り込むまでハンド ルを回します。



!重要

A の部分が隠れたら、それ以上はハンドルを回さないで ください。押し込みすぎるとロールホルダーが破損す るおそれがあります。

ハンドルが回らなくなるまで回しても A の部分が隠れ ないときは、ハンドルを巻き戻します。右側のロール ホルダー固定ネジを緩めて、手順8からやり直してく ださい。

取り付けたロールの左右の端がそろっていること 11 を確認します。

ロールの左右の端がそろっていないときは、そろえ 直してください。







13 メディアを引き出して本機に挿入します。



(参考)

メディアが重くて引き出しにくいときは、左側のロー ルホルダー上面の駆動スイッチを倒すとメディアが送 られます。 印刷面外巻きのとき のの 印刷面内巻きのとき のの り 側





メディアの左端が挿入ガイド上のラベルの四角の中 央を通っていることを確認してください。

!重要

メディアの左端がラベルのセット範囲からはみ出して いるときは、必ず手順14から逆順で手順4まで戻って セットし直してください。メディアをセットした状態 で、ロールホルダーの位置を動かさないでください。





15 本機の前面に回って、前面カバーを開けます。







アフターヒーターの先端まで、メディアをまっす ぐに引き出します。 FP allool 18 前面カバーを閉めます。 T Va 19 操作パネルの【◀】 【▶】ボタンを押して、吸着 力の値を2にします。 Menu ┥ ок 🕨 V 20 メディアの先端を前面カバーまで巻き戻します。 印刷面外向きのメディアは【▲】ボタンを、印刷面 内巻きのメディアは【▼】ボタンを押すとメディア が巻き戻ります。 メディアがまっすぐピンと張った状態でまっすぐ給 紙されたことを確認します。 ▼



m

A





23 メディアの両端にメディア押さえ板をセットします。

スライド式のメディア押さえ板

メディア押さえ板のツマミを両側から押さえたま ま、メディア端の上まで移動します。メディア押さ え板の丸穴の中央にメディアの端が位置するように 合わせてください。



はめ込み式のメディア押さえ板 メディアの上から、メディア押さえ板の丸穴の中央

にメディアの端が位置するように合わせます。

- ① メディア押さえ板の白線とプラテンの白線を合 わせます。
- ② 板が浮かないようパチッと音がするまで押し込 みます。



!重要

- メディアの厚さが 0.4mm 以上あるときは、メディア 押さえ板を使用しないでください。メディア押さえ 板がプリントヘッドに接触し、プリントヘッドが破 損することがあります。
- 必ず、メディアの両端がメディア押さえ板の丸い穴の中央に位置するように合わせてください。位置が正しくないと、印刷中にバンディング(水平方向の帯状の模様や濃淡ムラ、スジ)が生じる原因となります。
- メディア押さえ板を使わないときは、それぞれのメ ディア押さえ板をプラテンの左右の端に移動してく ださい。
- 印刷を行ったときに、メディアの左右端が汚れたり、 破れたりするときはメディア押さえ板を使用しない でください。



メディアのセットが終了したら、メディアの確認と設定 変更に進んでください。 △ 「メディアの確認と設定変更」39ページ

メ デ ィ ア の セ ッ ト 方 法 (**SC-F7000**の場合)

メディアのセット方法を説明します。

<u>∧</u>注意

メディアは重いので、1人で運ばないでください。メディア をセットしたり取り外したりする際は、2人以上で行ってく ださい。

- 【 り 】 ボタンを押して画面に [メディアをセッ トしてください。]と表示されるまで待ちます。
- 2 前面カバーを開けて、メディア押さえ板を退避さ せます。

!重要

メディア押さえ板を退避させないと、メディアをセットする際にメディアを挿入できなかったり、メディアの先端が傷ついたりします。

スライド式のメディア押さえ板

メディア押さえ板のツマミを両側から押さえながら プラテンの左右両端へ移動します。



はめ込み式のメディア押さえ板

メディア押さえ板をメディアの両端から取り外しま す。



3 ロールホルダー固定ネジを左右両側とも十分に緩 め、ロールホルダーをロールメディアの幅よりも 外側に移動します。

ロールサポートが均等に配置されていないときは、 均等になるように移動します。



!重要

右側のロールホルダーのハンドルの軸が見えていない ときは、下図のようにハンドルが回らなくなるまで回 します。ハンドルの軸が見えていないと、メディアを 正しく取り付けられません。



4 メディアの巻き仕様に応じて、以下の向きでメ ディアをロールサポートに載せます。このとき、 メディアの左端をラベル上のセット位置に合わせ て載せてください。

印刷面外巻き



印刷面内巻き





ラベルにセット位置合わせの印が付いていないとき は、別冊の『セットアップガイド』をご覧になり印 を付けてください。

∠ ア『セットアップガイド』(冊子)

(参考)

セットしたメディアの巻き仕様と [メディア設定変更] メニューの [ロール巻き仕様設定] が一致するように 設定してください。[ロール巻き仕様設定] のメーカー 設定値は [印刷面外巻き] になっています。印刷面内 巻きのメディアをセットしたときは、セット後に必ず [印刷面内巻き] に変更してください。 設定方法の詳細 *2* 「ロール巻き仕様設定」 60 ペー ジ



左側のリフトレバーを上げてメディアを持ち上 げ、ロールホルダーをしっかりと差し込みます。

ロールの外径が 140mm 未満のメディアをセットす るときは、手で抱え上げてロールホルダーにセット します。リフトレバーで持ち上げても紙管部分が ロールホルダーに届きません。



6 ロールホルダー固定ネジを回らなくなるまで、きつく締めて、ロールホルダーが動かないように固 定します。



右側のリフトレバーを上げてメディアを持ち上 7 げ、ロールホルダーをしっかりと差し込みます。

手順5と同様に、ロールの外径が140mm未満のメ ディアをセットするときは、手で抱え上げてロール ホルダーにセットします。



ロールホルダーを紙管に十分に差し込むために、 8 ロールホルダー側面の中央部をロール側に2回押 し付けます。



!重要

ロールホルダーが紙管に十分に差し込まれていないと、 ロールホルダーと紙管が滑るため、印刷中にメディア 送りが正しく行えません。 このため、印刷結果にバンディングが生じることがあ ります。

12 D !重要 ſП ロールホルダー固定ネジに緩みがあると、印刷中にロー ルホルダーが動いてしまい、スジやムラが生じ、印刷 品質低下の原因となります。 以下の図の A の部分が完全に入り込むまでハンド 10 ルを回します。 P (参考) られます。 !重要 Aの部分が隠れたら、それ以上はハンドルを回さないで ください。押し込みすぎるとロールホルダーが破損す るおそれがあります。 ハンドルが回らなくなるまで回しても A の部分が隠れ ないときは、ハンドルを巻き戻します。右側のロール ホルダー固定ネジを緩めて、手順8からやり直してく ださい。

ロールホルダー固定ネジを回らなくなるまで、き

つく締めて、ロールホルダーが動かないように固

9

定します。

11 取り付けたロールの左右の端がそろっていること を確認します。

ロールの左右の端がそろっていないときは、そろえ 直してください。





13 メディアを引き出して本機に挿入します。



メディアが重くて引き出しにくいときは、左側のロー ルホルダー上面の駆動スイッチを倒すとメディアが送 られます。 印刷面外巻きのとき の 別側面内巻きのとき ()




メディアの左端が挿入ガイド上のラベルの四角の中 央を通っていることを確認してください。

!重要

メディアの左端がラベルのセット範囲からはみ出して いるときは、必ず手順14から逆順で手順4まで戻って セットし直してください。メディアをセットした状態 で、ロールホルダーの位置を動かさないでください。





15 本機の前面に回って、前面カバーを開けます。







排出ガイドの先端まで、メディアをまっすぐに引 17 き出します。



前面カバーを閉めます。 18



19

メディアの先端を前面カバーまで巻き戻します。

印刷面外向きのメディアは【▲】ボタンを、印刷面 内巻きのメディアは【▼】ボタンを押すとメディア が巻き戻ります。

メディアがまっすぐピンと張った状態でまっすぐ給 紙されたことを確認します。



(参考)

操作パネルの【▶】ボタンを押して、吸着力の値を2 に設定してください。メディアがまっすぐ巻き戻りま す。





22 メディアの両端にメディア押さえ板をセットしま す。

スライド式のメディア押さえ板

メディア押さえ板のツマミを両側から押さえたま ま、メディア端の上まで移動します。メディア押さ え板の丸穴の中央にメディアの端が位置するように 合わせてください。



はめ込み式のメディア押さえ板

メディアの上から、メディア押さえ板の丸穴の中央 にメディアの端が位置するように合わせます。

- メディア押さえ板の白線とプラテンの白線を合わせます。
- 板が浮かないようパチッと音がするまで押し込みます。



!重要

- メディアの厚さが 0.4mm 以上あるときは、メディア 押さえ板を使用しないでください。メディア押さえ 板がプリントヘッドに接触し、プリントヘッドが破 損することがあります。
- 必ず、メディアの両端がメディア押さえ板の丸い穴の中央に位置するように合わせてください。位置が正しくないと、印刷中にバンディング(水平方向の帯状の模様や濃淡ムラ、スジ)が生じる原因となります。
- メディア押さえ板を使わないときは、それぞれのメ ディア押さえ板をプラテンの左右の端に移動してく ださい。
- 印刷を行ったときに、メディアの左右端が汚れたり、 破れたりするときはメディア押さえ板を使用しない でください。



メディアのセットが終了したら、次項をご覧ください。

メディアの確認と設定変更

メディアのセットが終了すると、操作パネルの画面が以 下の表示になります。



この画面では、セットしたメディアに対して、以下の2 点の確認と設定変更ができます。

• 残量管理設定

[ON]:メディアの残量管理を行います。

[OFF]:メディアの残量管理は行いません。

[残量管理設定]を [ON] にしていると、設定したメ ディアの長さと印刷で使用した量からおおよそのメディ ア残量が割り出され、操作パネルの画面に残量値が表示 されます。印刷前に画面でおおよそのメディア残量が確 認できるため、メディア交換時期が把握しやすくなりま す。

また、設定した値にメディアの残量が達すると警告メッ セージが表示されます。

• 選択メディア

メディア設定が何に基づいて行われるかが、以下のよう に表示されます。

[XXXXXXXXXXXXXXXXX]:本機に登録されている、設定番号1のメディア設定に基づき印刷します。

本機では使用するメディアの特性に合わせて、[吸着 力]、[ギャップ調整] など、さまざまなメニューを設定 しメディア設定として保存できます。保存は、設定番号 1~30 に割り当てることで 30 個まで行えます。

□ [RIP 設定]: RIP での設定に基づき印刷します。
 メディア設定の詳細 ∠了「設定の保存方法」57 ページ

以下の設定で使用するボタン





任意の項目を選択して実行します。

表示されている内容で印刷するとき

【▼】/【▲】ボタンを押して[上記設定で決定する]を選択し、【OK】ボタンを押します。 このあとは、手順6に進みます。

設定を変更するとき

【▼】/【▲】ボタンを押して[設定を変更する] を選択し、【OK】ボタンを押します。

変更する項目を選択して【OK】ボタンを押しま す。



4 【3】ボタンを押すと、手順 2 の画面に戻りますので、再度【3】ボタンを押します。

5 設定内容が変わったことを確認して、【▼】/ 【▲】ボタンを押して[上記設定で決定する]を 選択し、【OK】ボタンを押します。

6 ロール巻き仕様の選択画面が表示されます。

【▼】/【▲】ボタンを押して、セットしたロール に応じた巻き仕様を選択し、【OK】ボタンを押しま す。

 7 【残量管理設定】を [ON] にしているときは、 セットしたメディアの長さを入力する画面が表示 されます。
 【▼】/【▲】ボタンを押してメディアの全長を
 1.0~999.5m の範囲で設定し、【OK】ボタンを 押します。設定は 0.5m 単位で行えます。

しばらくして画面に[印刷可能]と表示されたら、印刷 ができます。コンピューターから印刷するデータを送信 してください。

メディアの交換

印刷終了後に、メディアを交換するときは、メディア残 量を印刷後にメディアをカットしてメディアロールを取 り外します。

メディア残量の印刷

本機では、セットしているメディアの残量値や残量警告 メッセージが操作パネルの画面に表示されます。これに より、印刷前にメディア交換が必要かどうかが把握しや すくなります。

このメディア残量管理をするため、メディアのセット時 にメディア長さの入力が必要です。

メディアを交換する前に、取り外すメディアの先端にメ ディア残量を印刷できますので、次回のメディアセット 時にこの印刷を見てメディアの長さを入力すれば、正確 な残量管理に役立ちます。

参考

設定メニューの [残量管理設定] が [OFF] になっていると 残量値のカウントや表示等は行われません。 ∠⑦ 「メディアの確認と設定変更」39 ページ

メディア残量を印刷する方法を説明します。

以下の設定で使用するボタン



▶ 印刷可能状態であることを確認します。

2 【
 『□】ボタンを押し、画面に表示されたメニュー
 で [メディア残量管理]を選択し【OK】ボタン
 を押します。

- 3
- [メディア残量印刷]を選択し【OK】ボタンを 押します。
- 4

【OK】ボタンを押すと、メディア残量が印刷されます。

メディアのカット

印刷終了後にメディアをカットするときは、市販のカッ ターを使ってカットします。市販のカッターでメディア をカットする方法を説明します。



以下の設定で使用するボタン



印刷可能な状態か確認後、【 ↓】ボタンを押し、 【OK】ボタンを押します。 2 メディアの印刷終端がカッター溝の位置まで送ら れたことを確認して、前面カバーを開けます。

メディア残量の印刷をしたときは、残量の印刷が取 り外すロール側に残るように、【▲】ボタンを押し てカッター溝より向こう側に戻します。



SC-F7000 で自動巻取りユニットを使用しているときは、テンショナーを起こしてください。





スライド式のメディア押さえ板

メディア押さえ板のツマミを両側から押さえながら プラテンの左右両端へ移動します。



はめ込み式のメディア押さえ板

メディア押さえ板をメディアの両端から取り外しま す。



市販のカッターで切り取ります。

4

カッターの刃をカッター溝に沿って移動してカット します。



!重要

切り取った後、続けて印刷をするときは、メディアをカッター 溝より奥(加圧ローラー側)まで巻き戻さないでください。 メディアの先端がカールしているものは、前面カバーの内側 まで巻き戻さないでください。

参考

自動巻取りユニットを使用しているときは、自動巻取りユニットの Auto スイッチを Off に合わせてから、Manual スイッチをメディアの巻取り方向に応じて操作してカットしたメディアを巻き取ってください。

メディアの取り外し

この後は、メディアのロールをロールホルダーから取り 外します。ロールは、セットしたときと逆の手順で取り 外します。

自動巻取りユニットの使い 方

お使いの製品により、使い方が異なります。お使いの製品にあった使い方をご覧ください。

SC-F7200/SC-F7100 使用時

次項をご覧ください。

SC-F7000 使用時

∠중「メディアの取り付け方(SC-F7000の場合)」50 ページ

メ デ ィ ア の 取 り 付 け 方 (**SC-F7200/SC-F7100** の場 合)

自動巻取りユニットを使用すると、印刷後のメディアを 自動で巻き取りながら印刷できます。これにより無人運 転が効率よくできます。

本機の自動巻取りユニットは、以下のどちらかの方向で 巻き取ることができます。



外巻き

内巻きは、印刷面を内側にして巻き取ります。通常は、 内巻きを推奨します。

外巻きは、印刷面を外側にして巻き取ります。

⚠注意

- メディア搬送ユニット、自動巻取りユニット動作中は、手や髪の毛などが稼動部に巻き込まれないように注意してください。
 けがをするおそれがあります。
- メディア、自動巻取りユニットの紙管の取り付けや巻き 取った印刷物の取り外しはマニュアルをご覧になり、正し く作業してください。
 メディアや紙管、巻き取った印刷物が落下するとけがをす るおそれがあります。

正しく巻き取るための留意点

正しくメディアを巻き取るために、以下の点に注意して ください。

- メディアと同じ幅の巻き取り紙管を使用することをお勧めします。メディア幅と異なる巻き取り紙管を使用すると、巻き取り紙管がたわんで正しく巻き取れないことがあります。
- メディアは、内巻きで巻き取ることをお勧めします。外 巻きで正しく巻き取れないときは、内巻きで巻き取って ください。
- •36 インチ未満のメディアは、正しく巻き取れないこと があります。
- 下図のような巻き取り紙管を取り付けないでください。
 巻き取りテンションが均一にならないため空回りなどによって、正しく巻き取れなかったり、印刷結果にバンディングが生じたりします。

端が削れている







紙管の取り付け



2 メディアが正しくセットされていることを確認し、【▼】ボタンを押し続けてメディアを自動巻取りユニットの紙管ホルダーの位置まで送り出します。



!重要

メディアは、必ず【▼】ボタンを押して紙管ホルダー の位置まで送り出してください。手で引き出すと、巻 き取り時にメディアがねじれる原因となります。 3 紙管ホルダー固定ネジを左右両側とも緩め、紙管 ホルダーをメディアの幅よりも外側に移動しま す。

ロールサポートが均等に配置されていないときは、 均等になるように移動します。



!重要

左側の紙管ホルダーのハンドルの軸が見えていないときは、下図のようにハンドルが回らなくなるまで回します。ハンドルの軸が見えていないと、紙管を正しく取り付けられません。



4 右側の紙管ホルダーをメディア右端に合わせて移 動し、紙管ホルダーを上から押しつけたまま固定 ネジを締めて固定します。





右側の紙管ホルダーに紙管を差し込みます。





左側の紙管ホルダーを紙管にしっかりと差し込

み、紙管とメディアの端がずれていないことを確

6

認します。

8 左側の紙管ホルダーを上から押し付けたまま固定 ネジを締めます。

紙管ホルダーが動かないように固定してください。



以下の図の A の部分が完全に入り込むまでハンド ルを回します。



!重要

45

A の部分が隠れたら、それ以上はハンドルを回さないで ください。押し込みすぎると、紙管ホルダーが破損す るおそれがあります。 ハンドルが回らなくなるまで回しても A の部分が隠れ ないときは、紙管ホルダーがしっかりと差し込まれて いない可能性があります。手順 6 からやり直してくだ さい。 以降の手順は、以下をご覧ください。 内巻きで巻き取るとき 次項をご覧ください。 外巻きで巻き取るとき ∠☞「外巻きでの巻き取り」47 ページ

内巻きでの巻き取り

メディア先端をメディアガイドバーの手前側に通 して、市販のテープで巻き取り紙管に貼り付けま す。

以下の図の順でテープを貼り付けます。中央を貼り 付ける際は、メディアの中央をまっすぐ引っ張りな がらテープで張り付けます。左右を貼り付ける際 は、メディアを横に引っ張りながらテープで張り付 けます。



!重要

貼り付けたテープとテープの間でメディアが浮き上が ると、正しく巻き取れません。メディアが浮き上がる ときは、テープを追加して均等に貼り付けるか、メディ アの先端の反りを直してください。

2 操作パネルの【▼】ボタンを押し続けて、巻き取り紙管1周分程度メディアを送り出します。

3 Manual スイッチを と 倒に押し続け、メディ アを紙管に1周巻き取らせます。



4 メディアがたるんでいないことを確認します。

メディアの両端を軽くたたいて左右の張りの違いを 確認します。





5 紙管に巻き取ったメディアの端がずれていないことを確認します。



!重要

紙管に巻き取ったメディアの端がずれていると、以降 メディアを正しく巻き取れません。ずれているときは、 巻き戻して、テープを剥がし手順1からやり直してく ださい。 6 Auto スイッチを こ 👍 にセットします。



外巻きでの巻き取り

1 メディア先端をメディアガイドバーの手前側に通 して、市販のテープで巻き取り紙管に貼り付けま す。

以下の図の順でテープを貼り付けます。中央を貼り 付ける際は、メディアの中央をまっすぐ引っ張りな がらテープで張り付けます。左右を貼り付ける際 は、メディアを横に引っ張りながらテープで張り付 けます。



!重要

貼り付けたテープとテープの間でメディアが浮き上が ると、正しく巻き取れません。メディアが浮き上がる ときは、テープを追加して均等に貼り付けるか、メディ アの先端の反りを直してください。

- 2 操作パネルの【▼】ボタンを押し続けて、巻き取り紙管1周分程度メディアを送り出します。
- 3 Manual スイッチを (」 個に押し続け、メディ アを紙管に 1 周巻き取らせます。



4 メディアがたるんでいないことを確認します。

メディアの両端を軽くたたいて左右の張りの違いを 確認します。



!重要

下図の囲みの部分のように、メディアの左右の張りが 異なっていると、以降メディアを正しく巻き取れません。どちらかがたるんでいるときは、Manual スイッチ をしる側に押し続けメディアを巻き戻して、テープを 剥がし手順1からやり直してください。



5 紙管に巻き取ったメディアの端がずれていないことを確認します。





FF

11



1

左側の紙管ホルダー固定ネジを緩めて、紙管ホル ダーを引き抜きます。





巻き取ったメディアが落ちないように、ロールの 右側を下から支えます。

8 右側の紙管ホルダー固定ネジを緩めて、紙管ホル ダーを引き抜きます。



9 ロールをロールサポート上に降ろします。



メ デ ィ ア の 取 り 付 け 方 (**SC-F7000**の場合)

自動巻取りユニットを使用すると、印刷後のメディアを 自動で巻き取りながら印刷できます。これにより無人運 転が効率よくできます。

本機の自動巻取りユニットは、以下のどちらかの方向で 巻き取ることができます。



外巻きは、印刷面を外側にして巻き取ります。 内巻きは、印刷面を内側にして巻き取ります。

- 自動巻取りユニット動作中は、手や髪の毛などが稼動部に
 巻き込まれないように注意してください。
 けがをするおそれがあります。
- 自動巻取りユニットの紙管は、以降の手順をご覧になり正しく固定してください。
 巻き取った印刷物が落下すると、けがをするおそれがあります。

正しく巻き取るための留意点

正しくメディアを巻き取るために、以下の点に注意して ください。

メディアと同じ幅の巻き取り紙管を使用することをお勧めします。メディア幅と異なる巻き取り紙管を使用すると、巻き取り紙管がたわんで正しく巻き取れないことがあります。

下図のような巻き取り紙管を取り付けないでください。
 巻き取りテンションが均一にならないため空回りなどによって、正しく巻き取れなかったり、印刷結果にバンディングが生じたりします。
 端が削れている

潰れている



紙管の取り付け

メディアが正しくセットされていることを確認し、【▼】ボタンを押し続けてメディアを自動巻取りユニットの紙管ホルダーの位置まで送り出します。



メディアは、必ず【▼】ボタンを押して紙管ホルダー の位置まで送り出してください。手で引き出すと、巻 き取り時にメディアがねじれる原因となります。 2 紙管ホルダー固定ネジを左右両側とも緩め、紙管 ホルダーをメディアの幅よりも外側に移動しま す。

ロールサポートが均等に配置されていないときは、 均等になるように移動します。



3 右側の紙管ホルダーをメディア右端に合わせて移動し、固定ネジを締めて固定します。



4 右側の紙管ホルダーに紙管を差し込みます。



5 左側の紙管ホルダーを紙管に差し込みます。

以下の図の A の部分が完全に入り込むまで紙管ホル ダーを押し付けます。



!重要

A の部分が隠れたら、それ以上は押し込まないでください。押し込みすぎると、正しく巻き取れないことがあります。

6 紙管ホルダー固定ネジを締めて、紙管ホルダーが 動かないように固定します。



以降の手順は、以下をご覧ください。 外巻きで巻き取るとき 次項をご覧ください。 内巻きで巻き取るとき ∠☞「内巻きでの巻き取り」54 ページ

外巻きでの巻き取り

1 市販のテープでメディアを巻き取り紙管に貼り付 けます。

以下の図の順でテープを貼り付けます。中央を貼り 付ける際は、メディアの中央をまっすぐ引っ張りな がらテープで張り付けます。左右を貼り付ける際 は、メディアを横に引っ張りながらテープで張り付 けます。



!重要

貼り付けたテープとテープの間でメディアが浮き上が ると、正しく巻き取れません。メディアが浮き上がる ときは、テープを追加して均等に貼り付けるか、メディ アの先端の反りを直してください。



操作パネルの【▼】ボタンを押し続けて、巻き取 り紙管1周分程度メディアを送り出します。



Auto スイッチを Off にして、Manual スイッチ

を (、 🔓 側に押し続け、メディアを紙管に 1 周巻

!重要

3

紙管に巻き取ったメディアの端がずれていないことを 確認してください。端がずれていると、以降メディア を正しく巻き取れません。ずれているときは、Manual スイッチを とる 側に押し続けメディアを巻き戻して、 テープを剥がし手順1からやり直してください。



4 Auto スイッチを (, 🔓 にセットします。





6 メディアが歪みなく取り付けられたか確認しま す。

下図の囲みの部分のように、メディアの左右の張り が異なっていると、正しく巻き取れません。どちら かがたるんでいるときは、手順1からやり直してく ださい。



下図のようにメディアの両端を軽くたたいても張りの 違いを確認できます。



7

操作パネルの【▼】ボタンを押し続けて、巻き取 り紙管が回転し巻き取りを開始するまでメディア を送り出します。

!重要

テンショナーを前方に倒していないと、自動巻取りユニットは機能しません。

内巻きでの巻き取り

1 市販のテープでメディアを巻き取り紙管に貼り付 けます。

以下の図の順でテープを貼り付けます。中央を貼り 付ける際は、メディアの中央をまっすぐ引っ張りな がらテープで張り付けます。左右を貼り付ける際 は、メディアを横に引っ張りながらテープで張り付 けます。



!重要

貼り付けたテープとテープの間でメディアが浮き上が ると、正しく巻き取れません。メディアが浮き上がる ときは、テープを追加して均等に貼り付けるか、メディ アの先端の反りを直してください。



操作パネルの【▼】ボタンを押し続けて、巻き取 り紙管1周分程度メディアを送り出します。



確認してください。端がずれていると、以降メディア を正しく巻き取れません。ずれているときは、Manual スイッチを(_____側に押し続けメディアを巻き戻して、 テープを剥がし手順1からやり直してください。

Auto スイッチを Off にして、Manual スイッチ

3



4 Auto スイッチを と 🖓 にセットします。





6 メディアが歪みなく取り付けられたか確認しま す。 メディアをカットし、切り離したメディアを最後 まで巻き取ります。 下図の囲みの部分のように、メディアの左右の張り ∠중 「メディアのカット」 41 ページ が異なっていると、正しく巻き取れません。どちら かがたるんでいるときは、手順1からやり直してく 巻き取ったメディアが落ちないように、ロールの 2 ださい。 左側を下から支えます。 左側の紙管ホルダー固定ネジを緩めて、紙管ホル 3 10 ダーを引き抜きます。 ACC. (参考) (2)下図のようにメディアの両端を軽くたたいても張りの 違いを確認できます。 ロールをロールサポート上に降ろします。 4 ACC 1 操作パネルの【▼】ボタンを押し続けて、巻き取 り紙管が回転し巻き取りを開始するまでメディア を送り出します。 !重要 テンショナーを前方に倒していないと、自動巻取りユ ニットは機能しません。 巻き取ったメディアが落ちないように、ロールの 右側を下から支えます。 巻き取ったメディアの取り外し 右側の紙管ホルダー固定ネジを緩めて、紙管ホル 6 ダーを引き抜きます。 (SC-F7000の場合) 巻き取り終わったメディアの取り外し方を説明します。 ⚠注意 • 巻き取り後のメディアが 20kg を越えるときは、取り外し TP や運搬は、2人以上で行ってください。 • 巻き取った印刷物の取り外しは、以下の手順をご覧にな り、正しく作業してください。 巻き取った印刷物が落下するとけがをするおそれがありま す。



ロールをロールサポート上に降ろします。



印刷前の確認

印刷品質を維持するために日常、印刷業務をスタートす るに当たり、以下の点検を行うことをお勧めします。 チェックパターン印刷

チェックパターン印刷を行うと、ノズルの目詰まりを チェックができます。

チェックパターンにかすれや欠けがあるときは、ヘッド クリーニングを行ってください。

チェックパターンの印刷 🦾 「ノズルの目詰まりチェッ ク」96 ページ

ヘッドクリーニング *△*중「ヘッドクリーニング」97 ペー ジ

使用するメディアに最適な 設定を保存(印刷メディア の設定)

メディア設定変更を行うと、使用するメディアの特性に 合わせて、さまざまな設定項目を変更して保存できます。 よく使うメディアの設定を保存しておけば、次回からは 保存したメディア設定を選択するだけで、複数の設定項 目が一度で最適な設定に切り替わります。 本機には、30 個までメディア設定を保存できます。 メディア設定で設定できる内容と、保存方法を説明しま す。

メディア設定の内容

メディア設定では、以下の設定が行えます。

- 設定名の登録
- •メディア送り補正
- プラテンギャップ設定

- ギャップ調整
- ヒーター/乾燥設定^{*1}
- 乾燥設定^{*2}
- •吸着力
- ヘッド移動量
- ●重ね描き回数
- ロール巻き仕様設定
- テンション測定
- ・搬送テンション^{*1}
- 巻き取りテンション^{*1}
- メディアテンション*2
- •印刷時のメディア送り速度
- 貼り付き防止^{*3}

*1は SC-F7200、SC-F7100のみ表示、*2は SC-F7000 のみ表示、*3は SC-F7200のみ表示されます。

各項目の詳細 🧷 「メディア管理メニュー」105 ページ

設定の保存方法

メディア設定を保存する手順は、以下の通りです。

以下の設定で使用するボタン



メディア設定の保存先の指定

1 印刷可能状態であることを確認し、【Menu】ボタ ンを押します。

設定メニューが表示されます。

- 2 [メディア管理]を選択し、【OK】ボタンを押し ます。
- 3 【▼】/【▲】ボタンを押して【メディア設定変 更】を選択し、【OK】ボタンを押します。
- 4 【▼】/【▲】ボタンを押してメディア設定番号 1~30から設定を保存する番号を選択し、【OK】 ボタンを押します。

すでに設定を保存している番号を選択すると、設定 内容が上書きされますので注意して選択してくださ い。

設定名の登録

保存するメディア設定に名前を付けられます。区別しや すい名前を付けると、選択時に判別しやすくなります。

- 1 [設定名の登録]を選択し、【OK】ボタンを押し ます。
- 【▼】/【▲】ボタンを押すと、英数字・記号が 順次表示されます。目的の英数字・記号が表示されたら【▶】ボタンを押して次の入力エリアに カーソルを移動させます。

間違えて入力したときは【◀】ボタンを押すと、1 つ前の文字が消去され再入力できます。

3 名前を入力し終わったら、【OK】ボタンを押しま す。

メディア送り補正

印刷結果にバンディング(水平方向の帯状の模様や色ム ラ、スジ)が発生するときは[メディア送り補正]を行 います。

メディア送り補正は、印刷されたパターンを目視で確認 し、値を入力して補正します。 詳細な設定方法は、以下をご覧ください。 ∠☞「メディア送り補正」64 ページ

プラテンギャップ設定

印刷結果にこすれ汚れが付くときは、プラテンギャップ (プリントヘッドとメディアの間隔)を変更します。

- 1 【▼】/【▲】ボタンを押して【プラテンギャッ プ設定】を選択し、【OK】ボタンを押します。
- 2 【▼】/【▲】ボタンを押して目的の設定値を選 択し、【OK】ボタンを押します。
- 3 【3】ボタンを押すと、メディア設定の画面に戻 ります。

!重要

[2.5] は、[2.0] に設定してもこすれ汚れが改善されないときに限り設定します。むやみに設定すると、本機の内部がインクで汚れ印刷品質の低下や、本機の寿命に支障をきたすことがあります。

ギャップ調整

印刷結果に粒状感やピントのずれが生じるときは、[ギャッ プ調整]を行い、印刷時のプリントヘッドのズレを調整 します。 ギャップ調整は、印刷された調整パターンを目視で確認 し、最適と思う調整値を入力して補正します。 詳細な設定方法は、以下をご覧ください。 ∠☞ 「印刷のズレ調整(ギャップ調整)」63ページ

ヒーター/乾燥設定(SC-F7200/ SC-F7100のみ)

アフターヒーターの温度設定やパスごとの乾燥時間など の設定ができます。

(参考)

- ヒーター温度設定の目安は、以下の通りです。
- メディアに付属のマニュアルに推奨温度が記載されている ときは、それに従ってください。
- 印刷がにじんで汚れたり、インクがだまになったりするときは、ヒーターの温度を上げます。ただし、温度を高くしすぎると、メディアが縮んでしわが寄ったり、変質したりします。



【▼】/【▲】ボタンを押して[ヒーター/乾燥 設定]を選択し、【OK】ボタンを押します。



【▼】/【▲】ボタンを押して変更する項目を選 択します。

ヒーター温度設定

- [ヒーター温度設定]を選択し、【OK】ボタンを 押します。
- ② 【▼】/【▲】ボタンを押してアフターヒーターの 温度を設定します。

パスごとの乾燥時間

プリントヘッドの移動(パス)を停止させてインクの乾 燥を補助するための時間を設定します。

- 【▼】/【▲】ボタンを押して[パスごとの乾燥時 間]を選択し、【OK】ボタンを押します。
- ② 【▼】/【▲】ボタンを押して乾燥時間を設定します。

印刷幅が変わっても一定の乾燥時間を保ちたい場 合は、メディア幅に応じた以下の値に設定します。

メディア幅ごとの乾燥時間の目安

メディア幅	乾燥時間(秒)
64 inch	2.3
52 inch	2.0
44 inch	1.8
42 inch	1.7
36 inch	1.6
24 inch	1.3

空白のメディア送り

- 【▼】/【▲】ボタンを押して[空白のメディア送り]を選択し、【OK】ボタンを押します。
- ② 【▼】/【▲】ボタンを押して目的の設定値を選択します。
 パス数に応じた[空白のメディア送り]の推奨設定値は以下の通りです。

空白のメディア送り推奨設定値

パス数	空白のメディア送り	
1	モード1	
2~4	モード2	
6~8	モード3	

印刷データ内の空白部分は、モードの値が小さいほ どメディアを早く送るため、設定によってはインク が十分乾燥しないことがあります。

印刷後の乾燥送り

- 【▼】/【▲】ボタンを押して[印刷後の乾燥送
 b]を選択し、【OK】ボタンを押します。
- ② 【▼】/【▲】ボタンを押して、印刷後、アフター ヒーターの位置まで印刷終端部を送る[ON]/送ら ない[OFF]を選択します。
- 3 設定が終了したら、【OK】ボタンを押します。
- 4 【3】ボタンを2回押すと、メディア設定の画面 に戻ります。

乾燥設定(**SC-F7000** のみ)

パスごとの乾燥時間を設定できます。

- 【▼】/【▲】ボタンを押して[乾燥設定]を選 択し、【OK】ボタンを押します。
 - [パスごとの乾燥時間]を選択し、【OK】ボタンを押します。

印刷幅が変わっても一定の乾燥時間を保ちたい場合 は、メディア幅に応じて以下の値に設定します。

2

メディア幅ごとの乾燥時間の目安

メディア幅	乾燥時間(秒)
64 inch	2.3
52 inch	2.0
44 inch	1.8
42 inch	1.7
36 inch	1.6
24 inch	1.3

【▼】/【▲】ボタンを押すと、**0.1** 秒単位で時 間が変わります。



3

設定が終了したら、【OK】ボタンを押します。

5 【3】ボタンを 2 回押すと、メディア設定の画面 に戻ります。

吸着力

本機は、メディアとプリントヘッドの距離を適正に保つ ために、メディアに合った吸着力で印刷します。薄いメ ディアで、吸着力が強すぎ印刷品質が低下する、正しく メディア送りされないときは吸着力を弱めます。 設定値が小さくなるほど吸着力が低くなります。

- 【▼】/【▲】ボタンを押して[吸着力]を選択 し、【OK】ボタンを押します。
- 【▼】/【▲】ボタンを押すと、値が変わります。
- 設定が終了したら、【OK】ボタンを押します。
- 【 5】ボタンを押すと、メディア設定の画面に戻 ります。

ヘッド移動量

印刷時にプリントヘッドが移動する範囲を設定できます。

- 1 【▼】/【▲】ボタンを押して[ヘッド移動量] を選択し、【OK】ボタンを押します。
- 2 【▼】/【▲】ボタンを押して目的の設定値を選 択し、【OK】ボタンを押します。

印刷速度を優先するときは、[データ幅]を選択し ます。

よりムラのない印刷品質を優先するときは、[プリ ンター全幅]を選択します。

3 【5】ボタンを押すと、メディア設定の画面に戻 ります。

重ね描き回数

1行あたりの重ね描き回数を設定できます。

- 1 【▼】/【▲】ボタンを押して[重ね描き回数] を選択し、【OK】ボタンを押します。
- 2 【▼】/【▲】ボタンを押すと、値が変わります。
- 3 設定が終了したら、【OK】ボタンを押します。
- 4 【5】ボタンを押すと、メディア設定の画面に戻 ります。

ロール巻き仕様設定

- セットしたメディアのロール巻き仕様と一致するように [印刷面外巻き]または[印刷面内巻き]に設定します。
- 1 【▼】/【▲】ボタンを押して[ロール巻き仕様 設定]を選択し、【OK】ボタンを押します。
- 2 【▼】/【▲】ボタンを押して目的の設定値を選 択し、【OK】ボタンを押します。

3

設定が終了したら、【OK】ボタンを押します。

1 【3】ボタンを押すと、メディア設定の画面に戻 ります。

テンション測定

通常は[定期]に設定してください。OFF は SC-F7000 の み表示されます。メディアがたるむなどして正常に印刷 できないときに[OFF]に設定してみてください。



【▼】/【▲】ボタンを押して[テンション測定] を選択し、【OK】ボタンを押します。



【▼】/【▲】ボタンを押して目的の設定値を選 択し、【OK】ボタンを押します。

3

設定が終了したら、【OK】ボタンを押します。

4 【3】ボタンを押すと、メディア設定の画面に戻 ります。

搬送テンション(SC-F7200/ SC-F7100のみ)

[搬送テンション] には[自動] と[手動] があります。 通常は[自動] で使用します。以下のときは[手動] に 設定し、設定値を変更してください。設定値を大きくす るほどテンションが高くなります。

印刷中にメディアにしわが寄るとき

セットしたメディア幅に応じて設定値を下表の推奨値よ り大きくしてください。

印刷結果にバンディング(水平方向の帯状の模様 や濃淡ムラ、スジ)が不規則に発生するとき

セットしたメディア幅に応じて設定値を下表の推奨値よ り小さくしてください。

[メディア幅検出] を [OFF] に設定していると き

セットしたメディア幅に応じて搬送テンションの値を下 表の通り設定してください。

メディア幅	搬送テンションの推奨値
64 inch	Lv28
52 inch	Lv23
44 inch	Lv19
42 inch	Lv19
36 inch	Lv16
24 inch	Lv11

メディア送り補正を以前実行している場合に搬送テンショ ンを変更したときは、メディア送り補正を再度実行して ください。

∠☞「メディア送り補正」58ページ

- - 【▼】/【▲】ボタンを押して [搬送テンション] を選択し、【OK】ボタンを押します。
- 2 【▼】/【▲】ボタンを押して変更する項目を選 択します。

[自動] を選択する場合

- ① [自動]を選択し、【OK】ボタンを押します。
- チェックマークが入ったことを確認し、【OK】 ボタンを押します。
- 【5】ボタンを押すと、メディア設定の画面に 戻ります。

[手動] を選択する場合

- ① [手動]を選択し、【OK】ボタンを押します。
- ② 【▼】/【▲】ボタンを押して、推奨値に設定します。
- ③ 設定が終了したら、【OK】ボタンを押します。
- ④ 【5】ボタンを2回押すと、メディア設定の画面に戻ります。

巻き取りテンション(**SC-F7200/ SC-F7100** のみ)

巻き取りテンションには自動と手動があります。

通常は[自動]で使用します。印刷中にメディアにしわ が寄るときや印刷結果にホワイトバンディング(白また は薄い色のスジ)が発生するときは、[手動]に設定し、 設定値をLv3より小さくすることをお勧めします。巻き 取ったメディアの裏側にインクが付着するときも同様に 設定してください。厚いメディアがうまく巻き取れない ときは、[手動]に設定し、設定値をLv3より大きくする ことをお勧めします。設定値を大きくするほどテンショ ンが高くなります。

メディア送り補正を以前実行している場合に巻き取りテ ンションを変更したときは、メディア送り補正を再度実 行してください。

∠중 「メディア送り補正」58ページ

【▼】/【▲】ボタンを押して[巻き取りテンショ ン]を選択し、【OK 】ボタンを押します。

2 【▼】/【▲】ボタンを押して変更する項目を選 択します。

[自動] を選択する場合

- ① [自動]を選択し、【OK】ボタンを押します。
- チェックマークが入ったことを確認し、【OK】 ボタンを押します。
- 【5】ボタンを押すと、メディア設定の画面に 戻ります。

[手動] を選択する場合

- ① [手動]を選択し、【OK】ボタンを押します。
- ② 【▼】/【▲】ボタンを押して、推奨値に設定します。
- ③ 設定が終了したら、【OK】ボタンを押します。
- ④ 【5】ボタンを2回押すと、メディア設定の画面に戻ります。

メディアテンション(**SC-F7000** の み)

セットしたメディア幅に応じて、設定メニューの[メディ アテンション]を以下の値に設定することをお勧めしま す。値は、[テンション測定]の設定により異なります。 A:メディアテンションの値(テンション測定が定期/1 ページごとのとき) B:メディアテンションの値(テンション測定が OFF のと き)

メディア幅ごとの [メディアテンション] 推奨値

	64	52	44	42	36	24
А	Lv28	Lv23	Lv19	Lv19	Lv16	Lv11
В	Lv39	Lv32	Lv27	Lv26	Lv22	Lv15

メディア送り補正を以前実行している場合にメディアテ ンションを変更したときは、メディア送り補正を再度実 行してください。

∠〒「メディア送り補正」58 ページ

- 1 【▼】/【▲】ボタンを押して[メディアテンショ ン]を選択し、【OK】ボタンを押します。
- 2 【▼】/【▲】ボタンを押すと、値が変わります。
- 3 設定が終了したら、【OK】ボタンを押します。
- 4 【3】ボタンを押すと、メディア設定の画面に戻 ります。

印刷時のメディア送り速度

自動は SC-F7200、SC-F7100 のみ表示されます。 SC-F7200、SC-F7100 のメーカー設定値は、自動です。 SC-F7000 のメーカー設定値は、Lv2 です。通常はメーカー 設定値のまま使用します。薄いメディアを印刷中にしわ が寄る、破れる、張り付く、あるいは水平方向のスジが 発生するときは、[Lv1] に設定します。印刷速度を速く したいときは、[Lv2] に設定します。ただし、パス数が 多いときは、速度は変わりません。

- 【▼】/【▲】ボタンを押して[印刷時のメディ ア送り速度]を選択し、【OK】ボタンを押しま す。
- 2 【▼】/【▲】ボタンを押して、目的の設定値を 選択し、【OK】ボタンを押します。

3 設定が終了したら、【OK】ボタンを押します。

4

【3】ボタンを押すと、メディア設定の画面に戻 ります。

貼り付き防止(SC-F7200のみ)

通常は [OFF] で使用することをお勧めします。メディア がプラテンに貼り付いた状態で本機の電源を入れたり、 印刷を開始すると、メディアが正常に送られずメディア 詰まりの原因となります。そのときは、印刷前や復帰時 の動作時間が長くなりますが、[ON] に設定しくてださい。



【▼】/【▲】ボタンを押して[貼り付き防止] を選択し、【OK 】ボタンを押します。



【▼】/【▲】ボタンを押して[ON]または [OFF]を選択します。



│ 設定が終了したら、【OK 】ボタンを押します。

メニューの終了

【Ⅱ・⑩】ボタンを押すと、設定メニューが終了します。

印刷のズレ調整(ギャップ 調整)

プリントヘッドとメディアの間には、わずかな距離があ るため、温度や湿度、プリントヘッドの移動による慣性 力、プリントヘッドの移動方向の違い(右から左と左か ら右)などによって、各インクの着弾位置が合わなくな ることがあります。その結果、粒状感やピントのずれが 生じたような印刷結果になることがあります。このよう なときは[ギャップ調整]を行い、印刷時のプリントヘッ ドのズレを調整します。

プリントヘッドとメディアの距離はメディアの厚さによ り異なります。本機では、使用するメディアに応じてメ ディア設定で[ギャップ調整]の値を設定して保存でき ます。次回からは、保存したメディア設定を選択するだ けで最適な設定に切り替えられます。

ギャップ調整は、以下の2種類の調整が行えます。

双方向で印刷しているとき

[手動(Bi-D)]を選択します。[手動(Bi-D)]を行っても粒 状感やズレが改善されないときは、[手動(Uni-D)]を実行 してください。

単方向で印刷しているとき

[手動(Uni-D)]を実行してください。

ギャップ調整は、印刷された調整パターンを目視で確認 し、最適と思う調整値を入力して補正します。

調整を正しく行うためのご注意

ギャップ調整を正しく行うには、メディアの状態が重要 なポイントとなります。

以下の点を守って、メディアをセットしてください。

- ギャップ調整は、セットされているメディアに応じて行われます。実際に調整が必要なメディアをセットして調整してください。
- メディアを所定の位置まで引き出してから、ギャップ調整を実行してください。メディアの先端部分は波打つなど状態が良くないため、メディアを十分に引き出していないと、正しく調整できないことがあります。
 メディアのセット方法 CF 「メディアのセットと交換」
 27ページ

以下の設定で使用するボタン



1 メディアが所定の位置まで引き出されていること を確認します。

メディアを十分に引き出していないと、正しく調整 できないことがあります。 メディアのセット方法 *_3*「メディアのセットと交

換」27 ページ

2 印刷可能状態であることを確認し、【Menu】ボタンを押します。

設定メニューが表示されます。

3 [メディア管理]を選択し、【OK】ボタンを押し ます。

印刷された調整パターンで最もスジが見えないパ 【▼】/【▲】ボタンを押して〔メディア設定変 9 4 ターンを探して、パターンの番号を確認します。 更]を選択し、【OK】ボタンを押します。 以下の図の場合は「2」を選びます。 【▼】/【▲】ボタンを押してメディア設定番号 5 **C**1 1~30から設定を保存する番号を選択し、(OK) ボタンを押します。 すでに設定を保存している番号を選択すると、設定 内容が上書きされますので注意して選択してくださ い。 【▼】/【▲】ボタンを押して[ギャップ調整] 6 を選択し、【OK】ボタンを押します。 【▼】/【▲】ボタンを押して [手動 (Uni-D)] 1 3 2 または [手動 (Bi-D)] を選択し、 (OK) ボタン を押します。 操作パネルの画面に [C1] と表示されたら、手 調整パターンが印刷されます。 8 順9で確認した番号を選択します。 印刷が終了すると、印刷した調整パターンが良く見 SC-F7200/SC-F7100 の場合 えるように、メディアが自動的に送り出されます。 【◀】/【▶】ボタンを押して、番号を選択し、 必要に応じてメディアをカットします。 【OK】ボタンを押します。 ∠☞ 「メディアのカット」 41 ページ SC-F7000 の場合 (参考) 【▼】/【▲】ボタンを押して、番号を選択し、 自動で送り出されたメディアを巻き戻すときは、【▲】 ボタンを押してください。このとき、メディアをカッ 【OK】ボタンを押します。 ター溝より奥(加圧ローラー側)まで巻き戻さないで ください。 メディアの先端がカールしているものは、前面カバー 全ての色について番号を選択し、【OK】ボタンを の内側まで巻き戻さないでください。 押します。 (参考) 送り出されたメディアを巻き戻すときは、【▲】ボタン を押してください。このとき、メディアをカッター溝 より奥(加圧ローラー側)まで巻き戻さないでくださ い。 メディアの先端がカールしているものは、前面カバー の内側まで巻き戻さないでください。

メディア送り補正

印刷結果にバンディング(水平方向の帯状の模様や色ム ラ、スジ)が発生するときは [メディア送り補正]を行 います。

最後の色の設定が終了すると、印刷可能状態に戻

12

ります。

- メディア送り補正には、以下の2通りの方法があります。
- 印刷された調整パターンを目視で確認し、調整値を入力 して補正します。
- •印刷の途中で補正値を設定し、結果を確認しながら補正します。

補正を正しく行うためのご注意

メディア送り補正を正しく行うには、メディアの状態が 重要なポイントとなります。

以下の点を守って、メディアをセットしてください。

- [メディア送り補正]は、セットされているメディアに応じて行われます。実際に補正が必要なメディアを実際の印刷時と同じ状態でセットして行います。例えば、自動巻取りユニットで巻き取りながら印刷するときは、補正時も自動巻取りユニットに取り付けて行います。
- ・一度補正を実施したメディアでも、以下の場合は補正を やり直してください。
 - 同じメディア種類でも幅の違うメディアを使用するとき。
 - ・搬送テンション^{*1}、巻き取りテンション^{*1}、メディ アテンション^{*2}設定を変更したとき。
 - •吸着力設定を変更したとき。

*1はSC-F7200、SC-F7100のみ対応、*2は SC-F7000のみ対応です。

メディアを所定の位置まで引き出してから、メディア送り補正を実行してください。メディアの先端部分は波打つなど状態が良くないため、メディアを十分に引き出していないと、正しく補正できないことがあります。
 メディアのセット方法 △ア「メディアのセットと交換」27 ページ

調整パターンを印刷して補正す る

以下の設定で使用するボタン



1 メディアが所定の位置まで引き出されていること を確認します。

メディアを十分に引き出していないと、正しく調整 できないことがあります。 メディアのセット方法 *_3*「メディアのセットと交 換」27 ページ

2 印刷可能状態であることを確認し、【Menu】ボタンを押します。

設定メニューが表示されます。

- 3 [メディア管理]を選択し、【OK】ボタンを押し ます。
- 4 【▼】/【▲】ボタンを押して〔メディア設定変 更〕を選択し、【OK】ボタンを押します。
- 5 【▼】/【▲】ボタンを押してメディア設定番号 1~30から保存する番号を選択し、【OK】ボタ ンを押します。

すでに設定を保存している番号を選択すると、設定 内容が上書きされますので注意して選択してくださ い。



【▼】/【▲】ボタンを押して[メディア送り補 正]を選択し、【OK】ボタンを押します。

7

[手動]を選択し、【OK】ボタンを押します。

8 【▼】/【▲】ボタンを押して、印刷する調整パ ターンを選択し、【OK】ボタンを 2 回押します。

長さが長いほど、精密に補正できます。

9 調整パターンが印刷されます。
印刷が終了すると、印刷した調整パターンが良く見えるように、メディアが自動的に送り出されます。

10 印刷された調整パターンの+記号の距離を定規で 測ります。

2種類印刷されます。#1と#2では速度を変えて印刷しているため、必ず両方測定し調整してください。



操作パネルの画面に調整パターンの長さが表示されています。手順 10 で測った値になるように数字を選択します。

【◀】/【▶】ボタンを押して、#1の数字を選択し、 【OK】ボタンを押します。続いて【◀】/【▶】ボ タンを押して、#2の数字を選択し、【OK】ボタン を押します。



印刷途中に設定を変更する

メディア送り補正とヒーター/ 乾燥設定は、以下の手順で 印刷中に変更することができます。ヒーター/ 乾燥設定は SC-F7200、SC-F7100 のみ対応しています。

メディア送り補正

以下の設定で使用するボタン



印刷の途中で【↓】ボタンを押します。

2 画面に補正値が表示されます。【▼】/【▲】ボタンを押して、補正値を選択します。

メディア送り量が少なすぎるとブラックバンディン グ(濃い色のスジ)が発生しますので+方向に調整 します。

逆にメディア送り量が多すぎるとホワイトバンディ ング(白または薄い色のスジ)が発生しますので -方向に調整します。

- 3 印刷結果を確認し、完全に改善されないと感じるときはさらに【▼】/【▲】ボタンを押して、補正値を選択します。
- A 補正が完了したら、【OK】ボタンを押します。



ヒーター/乾燥設定

印刷中にアフターヒーターの温度を変更できます。 ヒーター温度設定のメーカー設定値は 55℃です。

現在のアフターヒーターの状態は、操作パネルの画面で 確認できます。∠☞「画面の見方」17ページ



 室温などにより、設定したヒーター温度になるまでに時間 がかかることがあります。

以下の設定で使用するボタン





印刷の途中で、【 🜡 】ボタンを押します。



【▼】/【▲】ボタンを押すと、温度が変わりま す。



印刷可能領域

下図のグレーの部分が印刷可能領域です。イラスト内の矢印は、排出方向を示しています。

本機が認識するメディア左端・右端は、メディア幅検出の設定により以下の通り異なります。

- [ON] : セットしたメディアの左右端を本機が自動検出します。
 メディア押さえ板を取り付けたときは、メディアの左右両端から 5mm 内側をメディア端と認識します。
 メディア押さえ板を正しく装着していないと、メディア端が正しく検出されません。
 ☆「メディアのセット方法(SC-F7200/SC-F7100の場合)」27 ページ
 ☆「メディアのセット方法(SC-F7000の場合)」33 ページ
- [OFF] アフターヒーター上のラベル(下図)の最も長い目盛りをメディア右端基準位置と認識します。メディ ア左端は、セットしているメディアの幅にかかわらず右端基準位置から 1626mm(64 インチ)の位置と 認識します。





* メディア幅検出の設定が [OFF] のときは、セットしているメディアの幅にかかわらず 1626mm (64 インチ)

●~④ は、四辺の余白を示しています。詳細は、下表の通りです。

余白位置	説明	設定有効範囲
● 後端 ^{*1}	RIP で設定可能です。メディアの搬送精度を保つため、設定値が 5mm 以下のときは 5mm に なります。	5mm 以上

余白位置	説明	設定有効範囲
❷ 先端*1*2	RIP で設定可能です。メディアセット時は、メディアを引き出した長さにより異なります。 連続印刷時は、RIP で設定した余白が付加されますが、メディアの搬送精度を保つため、設 定値が 5mm 以下のときは 5mm になります。ただし、SC-F7200 使用時に特定の印刷モード で印刷すると余白が以下になります。 360×720 2pass:19mm 360×720 3pass:21mm	5 mm以上
⑧ 左端 ^{*3*4}	本機の設定メニューのサイドマージン(左)で設定した値です。メーカー設定値は 5mm で す。	3~25mm
4 右端*3*4	本機の設定メニューの印刷開始位置とサイドマージン(右)で設定した値の合計値です。 メーカー設定値は印刷開始位置が 0mm、サイドマージン(右)が 5mm です。	3~825mm

- *1 お使いの RIP の種類によっては、設定値と印刷結果の余白が異なる場合があります。詳細は、RIP の製造元にお問い合わせください。
- *2 本機の設定メニューの [ページ間余白] で [余白なし] を選択すると、-10mm から+10mm の範囲で余白を調整 できます。[ページ間余白] は SC-F7200 のみ対応しています。
- *3 お使いの RIP の種類によっては、RIP でも設定可能です。詳細は、RIP の製造元にお問い合わせください。
- *4 余白を設定する際は、以下の点を守ってください。
 - メディア押さえ板を取り付けるときは、余白を10mm以上に設定してください。それ以下に設定すると、メディア押さえ板の上に印刷されることがあります。
 - 印刷データ幅と左右両端の余白設定の合計が印刷可能領域を超えると、データの一部が印刷されません。

参考

メディア幅検出を [OFF] に設定しているときは、以下の点を守らないと、メディアの左右にはみ出して印刷されることがありま す。メディア外に印刷すると、本機の内部がインクで汚れます。

- •印刷データ幅がセットしたメディア幅を超えないようにしてください。
- ・メディアを右端基準位置より左側にセットするときは、[印刷開始位置]の設定をメディアをセットした位置に合わせてください。
 ▲ 「プリンター設定メニュー」111 ページ

メンテナンス

メンテナンスの種類と実施時期

良好な印刷品質を保つために、適切な時期に正しいメンテナンス作業を行うことが必要です。適切なメンテナンスを怠る と製品が早期に寿命にいたる原因となります。以降をお読みになり、適切にメンテナンスを行ってください。

清掃

清掃は清掃箇所によって定期的に、または印刷品質が低下したときに行ってください。清掃を怠って、インクが固着した り毛羽ゴミやホコリが付着したまま使い続けると、以下のようなトラブルが発生することがあります。

• プリントヘッドのノズル面に付着した毛羽ゴミをつたって、インクのボタ落ちが生じる。



•印刷中のノズルの目詰まり。

- ヘッドクリーニングを繰り返してもノズルの目詰まりが解消されない。
- プリントヘッドの故障。

実施時期	清掃箇所
1週間に1度	 ・プリントヘッド周辺 ∠☞「プリントヘッド周辺の清掃」74ページ ・キャップ ∠☞「キャップの清掃」76ページ
 印刷品質が低下したとき ヘッドクリーニングを繰り返しても印刷が かすれたり、欠けが見られるとき 印刷結果が汚れるとき 	ワイパー △중「ワイパーと装着部の清掃」79 ページ
プラテンや加圧ローラー、メディア押さえ板 がメディアの糸くずや紙粉、インクの付着な どで汚れているとき	プラテン、加圧ローラー、メディア押さえ板 ∠☞「プラテン・加圧ローラー・メディア押さえ板の清掃」81 ページ

消耗品の交換・補充

実施時期	交換・補充箇所
操作パネルの画面にインクの残量警告が表示 され、インク残量が 70mm 以下のとき	チップユニット・インクパック <i>△</i> ☞「インクの補充」83 ページ
操作パネルの画面に準備や交換を促すメッ セージが表示されたとき	廃インクボトル ∠͡͡͡尔 [廃インク処理] 88 ページ
 清掃しても印刷のかすれ、欠け、汚れが改善しないとき ワイパークリーナー裏面の吸収剤にインクが固着しているとき ワイパー部分が摩耗・劣化しているとき 	 ワイパークリーナー、ワイパー ワイパークリーナーとワイパーは、必ず同時に交換してください。 ∠☞「ワイパークリーナーとワイパーの交換」90ページ
変形したり破損したりしたとき	メディア押さえ板 ∠☞「スライド式メディア押さえ板の交換」92 ページ

その他のメンテナンス

実施時期	種類
1週間に1度	高濃度ブラックインクのかくはん ∠͡͡중 「高濃度ブラックインクのかくはん」95 ページ
 ノズルが目詰まりしているか確認したいと 	チェックパターンを印刷してノズル抜けしている色を確認します。 ∠͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡
 目詰まりしている色を確認したいとき 水平方向のスジ/濃淡ムラ (バンディング) が見られるとき 	ノズル抜けしている色がないときは、「困ったときは」の「水平方向のスジ/濃淡ムラ (バンディング)」の対処をご覧ください。 ∠☞「水平方向のスジ/色ムラ(バンディング)」121 ページ
ノズルの目詰まりチェックの結果、目詰まり が確認されたとき	ヘッドクリーニング ∠͡͡ኇ 「ヘッドクリーニング」97 ページ

準備と留意点

準備するもの

清掃や交換を始める前に、以下のものを準備してください。

保護メガネ(市販品)

インクやインククリーナーが目に入らないように保護し ます。

マスク(市販品)

インクやインククリーナーが口や鼻に入らないように保 護します。

メンテナンスキット(本製品付属)





0	手袋	2枚
0	クリーニング棒(太)	25本
8	クリーニング棒(細)	25本
4	ワイパークリーナー	2個
6	ワイパー	2 個
6	クリーニングワイパー	1個
0	インククリーナー	1本
8	カップ	1個

キャップクリーニングキット(SC-F7200 に付 属)

SC-F7100、SC-F7000 をお使いのときは、消耗品をお求め ください。 キャップの清掃で使用します。 以下の部品がセットで入っています。 付属品が終了したときは、消耗品をお求めください。 ∠☞「消耗品とオプション」127 ページ



0	手袋	2枚
2	スポイト	2 個
3	クリーニング棒(太)	50本
4	クリーニング棒(細)	25本
6	キャップクリーニング液	1個
6	カップ	1個

金属またはプラスチック(PP・PE)製のトレイ (市販品)

清掃用具や取り外した消耗品、付属の容器に移したイン ククリーナーやキャップクリーニング液を置くのに使い ます。

柔らかい布、ブラシ(市販品)

本機内部の清掃で使用します。毛羽ゴミが出にくく、静 電気が発生しにくいものをお使いください。

作業時のご注意

メンテナンスは、以下の注意点を守って作業を行ってく ださい。メンテナンス作業の前に製品安全データシート をお読みください。 製品安全データシートは、弊社のホームページから入手 できます。 http://www.epson.jp/
<u>∧</u>注意

- メンテナンス作業をするときは、保護メガネ、手袋、マス クなどを着用してください。
 インク、廃インク、インククリーナー、キャップクリーニング液が皮膚に付着したときや目や口に入ったときは、以
- 下の処置をしてください。 • 皮膚に付着したときは、多量の石けん水で洗い流してく ださい。皮膚に刺激を感じたり変化があるときは、医師 の診断を受けてください。
- 目に入ったときは、すぐに水で洗い流してください。そのまま放置すると目の充血や軽い炎症を起こすおそれがあります。異常があるときは、医師の診断を受けてください。
- 口に入ったときは、速やかに医師に相談してください。
- 飲み込んだときは、無理に吐かせずに速やかに医師に相 談してください。無理に吐かせると、吐いたものが気管 に入ることがあり危険です。
- インクパック、廃インク、インククリーナー、キャップク リーニング液は、子どもの手の届かない場所に保管してく ださい。
- メンテナンス作業をした後は、手洗いとうがいを十分に 行ってください。
- 本機からメディアを取り外してから作業を始めてください。
- 消耗品以外のクリーニング棒は使わないでください。
 本機の故障や誤動作、印刷品質低下の原因となります。
- クリーニング棒は、付属または消耗品以外のものは使わないでください。毛羽の出るものを使うとプリントヘッドを破損します。
- クリーニング棒は、毎回新品を使用してください。一度 使用したものを再利用すると、かえって汚れが付着する 原因となります。
- クリーニング棒の先は手で触らないでください。皮脂が 付着し、プリントヘッドが破損することがあります。
- ノズル面やキャップ、ワイパーなどに水やアルコールを 付着させないでください。水やアルコールがノズル面や キャップ、ワイパーにつくと故障の原因となります。
- 作業の前に金属製のものに触れて、作業者の静電気を逃 がしてください。

プリントヘッドの移動

プリントヘッドを清掃位置に移動する手順を説明します。

▲重要 プリントヘッドの移動は、必ず以下の手順で行ってください。 プリントヘッドを手で移動すると故障の原因となります。

以下の設定で使用するボタン



1 電源が入っていることを確認し、【 ☞ 】 ボタンを 押します。

メンテナンスメニューが表示されます。

2 【▼】/【▲】ボタンを押して [ヘッドメンテナ ンス]を選択し、【OK】ボタンを押します。

(参考)

プリントヘッド移動後、10 分経過するとブザーが鳴ります。 【 OK 】ボタンを押して清掃を継続してください。更に 10 分 経過すると、再びブザーが鳴ります。

小ご確認

メンテナンス作業開始から 10分経過しました。 作業終了後にクリーニングを 行ってください。

── 閉じる

プリントヘッドが清掃位置まで移動します。

清掃

プリントヘッド周辺の清掃

プリントヘッド周辺は1週間に1度、以下の手順で清掃 をしてください。

作業を行う前に、必ず以下をお読みください。 _중 「作業時のご注意」 72 ページ



∠ ア「プリントヘッドの移動」73ページ



プリントヘッドが左側に移動したことを確認し て、左側のメンテナンスカバーを開けます。





メンテナンスキットに付属のカップをトレイに載 せてインククリーナーを約 5ml 注ぎます。



新品のクリーニング棒(太)にインククリーナー 4 を染み込ませます。

このとき、クリーニング棒からインククリーナーが 垂れないように注意してください。



!重要

クリーニング棒は、1手順ごとにインククリーナーです すいでください。



図の

部分の
固着したインクや
毛羽ゴミ、ホコ

!重要

5

下図の囲み部分は、触らないでください。印刷品質低 下の原因となります。





矢印で示した部分は、インクが固着しやすいので確 実に拭き取ってください。

毛羽ゴミやホコリが引っかかっているときは、ク リーニング棒の先端でからめ取ってください。

固着したインクを溶かすために、矢印で示した部 6 分にインククリーナーを塗ります。

!重要

分)を強く触らないでください。また、クリーニ 棒は往復させずに一方向に動かしてください。



新品のクリーニング棒(細)にインククリーナー 7 を染み込ませます。

このとき、クリーニング棒からインククリーナーが 垂れないように注意してください。

8 インククリーナーを染み込ませたクリーニング棒 (細) でヘラ部分の表面、裏面、側面のホコリや 汚れを拭き取ります。



9 クリーニングワイパーを奥側から手前側に1回動かして、プリントヘッド表面のインク汚れなどを 拭き取ります。





清掃前



清掃後

インクや毛羽ゴミ、ホコリがきれいに取り除かれた 状態。



固着したインクや毛羽ゴミ、ホコリが残っていると きは、手順 6~7 を繰り返します。

!重要

プリントヘッド表面が乾燥した状態で汚れを拭き取る と、破損するおそれがあります。表面が乾燥したら、 手順5に戻ってインククリーナーを塗ってください。

10 クリーニングワイパーの汚れをよく拭き取り、直 射日光の当たらない場所でほこりがつかないよう に保管します。



!重要

- ・一度清掃に使ったインククリーナーを再使用しないでくだ
 さい。
- ・使用済みのインククリーナーやクリーニング棒は、産業廃 棄物です。廃インクと同じ方法で廃棄してください。
 ∠了「使用済み消耗品の処分」98ページ
- インククリーナーは、直射日光を避けて常温で保管してく ださい。
- インククリーナー使用後は、必ず蓋をしてください。

続いて、キャップの清掃を行ってください。

キャップの清掃

!重要

キャップの清掃には、キャップクリーニング液(A・無色の 液)を使用してください。メンテナンスキットに付属のイン ククリーナー(B・茶色の液)を使うと、プリンターが故障 するおそれがあります。





右側のメンテナンスカバーを開けます。



新品の乾いたクリーニング棒(細)を縦にして、 全てのキャップの外周を拭き取ります。

!重要

吸引キャップ(左端のキャップ)の内側に触れないで ください。部品が変形して、正常にキャッピングでき なくなるおそれがあります。



キャップは計 6 個あります。全てのキャップを清掃 してください。



3

ガイド部に付着したインクを拭き取ります。



4 キャップクリーニングキットに付属のカップをト レイに載せてキャップクリーニング液を約 5ml 注ぎます。



5 スポイトでキャップクリーニング液を吸引しま す。



6 スポイトのキャップクリーニング液を乾燥防止 キャップ(左端を除く全てのキャップ)の内側が 満ちるまで滴下(2~3滴)します。

!重要

吸引キャップの内側にキャップクリーニング液を滴下 しないでください。プリンターが故障するおそれがあ ります。

滴下したときは拭き取らないでください。吸引キャッ プの内側に触れると、正常にキャッピングできなくな るおそれがあります。



2~3 滴で満たないときは追加してください。 乾燥防止キャップの内側からあふれないようにして ください。 乾燥防止キャップは計 5 個あります。全ての乾燥防 止キャップにキャップクリーニング液を滴下してく ださい。



7 新品の乾いたクリーニング棒(太)で、全ての乾燥防止キャップのキャップクリーニング液を吸い取ります。



8 もう1本の新品の乾いたクリーニング棒(太) で、残ったキャップクリーニング液を全て拭き取 ります。





拭き取りは下図のようになるまで実施してください。 乾燥防止キャップの内側にインクやキャップクリーニ ング液が残っていると、ノズルの目詰まりが発生する ことがあります。



9 清掃が終了したら、右側のメンテナンスカバーを 閉めて【OK】ボタンを2回押します。

プリントヘッドが通常位置に戻ると、設定メニューが終 了します。

続けて印刷するときは、[ノズルチェック]を行ってくだ さい。

∠☞「ノズルの目詰まりチェック」96ページ

!重要

- 清掃に使って汚れたキャップクリーニング液を再使用しないでください。
- 汚れたキャップクリーニング液や使用済みのクリーニング 棒は、産業廃棄物です。廃インクと同じ方法で廃棄してく ださい。
 「使用済み消耗品の処分」98ページ
- キャップクリーニング液は、直射日光を避けて常温で保管 してください。
- キャップクリーニング液使用後は、必ず蓋をしてください。

ワイパーと装着部の清掃

以下のようなトラブルが発生したときは、ワイパーと装 着部を清掃してください。

- •印刷品質が低下したとき
- ヘッドクリーニングを繰り返しても印刷がかすれたり、
 欠けが見られるとき

•印刷結果が汚れるとき

1 プリントヘッドをメンテナンス位置まで移動させ ます。

∠ ア「プリントヘッドの移動」73ページ

2 右側のメンテナンスカバーを開けます。



3 ワイパーを取り外します。 ワイパー装着部分をつまんだまま、左側に傾けて取



- 4 メンテナンスキットに付属のカップをトレイに載 せてインククリーナーを約 5ml 注ぎます。
- 5 新品のクリーニング棒(太)にインククリーナー を染み込ませます。

このとき、クリーニング棒からインククリーナーが 垂れないように注意してください。

ワイパー部分の表裏をクリーニング棒(太)で拭 6 き取ります。



ワイパー部分が裂けたり、欠けたりしているとき は、新品に交換してください。 △ 「ワイパークリーナーとワイパーの交換」90 ページ



ワイパーの底面をクリーニング棒(太)で拭き取 ります。



ワイパーの取り付け部分をクリーニング棒(太) 8 で拭き取ります。



清掃が終わったら、ワイパーを戻します。 9 取り付け部に載せて、パチッと音がするまで押し込 みます。





10 清掃が終了したら、右側のメンテナンスカバーを 閉めて、「OK1 ボタンキュロボン・エン 閉めて、【OK】ボタンを2回押します。

プリントヘッドが通常位置に戻ると、設定メニュー が終了します。

続けて印刷するときは、ノズルチェックを行ってく ださい。

_☞「ノズルの目詰まりチェック」96ページ

使用済みのクリーニング棒の廃棄 ∠⑦「使用済み消耗品の処分」98ページ

プラテン・加圧ローラー・メディ ア押さえ板の清掃

プラテン上や加圧ローラー、メディア押さえ板は、メディ アの糸くずや紙粉、インクの付着などで汚れます。イン クが付いているとメディアが汚れます。こまめに掃除し てください。

- アフターヒーターは、高温になっているので注意して作業 してください。火傷のおそれがあります。
- 前面カバーを開閉するときは、手や指を挟まないよう注意してください。けがをするおそれがあります。

!重要

プラテン、加圧ローラー、メディア押さえ版の清掃には、イ ンククリーナーを使用しないでください。

作業を行う前に、必ず以下をお読みください。 ∠3 「作業時のご注意」72 ページ



2

電源プラグを抜いたあと1分程放置します。

前面カバーを開けます。



メディアセットレバーを上げます。

5 乾いた柔らかい布で加圧ローラーに付着している 汚れを拭き取ります。

加圧ローラーとプラテンの間と加圧ローラー上部 を、乾いた布で滑らせるように拭き取ります。

!重要

拭き取る際は、ローラーを強く押さえないでください。 強く押さえるとローラーが外れることがあります。



6 개

水に浸してよく絞った柔らかい布やブラシで、プ ラテンに付着したインクや毛羽ゴミ、ホコリを拭 き取ります。

プラテンの溝に入り込んだ毛羽ゴミやホコリもきれ いに取り除いてください。



7 水に浸してよく絞った柔らかい布で、メディア押 さえ板を拭きます。

スライド式のメディア押さえ板

通常は、本機から取り外さずに表面に付着した毛羽 ゴミやホコリを拭き取ります。

のり付きメディアを使用したときや、メディア押さ え板の表面にインクが付着したときは、取り外し て、表裏両面の汚れを拭き取ります。

汚れを拭き取ったら、必ず元通りに取り付けてくだ さい。

メディア押さえ板の取り外し方・取り付け方 *△*ア「ス ライド式メディア押さえ板の交換」92 ページ



はめ込み式のメディア押さえ板

メディア押さえ板を取り外して、表裏両面の汚れを 拭き取ります。



8 清掃が終了したら、前面カバーを閉めてください。

消耗品の交換・補充

インクの補充

補充の時期

操作パネルの画面に、[インク残量を確認してください。] とメッセージが表示されたら、速やかに、次の2点を対 応してください。

- •対象の色の新しいインクパックをお手元に用意する。
- インク残量を確認してインクタンクの底面から 70mm
 以下になったら、チップユニットの交換とインクの補充
 を行う。

1 色でも、[インク残量限界値以下] になると印刷できま せん。印刷途中で、[インク残量を確認してください。] のメッセージが表示されたときは、印刷を継続しながら チップユニットの交換とインクの補充が行えます。

本機で使用できるインクパック *△*ア「消耗品とオプショ ン」127 ページ

!重要

本機は、インク残量警告システムを搭載しています。新品の インクパックに付属のチップユニットには、インク1パック 分の使用可能情報が登録されています。チップユニットを本 機に装着すると、この情報が本機に書き込まれます。 インク残量警告システムは、本機に書き込まれたインク1 パック分の使用可能情報とインクの使用状況からインク残量 を推定して、メッセージを表示します。このシステムの正確 性を維持するには、インク残量がインクタンクの底面から 70mm 以下になったら、速やかにチップユニットの交換とイ ンクの補充を行う必要があります。

チップユニットのチャージと予約(SC-F7200 の み)

チップユニットを本機に装着してインク1パック分の使 用可能情報を書き込むことを「チャージ」と呼びます。 チャージ後は、本機に装着したチップユニットを次の新 品のインクパックに付属のチップユニットに交換できま す。チャージ後に新品のチップユニットに交換すること を「予約」と呼びます。予約をしていると、チャージが なくなると同時に予約用のチップユニットから本機に自 動でインク1パック分の使用可能情報がチャージされま す。チップユニットの交換方法は、次項の手順2~6をご 覧ください。予約中かどうかは、チップユニットの状態 アイコンで確認できます。

_중 「画面の見方」 17 ページ

インク補充の手順

インクの種類により、補充方法が異なります。インクの 種類にあった補充方法をご覧ください。

作業を行う前に、製品安全データシートと次の注意事項 をご確認ください。

製品安全データシートは、弊社のホームページから入手 できます。

http://www.epson.jp/

<u>//</u>注意

- インクパックは、子どもの手の届かない場所に保管してく ださい。
- メンテナンス作業をするときは、保護メガネ、手袋、マス クなどを着用してください。
 インクが皮膚に付着したときや目や口に入ったときは、以
 - インジが反席に付着したときや目や口に入ったときは、以 下の処置をしてください。
 - 皮膚に付着したときは、多量の石けん水で洗い流してく ださい。皮膚に刺激を感じたり変化があるときは、医師 の診断を受けてください。
- 目に入ったときは、すぐに水で洗い流してください。そのまま放置すると目の充血や軽い炎症を起こすおそれがあります。異常があるときは、医師の診断を受けてください。
- ロに入ったときは、速やかに医師に相談してください。
- 飲み込んだときは、無理に吐かせずに速やかに医師に相 談してください。無理に吐かせると、吐いたものが気管 に入ることがあり危険です。
- インクを補充するときは、以下の点に注意して作業してく ださい。
 - インクパックのそそぎ口はゆっくり切ってください。
 勢いよく切り取ると、インクが飛び散ることがあります。
- ・開封後のインクパックは強く持たないでください。イン クが飛び出るおそれがあります。
- インクをインクタンクに注ぐ際は、インクパックをゆっくり傾けて注いでください。

!重要

- ブリンター性能をフルに発揮するために、エプソン純正品のインクパックを使用することをお勧めします。純正品以外のものをご使用になりますと、プリンター本体や印刷品質に悪影響が出るなど、プリンター本来の性能を発揮できない場合があります。純正品以外の品質や信頼性について保証できません。非純正品の使用に起因して生じた本体の損傷、故障については、保証期間内であっても有償修理となります。
- 指定外のエプソン純正品インクパックを使用して生じた本体の損傷、故障については、保証期間内であっても責任を負いかねますのでご了承ください。
 ∠3 「消耗品とオプション」127ページ
- インクタンクの上に物などを置いたり、強い衝撃を与えないでください。インクタンクが外れることがあります。インクタンクが外れたときは、お買い求めの販売店またはエプソンサービスコールセンターにご連絡ください。
 エプソンサービスコールセンターの連絡先 △ 「お問い合わせ先」164 ページ

操作パネルの画面に「インク残量を確認してください。」と表示されたら、インクタンクのインク残量をインクパックの目盛りで確認してください。



インク残量がインクタンクの底面から 70mm の位置よりも多いとき

新品のインクパックの全量をインクタンクに補充で きるように、インク残量がインクタンク底面から 70mm になるまで使い続けてください。

インク残量が 70mm 以下のとき

SC-F7200 の場合

操作パネルのチップユニットの状態が予約中の場合 は手順7に進んでください。予約されていない場合 は手順2に進んでください。

SC-F7100/SC-F7000 の場合

手順2に進んでください。

!重要

インク残量がインクタンクの底面から 70mm よりも多 い状態で、[インク残量 限界値以下] と表示されると きは、インクタンクの交換時期です。インクタンクを 交換してください。交換修理は、有償となります。 交換修理時には、インクタンク内のインクは廃棄しま す。これは、インクタンク内のインクに細かい塵やホ コリなどの異物が混入されたことが、インクタンク不 具合の原因となっているためです。 インクタンク交換に至る期間は、使用環境や使用状況 により異なります。 交換修理は、お買い求めの販売店またはエプソンサー ビスコールセンターにで連絡ください。 エプソンサービスコールセンターの連絡先 _ f お問い 合わせ先」164 ページ 2 チップユニットを交換するスライダーのロックレ バーを引き上げます。







!重要

スライダーは傾けないでください。チップユニットが 落下すると破損の原因となります。

スライダーからチップユニットを取り外します。



5 新品のインクパックに付属のチップユニットを取り付けます。

取り付け時は、スライダーとチップユニットのラベ ルの色が一致していることを確認してください。





!重要

スライダーを勢いよく押し込まないでください。故障 の原因となります。 7 新しいインクパックを図のように水平方向に両側 約 5cm の振り幅で 5 秒間に 15 回程度よく振り ます。



8 操作パネルの画面にエラーや警告が表示されてい ないことを確認してからスライダーの注入口カ バーを開けます。

エラーや警告が表示されたときは、メッセージに 従ってエラー/警告の対応後に以降の作業に進んでく ださい。





補充するインクの種類によって注入口キャップの外 し方が異なります。

!重要

注入口キャップをゆっくり外してください。勢いよく キャップを外すとインクが飛び散ることがあります。

高濃度ブラックインク以外



高濃度ブラックインク

図の囲み部を持って注入口キャップを外します。他の部分を持って注入口キャップを外すと、インクが付着します。



- 6) 6 10 インクパックのそそぎ口を切り取ります。 ſ
- ② かくはん棒をインクタンクに引っかけます。

11 インクタンクにインクパックのインクを補充しま す。

インクパックのそそぎ口をインクタンク注入口の溝 に当ててゆっくりと傾けてください。



!重要

インクパックのインクは残さず、一度で注ぎ切ってく ださい。 インクパックのインクは、複数のインクタンクに注ぎ 分けないでください。 インク残量警告システムのメッセージが適切に表示さ れない原因となります。

12 インクタンクに注入口キャップを付けます。

インクの種類によって注入口キャップの付け方が異 なります。

高濃度ブラックインク以外



高濃度ブラックインク



!重要

注入ロキャップは浮かないように確実に押し込んでく ださい。スライダーを引き抜く際に注入ロキャップと 接触すると破損することがあります。





廃インク処理

操作パネルの画面に以下のメッセージが表示されたら、 必ず直ちに新しい廃インクボトルと交換してください。

- •空の廃インクボトルを準備してください。
- 空の廃インクボトルと交換して、OK を押してください。

廃インクは別の容器に移し替えずに廃インクボトルごと 廃棄してください。

!重要

印刷中やヘッドクリーニング中は、絶対に廃インクボトルを 取り外さないでください。廃インクが漏れることがあります。

廃インクカウンターについて

本機は、廃インクカウンターで廃インクの量をカウント し、累計が警告量に達するとメッセージでお知らせしま す。メッセージに従って新しい廃インクボトルに交換す ると、廃インクカウンターは自動的にクリアされます。 メッセージが表示される前に廃インクボトルを交換した ときは、交換後にメンテナンスメニューで廃インクカウ ンタークリアを実行してください。

∠☞「メンテナンスメニュー」113 ページ

!重要

メッセージが表示される前に廃インクボトルを交換したとき は、必ず廃インクカウンターをクリアしてください。次回か ら、廃インクボトルの交換時期を正しくお知らせできなくな ります。

廃インクボトルの交換

以降の手順に従って、交換作業を行います。 作業を行う前に、必ず以下をお読みください。 ∠37「作業時のご注意」72 ページ





廃インクボトルを廃インクボトルホルダーから取 り出します。





参考

ストッパーの裏側が汚れているときは、拭いてください。

3 新しい廃インクボトルの口を廃インクチューブに 差し込んでから、廃インクボトルホルダーに設置 します。

使用後の廃インクボトルはしっかりふたをしてくだ さい。

!重要

- 必ず、廃インクチューブがボトルの口に差し込まれていることを確認してください。廃インクチューブがボトルから外れていると廃インクが周囲にこぼれます。
- ・廃インクボトルのふたは、廃インクを廃棄するとき に必要となります。捨てずに保管しておいてくださ い。



!重要

ストッパーがボトルの口に密着していることを確認し てください。隙間があると、廃インクが飛び散り、周 囲が汚れることがあります。

5 【OK】ボタンを押します。

6 再度、新しい廃インクボトルが正しく装着されて いることを確認します。【OK】ボタンを押すと、 廃インクカウンターがクリアされます。

∠⑦「使用済み消耗品の処分」98ページ

ヘッドクリーニングを数回行ったり、清掃を行ってもノ ズルの目詰まりが解消できないときは、ワイパークリー ナーやワイパーが摩耗・劣化している可能性があります。 以下の状態になっているときは、ワイパークリーナーと ワイパーを交換してください。

- ワイパー:ワイパー部分をクリーニング棒で拭き取って
 も先端が滑らかにならない。または、ワイパー部分にひび割れが見られる。
- ワイパークリーナー:吸収材の裏面にインクが固着して、膜が張ったようになっている。



以降の手順に従って、交換作業を行います。 作業を行う前に、必ず以下をお読みください。 ∠37「作業時のご注意」72 ページ



プリントヘッドをメンテナンス位置まで移動させ ます。

∠중「プリントヘッドの移動」73ページ

2 プリントヘッドが左側に移動したことを確認し て、右側のメンテナンスカバーを開けます。



3 ワイパークリーナーを取り外します。

図のようにつまんで引き上げます。



4 新品のワイパークリーナーを取り付けます。 取り付け部に載せて、パチッと音がするまで押し込みます。



5 ワイパーを取り外します。

ワイパー装着部分をつまんだまま、左側に傾けて取 り外します。



6 新品のワイパーを取り付けます。

ワイパーのふき取り部分についているキャップを取 り外します。

本機の取り付け部に載せて、パチッと音がするまで 押し込みます。



 アンテナンスカバーを閉めて、設定メニューを終 了させます。
 一度【OK】ボタンを押すと、ワイパーが奥側に移 動します。再度【OK】ボタンを押すと、プリント ヘッドが通常位置に戻り、設定メニューが終了しま す。
 使用済みワイパーとワイパークリーナーの廃棄
 △了「使用済み消耗品の処分」98 ページ

スライド式メディア押さえ板の 交換

付属品のメディア押さえ板が変形したり破損したりした ときは、必ず新品と交換してください。

交換用のメディア押さえ板については、お買い求めの販 売店またはエプソンサービスコールセンターにお問い合 わせください。交換用のメディア押さえ板は、全てスラ イド式です。

∠중「お問い合わせ先」164 ページ

!重要

- 変形したり破損したりしたメディア押さえ板を使い続ける と、プリントヘッドが損傷するおそれがあります。
- はめ込み式のメディア押さえ板を交換する際は、左右両方 をスライド式に交換してください。

交換方法

1 メディアを取り外してから、⁽⁾ボタンを押して本 機の電源を切ります。

∠중 「メディアの交換」 40 ページ

2 左側のメンテナンスカバーと前面カバーを開けま す。



3 交換対象のメディア押さえ板を取り外します。

スライド式のメディア押さえ板は、以下の手順で取 り外します。

 メディア押さえ板のツマミを両側から押さえた ままプラテンの左端に移動します。

!重要

メディア押さえ板は、必ずプラテンの左端から取り外 してください。右端から取り外すと、メディア押さえ 板が本機の内部に落下して不具合の原因となります。



- ② 左側のメディア押さえ板を取り外し、次に右側のメディア押さえ板を取り外します。
- 4 プラテンの左端から新品のメディア押さえ板を挿 入します。

!重要

メディア押さえ板を右端から挿入すると、メディア押 さえ板が本機の内部に落下して不具合の原因となりま す。

挿入する際は、以下の2点を確認しながら行いま す。

 プラテン上の白線とメディア押さえ板の白線が 一直線になるように位置を合わせます。





② 金属板の先端をプラテンに押し当てながら、プ ラテン手前の角にツメを引っ掛けます。 5 メディア押さえ板の裏面の2ヵ所のツメが下図の ように確実に引っ掛かり、プラテンとの間に隙間 なく装着されていることを確認します。 ① 四角い穴の裏側のツメ:白線の手前の溝 ② ツマミの裏側のツメ:プラテン手前の角 2) (1) 18

!重要

両方のツメが正しく引っ掛かっていないときは、手順3 に戻って取り付け直してください。そのまま使用する と、ヘッドが破損するおそれがあります。

- 6 メディア押さえ板のツマミを両側から押さえたまま、プラテンの左端と右端へ移動します。
 - ツマミを放すと、メディア押さえ板が固定されま す。



7 左側のメンテナンスカバーと前面カバーを閉めま す。

その他のメンテナンス

______ 高濃度ブラックインクのかくは ん

高濃度ブラックインクは沈降しやすい特性があります。 インクタンク内のインクは、1週間に1度かくはんしてく ださい。沈降したまま使用すると印刷結果の色味が変わ ることがあります。

作業を行う前に、必ず以下をお読みください。 ∠☞「作業時のご注意」72ページ



2 インクタンクの注入口キャップを外します。

図の囲み部を持って注入ロキャップを外します。他 の部分を持って注入ロキャップを外すと、インクが 付着します。

!重要

注入口キャップをゆっくり外してください。勢いよく キャップを外すとインクが飛び散ることがあります。



3 かくはん棒を、1 秒間で上下に 1 往復する動作を 15 回程度繰り返します。

上下動作はかくはん棒の引っかけ部が完全に見える まで引き上げ、注入口キャップがインクタンクに付 くまで下げてください。



!重要

Δ

かくはん棒はゆっくり動かしてください。勢いよく動 かすと、インクが飛び散ることがあります。



!重要

注入口キャップは浮かないように確実に押し込んでく ださい。スライダーを引き抜く際に注入口キャップと 接触すると破損することがあります。

5 注入ロカバーを閉めます。



ノズルの目詰まりチェック

良好な印刷品質を維持するために、ノズルの目詰まりを チェックしてから印刷することをお勧めします。

目詰まりチェックの種類

ノズルの目詰まりをチェックするには、以下の 2 通りの 方法があります。

 ページ間ノズルチェック印刷
 設定されたページごとに、通常の印刷の先頭にチェック パターンを印刷します。印刷終了後にチェックパターン
 を目視で確認することで、チェックパターン前後の印刷
 にかすれや欠けがないかを判断します。
 プ「プリンター設定メニュー」111ページ

任意にチェックパターンを印刷する
 必要に応じてチェックパターンを印刷し、印刷された
 チェックパターンを目視で確認してノズルの目詰まりがあるか確認します。

セットしているメディア幅によっては、一度パターン印 刷した余白にパターンを並べて印刷してメディアの使用 量を節約できます。

- 51 インチ以上~64 インチ未満のとき:右側、中央、左側の最大3回まで並べて印刷できます。
- •34 インチ以上~51 インチ未満のとき:右側と左側に 2 回まで並べて印刷できます。

なお、メディア幅 34 インチ未満のときとメディア幅検出 を OFF に設定しているときは、並べて印刷はできません。

ここでは、任意にチェックパターンを印刷してノズルの 目詰まりを確認する方法を説明します。

以下の設定で使用するボタン



1 印刷可能状態であることを確認し、【 ☞ 】ボタン を押します。

メンテナンスメニューが表示されます。

2 [ノズルチェック] を選択し、任意の印刷位置を 選択して【OK】ボタンを押します。

3

チェックパターンが印刷されます。



印刷されたチェックパターンを確認します。

目詰まりしていないときの例

 <u> </u>	

チェックパターンが欠けていません。

目詰まりしているときの例

E===_ ===		
=======================================	+====	=========
	<u></u>	
	<u>+==</u>	

チェックパターンが欠けている列のヘッドクリーニ ングを行ってください。 *_3* 「ヘッドクリーニング」97 ページ 必ず全色のノズルの目詰まりを解消してから使用を 再開してください。再開後の印刷で使用しない色で も目詰まりしたまま使い続けると、目詰まりが解消 できなくなります。

印刷が終了すると、設定メニューが終了します。

ヘッドクリーニング実行後のチェックパターン印刷に、 既にチェックパターンを印刷したメディアの余白を使う ときは、印刷開始位置が加圧ローラーの位置にくるまで 【▲】ボタンでメディアを巻き戻してください。

ヘッドクリーニング

印刷されたチェックパターンにかすれや欠けがあるとき は、以下の手順でヘッドクリーニングを行うとノズルの 目詰まりを解決できることがあります。

印刷結果にかすれや色の問題がない限り、ヘッドクリー ニングを行う必要はありません。

また、印刷中に印刷を一時停止(ポーズ)して、ヘッド クリーニングを行うことができます。ただし、印刷再開 時に印刷物の色味が変わることがあります。

ヘッドクリーニングのレベル

ヘッドクリーニングは、3 段階のレベルから選択して行えます。

最初は、[実行(弱)]を選択してください。ヘッドクリー ニングを1回実行しても、チェックパターンにかすれや 欠けがあるときは、[実行(中)]または[実行(強)]を 実行してください。

(参考)

ヘッドクリーニングをしても、印刷がかすれたり欠けたりす るときはプリントヘッド周りの清掃をしてください。 ∠☞「プリントヘッド周辺の清掃」74ページ

自動メンテナンス機能

本機では、以下のように時期を指定して定期的にヘッド クリーニングをする、便利な自動メンテナンス機能を搭 載しています。

・定期クリーニング
 1~240時間後の範囲で、設定した時間置きに自動的に
 ヘッドクリーニングが行われます。
 ∠③「プリンター設定メニュー」111ページ

ここでは、任意にチェックパターンを印刷してノズルの 目詰まりを確認したときのヘッドクリーニングの方法を 説明します。

以下の設定で使用するボタン



印刷可能状態であることを確認し、【 ☞1】ボタン を押すと、メンテナンスメニューが表示されま す。

印刷を一時停止(ポーズ)中に【 🖬 】ボタンを押 すと手順 3 に進みます。

【▼】/【▲】ボタンを押して[クリーニング] を選択し、【OK】ボタンを押します。

ヘッドクリーニングするノズル列の指定方法を選 択します。

[全列クリーニング]

3

印刷されたチェックパターンを確認したとき、全てのパターンにかすれや欠けがあるときに選択します。[全列クリーニング]を選択したときは、手順5に進みます。

[クリーニングする列を選択]

印刷されたチェックパターンを確認したとき、特定の番号(ノズル列)のパターンにかすれや欠けがあるときに選択します。ノズル列は複数選択できます。

- 4 ヘッドクリーニングするノズル列を選択します。
 - 【▼】/【▲】ボタンを押してチェックパターン で、かすれや欠けがあるパターンの番号が含まれ ているノズル列を選択し、【OK】ボタンを押し ます。
 - ヘッドクリーニングするノズル列を全て選んだ
 ら、[選択を決定し次へ]を選択して【OK】ボ
 タンを押します。
- 5 クリーニングのレベルを選択し、【OK】ボタンを 押します。

最初は、実行(弱)を選択してください。

6 ヘッドクリーニングが行われます。

ヘッドクリーニング終了後、設定メニューが終了し ます。チェックパターンを印刷して目詰まりが解消 されたことを確認します。

_☞「ノズルの目詰まりチェック」96ページ

手順1で印刷を一時停止(ポーズ)してヘッドク リーニングをしたときは、ヘッドクリーニングが終 了すると印刷が再開されるので、印刷結果でノズル の目詰まりが解消されたことを確認します。

使用済み消耗品の処分

以下の使用済み消耗品は産業廃棄物です。

使用済みのインクパックやチップユニット、汚れたクリーニング棒、廃インクボトル、ワイパー、ワイパークリーナー、印刷後のメディアなどのインク付着物

 汚れたインククリーナーやキャップクリーニング液 産業廃棄物処理業者に廃棄物処理を委託するなど、法令 に従って廃棄してください。委託時には、製品安全デー タシートを産業廃棄物処理業者に提出してください。
 製品安全データシートは、エプソンのホームページ (http://www.epson.jp)からダウンロードできます。

定期交換部品

定期交換部品の種類は、以下の通りです。 (2015 年 4 月現在) 最新の情報は、エプソンのホームページ(http:// www.epson.jp)から「定期交換部品料金一覧」をご確認 いただくか、エプソンサービスコールセンターにお問い 合わせください。 エプソンサービスコールセンターの連絡先 *△* 「お問い 合わせ先」164 ページ

インクタンク:交換時期は使用状況により異なります。

寿命に至る期間は使用環境により異なります。印刷品質 を見て交換時期を判断してください。 交換の依頼はお買い求めの販売店またはエプソンサービ スコールセンターに連絡してください。

操作パネルのメニューの使い方

メニューの操作

メニューの操作は以下の通りです。 SC-F7200の設定メニューを例にメニューの操作を説明しています。



設定メニュー一覧

設定メニューで設定・実行できる項目と各設定値は以下の通りです。各項目の詳細は参照ページをご覧ください。 設定項目や設定値の*は、以下を示しています。

*1:SC-F7200、SC-F7100 のみ対応 *2:SC-F7000 のみ対応 *3:SC-F7200 のみ対応 *4:SC-F7100、SC-F7000 のみ 対応

メニュー	設定項目	設定値		
メディア管理 ☞「メディア管理 - メニュー」105 ペー ジ	パネル表示設定	メディア残量、メディア使用量		
	メディア残量管理			
	残量管理設定	ON、OFF		
	メディア長さ設定	1.0~999.5m		
	メディア残量警告	1~15 m		
	メディア残量印刷	白刷		
	メディア使用量リセット			
	手動リセット	-		
	自動リセット	しない、ジョブごと		
	メディア選択	RIP 設定、1~30(メディア設定番号)		
	メディア設定変更			
	現在の設定	現在選択されているメディア設定の内容を変更します。選択して いる設定が RIP 設定かメディア設定番号かにより変更できる項目 が異なります。変更できる項目については以下の RIP 設定あるい は 1~30 の項をご覧ください。		
	1~30(メディア設定番号)			
	設定名の登録	22 文字以内(半角英数字・記号)		
	メディア送り補正	手動		
	プラテンギャップ設定	1.5、2.0、2.5		
	ギャップ調整	手動(Uni-D)、手動(Bi-D)		
	ヒーター/乾燥設定 ^{*1}			
	ヒーター温度設定	OFF、30∼55℃		
	パスごとの乾燥時間	0~10秒		
	空白のメディア送り	モード0 ^{*3} 、モード1、モード2、モード3		
	印刷後の乾燥送り	ON、OFF		
	乾燥設定*2			
	パスごとの乾燥時間	0~10秒		

×=	設定項目	設定値
	吸着力	0~10
	ヘッド移動量	データ幅、プリンター全幅
	重ね描き回数	OFF、2~8回
	ロール巻き仕様設定	印刷面外巻き、印刷面内巻き
	テンション測定	定期、1ページごと、OFF ^{*2}
	搬送テンション ^{*1}	·
	自動	-
	手動	0~40
	巻き取りテンション ^{*1}	
	自動	-
	手動	1~6
	メディアテンション* ²	0~40
	印刷時のメディア送り速度	自動 ^{*1} 、Lv1、Lv2
	貼り付き防止*3	ON、OFF
	設定初期化	はい、いいえ
	RIP 設定	
	プラテンギャップ設定	1.5、2.0、2.5
	ギャップ調整	
	メディア厚を入力します。	0.1~1.0mm
	ロール巻き仕様設定	印刷面外巻き、印刷面内巻き
	テンション測定	定期、1ページごと、OFF*2
	搬送テンション*1	
	自動	-
	手動	0~40
	巻き取りテンション*1	
	自動	-
	手動	1~6
	メディアテンション*2	0~40
	貼り付き防止*3	ON、OFF
	設定初期化	はい、いいえ
	設定内容の印刷	印刷

メニュー	設定項目	設定値
プリンター設定 ⊿? 「プリンター設 定メニュー」 111	サイドマージン(右)	3~25mm
	サイドマージン(左)	3~25mm
~->	印刷開始位置	0~800 mm
	ページ間余白*3	
	標準	-
	余白なし	-10mm ~ +10mm
	メディア幅検出	ON、OFF
	メディア終端検出	ON、 OFF
	斜行エラー検出	ON、OFF
	メディア交換後の印刷動作*3	継続、打ち切り
	ページ間ノズルチェック印刷	OFF、1~10ページごと
	定期クリーニング	
	弱	OFF、1~240 時間後
	中	
	強	
	強力	
	ページ間クリーニング	OFF、1~10 ページごと
	ヒーターオフタイマー*1	15~240分
	スリープモード移行時間*2	15~240分
	チャージ設定 ^{*3}	
	自動チャージ時期延長	
	設定するインク色を選択	ON、 OFF
	強制チャージ	
	設定するインク色を選択	-
	プリンター設定初期化	はい、いいえ

メニュー	設定項目	設定値	
メンテナンス ☞「メンテナンス メニュー」113 ペー ジ	ノズルチェック	印刷 (訳字項目にまこされるメニューは、メディア幅検出の訳字や	
	印刷位置(右)	(設定項目に表示されるノニューは、ノノイア幅快田の設定や セットしているメディア幅によって異なります。)	
	印刷位置(中央)		
	印刷位置(左)		
	クリーニング		
	全列クリーニング	実行(弱)、実行(中)、実行(強)	
	クリーニングする列を選択	実行(弱)、実行(中)、実行(強)	
	ヘッドメンテナンス	ヘッド移動	
	廃インクカウンタークリア	-	
	ジョブ履歴の印刷	ED刷	
□ □ 刷 復 歴 メ 113 ページ	総印刷面積表示	XXXXXXm ²	
プリンターステータ ス ∠☞「プリンタース テータスメニュー」 113 ページ	プリンターステータスの印刷	白刷	
	ファームウェアバージョン	XXXXXXX,X_XX,XXXX	
ネットワーク設定	IP アドレス設定		
25 「ネットワーク 設定メニュー」114	自動	-	
ページ	パネル	IP:000.000.000 - 255.255.255.255 SM:000.000.000 - 255.255.255.255 DG:000.000.000 - 255.255.255.255	
	ネットワーク設定の印刷	印刷	
	ネットワーク設定初期化	はい、いいえ	
環境設定	日時設定	年/月/日 時:分	
」 ニュー」114 ページ	表示言語/Language	日本語, English, French, Italian, German, Portuguese, Spanish, Dutch, Russian, Korean, Chinese	
	長さ単位	m、ft/in	
	温度単位*1	°C、F	
	警告ブザー設定	ON、OFF	
	アラートランプ設定	ON、OFF	
全設定の初期化 ∠☞「全設定の初期 化メニュー」115 ページ	-	はい、いいえ	

設定メニューの説明

メディア管理メニューは、【 ① ボタンを押して直接呼び出すことができます。

パネル表示設定

操作パネルの画面のメディア情報に表示される内容を設定します。

設定値	説明
メディア残量	以下のアイコンと 0.1m(1ft)単位で残量が表示されます。
	[残量管理設定]を[OFF]にすると表示されません。
メディア使用量	以下のアイコンと 1m(1ft)単位で印刷した使用量が表示されます。
	プリンターステータスの印刷や、ノズルの目詰まりチェックパターンの印刷 など、メンテナンスに関わる印刷も加算されます。メディア送りボタンや、 印刷後の乾燥送りなどで送られた分は加算されません。

メディア残量管理

設定項目	設定値	説明
残量管理設定	ON	セットしたメディアの残量を表示・記録する([ON])/しない([OFF])を
	OFF	選択します。[UNJ にすると、[メティア長さ設定]と「メティア残量書告」、 [メディア残量印刷]が表示され設定できます。[メディア長さ設定]で設 定した値と印刷で使用したメディアの長さから、操作パネルの画面にメディ ア残量が表示されます。
メディア長さ設定	1.0~999.5m	セットしたメディアの全長を 1.0~999.5m の範囲で設定します。設定は 0.5m 単位で行えます。
メディア残量警告	1~15m	メディアの残量がどのくらいになったら、警告を表示するか、その値を 1~ 15m の範囲で設定します。設定は 0.5m 単位で行えます。
メディア残量印刷	印刷	セットされているメディアを別のメディアと交換するときは、[メディア残 量印刷]を行い交換するメディアに残量を印刷しておくと、次回そのメディ アをセットした際にメディア長さの設定が確実にできて便利です。

メディア使用量リセット

設定項目	設定値	説明
手動リセット	-	【OK】ボタンを押すと、使用量をリセットします。
自動リセット	しない	使用量をリセットしません。ただし数値が 9999 になると、次は 0 になります。
	ジョブごと	次のジョブの印刷が開始されるとリセットします。

メディア選択

設定値	説明
1~30(メディア設定番号)	印刷で使用するメディア設定を選択します。 PIP 設定にすると、ソフトウェア PIP で設定したメディア設定で印刷します
RIP 設定	1~30のいずれかにすると、設定した番号に保存されているメディア設定で 印刷します。番号にメディア設定を保存するには、[メディア設定変更]で 行います。

メディア設定変更

設定項目	設定値	説明
現在の設定	-	現在設定されているメディア設定の内容を変更します。設定が[RIP 設定] かメディア設定番号かにより変更できる項目が異なります。変更できる項目 については以下の RIP 設定あるいは 1~30 の項をご覧ください。

1~30(メディア設定番号)

設定項目や設定値の*は、以下を示しています。

*1:SC-F7200、SC-F7100 のみ対応 *2:SC-F7000 のみ対応 *3:SC-F7200 のみ対応 *4:SC-F7100、SC-F7000 のみ 対応

設定項目	設定値	説明
設定名の登録	-	保存するメディア設定に、半角英数字・記号 22 文字以内で名前を付けられ ます。区別しやすい名前を付けると、選択時に判別しやすくなります。
メディア送り補正	手動	ヘッドクリーニングやギャップ調整を行ってもバンディング(水平方向の帯 状の模様や色ムラ、スジ)が解決できないときに行います。 印刷されたパターンを目視で確認し、値を入力して補正します。 △ア「メディ ア送り補正」64 ページ 補正は、セットされているメディアに応じて行われます。実際に補正が必要 なメディアを実際の印刷時と同じ状態でセットして行います。
プラテンギャップ設定	1.5	プラテンギャップ(プリントヘッドとメディアの間隔)を変更します。
	2.0	SC-F7200、SC-F7100のメーカー設定値は、2.0 ピタ。SC-F7000のメーカー 設定値は、1.5 ピタ・通常は、メーカー設定値のまま使用します。印刷結果
	2.5	がこすれて汚れるときは、設定値を1つあげて間隔を広げます。2.5は、 に設定してもこすれ汚れが改善されないときに限り設定します。むやみ 定すると、本機の内部がインクで汚れ印刷品質の低下や、本機の寿命に をきたすことがあります。
ギャップ調整	手動(Uni-D)	 印刷結果に粒状感やピントのずれが生じるときは、ギャップ調整を行い、印
	手動(Bi-D)	印刷された調整パターンを目視で確認し、最適と思う調整値を入力して します。∠3 「印刷のズレ調整(ギャップ調整)」63ページ

設定項目		設定値	説明		
Ŀ	ヒーター/乾燥設定*1				
	ヒーター温度設定	OFF	アフターヒーターの温度設定ができます。 ヒーター温度設定のメーカー設定値は 55℃です。		
		30∼55℃			
	パスごとの乾燥時間	0~10 秒	プリントヘッドの移動(パス)を停止させてインクの乾燥を補助するための時間を 0.0~10.0 秒の範囲で設定します。印刷幅が変わっても一定の乾燥時間を保ちたい場合は、メディア幅に応じた乾燥時間を設定します。詳細は以下をご覧ください。 ②「ヒーター/乾燥設定(SC-F7200/SC-F7100 のみ)」58 ページ インク濃度やメディアによっては、インクが乾燥しにくいことがあります。 印刷結果にインク垂れやにじみが起きるときは、上記参照先の表の目安を元 に設定してください。 時間を長く設定するほど、印刷時間が長くなります。		
	印刷後の乾燥送り	ON	印刷後、アフターヒーターの位置まで印刷終端部を送る([ON])/送らない ([OFF])を選択します。 メディアをカット後、次の印刷をするときは[ON]が適しています。ただ し、余白が大きくなります。		
		OFF			
	空白のメディア送り	モード 0*3	ジョブの中で印刷データが存在しない部分(空白エリア)があると、メディ アが早く送られます。選択したモードの値が小さいほどメディアを送る速度 が早くなります。これにより、インクが十分に乾燥されないときは以下をご		
		モード1			
		モード2	△⑦「ヒーター/乾燥設定(SC-F7200/SC-F7100のみ)」58ページ		
		モード3			
乾	 乾燥設定 ^{*2}				
	パスごとの乾燥時間	0~10 秒	プリントヘッドの移動(パス)を停止させてインクの乾燥を補助するための 時間を 0.0~10.0 秒の範囲で設定します。インク濃度やメディアによっては、 インクが乾燥しにくいことがあります。印刷結果にインク垂れやにじみが起 きるときは、乾燥時間を長めに設定してください。 時間を長く設定するほど、印刷時間が長くなります。		
		0~10	メディアとプリントヘッドの距離を適正に保つために、メディアに合った吸 着力で印刷することが大切です。薄いメディアや柔らかいメディアは吸着力 が強すぎると、プリントヘッドとメディアの距離が広くなりすぎ印刷品質が 低下する、または正しくメディアが送られないことがあります。そのような ときは吸着力を弱めます。設定値が小さくなるほど吸着力が弱くなります。		
^	ッド移動量	データ幅	印刷時にプリントヘッドが移動する範囲を設定できます。 「データ幅」は、印刷データ幅の範囲でプリントヘッドが移動します。プリ		
		プリンター全幅	し、 フィー」は、ローバフーフィーのモロをフラフトベットが移動します。 フリントヘッドの移動範囲が狭くなるため、印刷速度が向上します。 [プリンター全幅]は、本機の最大メディア幅の範囲でプリントヘッドが移動します。印刷品質が均一で、よりムラのない印刷品質をお求めのときは、 こちらに設定します。		
重ね描き回数		OFF	1 行あたりの重ね描き回数を設定できます。		
		2~8回			
ロール巻き仕様設定		印刷面外巻き	セットしたメディアのロール巻き仕様に応じて [印刷面外巻き] / [印刷面内 巻き] を選択します。		
		印刷面内巻き			

操作パネルのメニューの使い方

設定項目	設定値	説明
テンション測定	定期	印刷中のメディアのテンションを適正に保つために、自動的にテンションを 測定して補正する([定期]、[1ページごと])/しない([OFF])を選択しま す。
	1ページごと	
	OFF*2	」通常は「定期」のまま使用します。 メディアによって、補正機能がうまく働かずに弛むなどして正しく印刷でき ないときは、[OFF] に変更します。ただし、[OFF] を選択すると、ページ 間の余白が通常より大きくなります。また、印刷が停止せずに機内が汚れる おそれがあるので、以下の点を守ってください。
		• 印刷がロールの終端にかからない。
		・メディア終端検出を[OFF]に設定しない。
		[1 ページごと] にするとテンション測定の精度を高めることができますが、 印刷時間が長くなります。

搬送テンション $*^1$

自動	-	通常は[自動]で使用します。[自動]にしたときは、[メディア幅検出]か [ON]になっていないと、メディア幅を検出できないため、適切なテンショ ンがかかりません。 以下のときは手動に設定し、設定値の変更をお勧めします。設定値を大きく
手動	0~40	
		するほとノンノヨンが向くなりよす。
		• 印刷中にメディアにしわが寄るとき
		セットしたメディア幅に応じて設定値を推奨値より大きくしてください。
		 印刷結果にバンディング(水平方向の帯状の模様や濃淡ムラ、スジ)が不 規則に発生するとき
		セットしたメディア幅に応じて設定値を推奨値より小さくしてください。
		• [メディア幅検出] を [OFF] に設定しているとき
		セットしたメディア幅に応じて、[搬送テンション]の値を推奨値の設定 にしてください。詳細は、以下をご覧ください。 ∠☞ 「搬送テンション(SC-F7200/SC-F7100のみ)」61 ページ

巻き取りテンション*1

	手動	- 1~6	通常は[自動]で使用します。[自動]にしたときは、[メディア幅検出]が [ON]になっていないと、メディア幅を検出できないため、適切なテンショ ンがかかりません。 印刷中にメディアにしわが発生するときや印刷結果にホワイトバンディング (白または薄い色のスジ)が発生するときは、[手動]に設定し、設定値を Lv3 より小さくすることをお勧めします。巻き取ったメディアの裏側にイン クが付着するときも同様に設定してください。厚いメディアがうまく巻き取 れないときは、[手動]に設定し、設定値をLv3 より大きくすることをお勧 めします。設定値を大きくするほどテンションが高くなります。
メディアテンション*2		0~40	[テンション測定] の設定により、メーカー設定値が以下のように変わりま す。 [定期] / [1ページごと]:Lv28 [OFF]:Lv39 セットしたメディア幅に応じて、設定メニューの [メディアテンション] の 値を設定することをお勧めします。値は、[テンション測定] の設定により 異なります。詳細は以下をご覧ください。 ∠③ [メディアテンション (SC-F7000 のみ)] 62ページ
貼り付き防止 ^{*3}		ON OFF	本機の電源を入れたときや印刷開始時などにメディアの貼り付き防止動作を 実行する([ON])/しない([OFF])を選択します。[ON]を選択すると、動 作時間が長くなるため、通常は[OFF]で使用することをお勧めします。メ ディアの種類によっては、プラテンに貼り付きやすいものがあります。メ ディアがプラテンに貼り付いた状態で動作を開始すると、メディアが正常に 送られずメディア詰まりの原因となります。そのときは、[ON]に設定しく てださい。
設定項目	設定値	説明	
-------------	------------------	---	--
印刷時のメディア送り速	自動 ^{*1}	SC-F7200、SC-F7100のメーカー設定値は、自動です。SC-F7000のメーカー	
	Lv1	設定値は、LVZとり。通常はメーガー設定値のまま使用しまり。薄いメディアを印刷中にしわが寄る、破れる、張り付く、あるいは水平方向のスジが発	
	Lv2	 生するときは、[Lv1] に設定します。ただし、バス数が多いときは、速 変わりません。 	
設定初期化	はい	[はい]を選択すると、選択したメディア設定の設定内容をメーカー設定値	
	いいえ		

RIP 設定

設定項目や設定値の*は、以下を示しています。

*1:SC-F7200、SC-F7100 のみ対応 *2:SC-F7000 のみ対応 *3:SC-F7200 のみ対応 *4:SC-F7100、SC-F7000 のみ 対応

設定項目	設定値	説明
プラテンギャップ設定	1.5	ソフトウェア RIP で設定したメディア設定のプラテンギャップ設定(プリン
	2.0	トヘットとメティアの間隔)を変更します。 SC-F7200、SC-F7100のメーカー設定値は、2.0です。SC-F7000のメーカー
	2.5	設定値は、1.5 です。通常は、メーカー設定値のまま使用します。印刷結果 がこすれて汚れるときは、設定値を1つあげて間隔を広げます。2.5 は、2.0 に設定してもこすれ汚れが改善されないときに限り設定します。むやみに設 定すると、本機の内部がインクで汚れ印刷品質の低下や、本機の寿命に支障 をきたすことがあります。

ギャップ調整

	メディア厚を入力します。	0.1~1.0mm	使用するメディアの厚さを 0.1~1.0mm の範囲で選択します。
ロール巻き仕様設定		印刷面外巻き	セットしたメディアのロール巻き仕様に応じて [印刷面外巻き] / [印刷面内
		印刷面内巻き	答さ」を選択しま 9 。
テンション測定		定期	印刷中のメディアのテンションを適正に保つために、自動的にテンションを
		1ページごと	別たして補正する(「定朔」、「エハーンここ」))しない(「UFF」)を選択しよ す。 、 、 、 、 、 、
		OFF*2	」通常は「定期」のまま使用します。 メディアによって、補正機能がうまく働かずにたるむなどして正しく印刷で きないときは、[OFF] に変更します。ただし、[OFF] を選択すると、ペー ジ間の余白が通常より大きくなります。また、印刷が停止せずに機内が汚れ るおそれがあるので、以下の点を守ってください。
			• 印刷がロールの終端にかからない。
			• メディア終端検出を [OFF] に設定しない。
			[1 ページごと] にするとテンション測定の精度を高めることができますが、 印刷時間が長くなります。

	設定項目	設定値	説明
搬	送テンション ^{*1}		
	自動	-	通常は「自動」で使用します。「自動」にしたときは、「メディア幅検出」が
	手動	0~40	しNJ になっていないと、メディア幅を検出できないため、適切なデンションがかかりません。 以下のときは手動に設定し、設定値の変更をお勧めします。設定値を大きく するほどテンションが高くなります。
			• 印刷中にメディアにしわが寄るとき
			セットしたメディア幅に応じて設定値を推奨値より大きくしてください。
			 印刷結果にバンディング(水平方向の帯状の模様や濃淡ムラ、スジ)が不 規則に発生するとき
			セットしたメディア幅に応じて設定値を推奨値より小さくしてください。
			• [メディア幅検出] を [OFF] に設定しているとき
			セットしたメディア幅に応じて、[搬送テンション]の値を推奨値の設定 にしてください。詳細は、以下をご覧ください。 ∠☞「搬送テンション(SC-F7200/SC-F7100 のみ)」61 ページ

巻き取りテンション*1

	自動	-	通常は [自動] で使用します。 [自動] にしたときは、 [メディア幅検出] が
	手動	1~6	しい」になっていないと、スティア幅を検出できないため、適切なテラジョンがかかりません。 印刷中にメディアにしわが発生するときや印刷結果にホワイトバンディング (白または薄い色のスジ)が発生するときは、[手動] に設定し、設定値を Lv3 より小さくすることをお勧めします。巻き取ったメディアの裏側にイン クが付着するときも同様に設定してください。厚いメディアがうまく巻き取 れないときは、[手動] に設定し、設定値をLv3 より大きくすることをお勧 めします。設定値を大きくするほどテンションが高くなります。
×	ディアテンション ^{*2}	0~40	[テンション測定]の設定により、メーカー設定値が以下のように変わりま す。 [定期] / [1ページごと]:Lv28 [OFF]:Lv39 セットしたメディア幅に応じて、設定メニューの[メディアテンション]の 値を設定することをお勧めします。値は、[テンション測定]の設定により 異なります。詳細は以下をご覧ください。 ∠☞ [メディアテンション (SC-F7000 のみ)] 62ページ
貼り付き防止*3		ON OFF	本機の電源を入れたときや印刷開始時などにメディアの貼り付き防止動作を 実行する([ON])/しない([OFF])を選択します。[ON]を選択すると、動 作時間が長くなるため、通常は[OFF]で使用することをお勧めします。メ ディアの種類によっては、プラテンに貼り付きやすいものがあります。メ ディアがプラテンに貼り付いた状態で動作を開始すると、メディアが正常に 送られずメディア詰まりの原因となります。そのときは、[ON]に設定しく てださい。
設	定初期化	はい	[はい]を選択すると、設定した RIP 設定の内容をメーカー設定値に戻しま す。
	いいえ	いいえ	

設定内容の印刷

設定値	説明
印刷	メディア設定番号 1~30 に設定されている内容を全て印刷します。

プリンター設定メニュー

はメーカー設定値です。

設定項目や設定値の*は、以下を示しています。

*1:SC-F7200、SC-F7100 のみ対応 *2:SC-F7000 のみ対応 *3:SC-F7200 のみ対応 *4:SC-F7100、SC-F7000 のみ 対応

設定項目	設定値	説明
サイドマージン(右)	3~25mm	本機にメディアをセットした状態での、メディア右端からの余白を設定しま す。詳細は以下をご覧ください。 ∠☞「印刷可能領域」68 ページ
サイドマージン(左)	3~25mm	本機にメディアをセットした状態での、メディア左端からの余白を設定しま す。詳細は以下をご覧ください。 ∠☞「印刷可能領域」68 ページ
印刷開始位置	0~800mm	メディア幅の中央よりに印刷したいなど、[サイドマージン(右)]の設定値 よりも左に寄せて印刷したいときなどに設定します。メディア右端から[印 刷開始位置]で設定した値が余白となります。[サイドマージン(右)]を設 定していると、そこからさらに [サイドマージン(右)]で設定した値が余 白となります。詳細は以下をご覧ください。 プ「印刷可能領域」68 ページ
ページ間余白*3	標準	ロ刷ページ間の余白を詰めることができます。一度補正を実施してもお使い のメディアや環境によっては、余白の大きさが変わることがあります。
	余白なし	+方向の数値を大きくすると余白が大きくなり、-方向の数値を小さくすると 余白が小さくなります。 ☞「印刷可能領域」68 ページ
メディア幅検出	ON	メディアセット時にメディア幅を検出する([ON])/しない([OFF])を選 択します、通営は「ON] で使用することをお勧めします
	OFF	メディアを正しくセットしていても、[メディアサイズエラー] が表示され るときは [OFF] に設定して印刷してください。ただし、[OFF] で印刷する とメディア外に印刷されることがあります。メディア外に印刷すると、本機 の内部がインクで汚れます。 変更した設定は、メディアをセットし直すと反映されます。
メディア終端検出	ON	メディア終端を検出する([ON])/しない([OFF])を選択します。メディ スキェレイセットレインスキュ「メディスキレエニー」がまテキセストもは
	OFF	アを正して29下していても、[スティアなしエラー] が表示されるときは [OFF] に設定して印刷してみてください。通常は [ON] で使用することを お勧めします。
斜行エラー検出	ON	メディアが斜めにセットされたときに、操作パネルの画面にエラーを表示して印刷を中止する(「ON1)/中止せずに続行する(「OFF1)を選択します。
	OFF	斜めにセットされると、メディア詰まりの原因となりますので、通常は[ON] で使用することをお勧めします。
メディア交換後の印刷動作*	継続	交換した後のメディアに残りのデータを印刷する(「継続])/印刷しない([打 ち切り])を選択します
	打ち切り	
ページ間ノズルチェック印刷	OFF	定期的にチェックパターン印刷を行うタイミングを [OFF]、[1] ~ [10] ページごとから選択します。[OFF] にすると、定期チェックパターン印刷は
	1~10ページごと	行われません。[1] ~ [10] ページごとのいずれかを選択すると、設定した ページの先頭にチェックパターンを印刷します。印刷終了後にチェックパ ターンを目視で確認することで、チェックパターン前後の印刷にかすれや欠 けがないかを判断します。

	設定項目	設定値	説明
定期クリーニング			
	弱	OFF/1~240 時間後	定期的にヘッドクリーニングをするクリーニングの強さと、その強さで実施
	中		するシイミンジを[UFF]、[1] ~ [240] 時間後から選択します。[0FF] に すると、定期クリーニングは行われません。[1] ~ [240] 時間後のいずれ
	強		かにすると、設定した時間が経過した時点で自動的にヘットクリーニングします。ただし、印刷中に設定した時間に至ったときは、それぞれが終了して から見ない。これが伝われます
	強力		から定期クリーニングが行われます。 また、時間のカウントは以下のタイミングでリセットされます。
			•本設定の設定時間を変更したとき。
			•本設定で選択した設定値以上の強さで全列クリーニングを行ったとき。
			定期クリーニングを[OFF]にしても、印刷後一定時間が経つとプリントヘッ ドのノズルの目詰まりを防ぐために、自動的にヘッドクリーニングを行いま す。
ページ間クリーニング OFF 1~10 ペー		OFF	定期的にヘッドクリーニングを行うタイミングを [OFF]、[1] ~ [10] ペー
		1~10ページごと	せん。[1] ~ [10] ページごとのいずれかにすると、設定したページを印刷 する前に自動的にヘッドクリーニングを行います。
ヒーターオフタイマー*1 1		15~240分	エラーが発生していない状態で、印刷ジョブの受信がない状態が続いたと き、アフターヒーターを自動的にオフにできます。本設定では、アフター ヒーターがオフになるまでの時間を設定します。 ヒーターオフタイマーと連動してスリープモードに移行します。スリープ モードになると、操作パネルの画面表示が消え、内部のモーター等がオフに なり消費電力が抑えられます。 操作パネルのボタン操作(【ひ】ボタンを除く)をすると、操作パネルの画面 表示が復帰します。ただし、この状態でまた何も操作しないと約 30 秒後に 再び画面表示は消えます。完全にヒーターオフが解除され通常の状態に復帰 するのは、印刷ジョブを受信したり、メディアセットレバーを操作するな ど、ハードウェア動作を伴う操作をしたときです。
スリープモード移行時間*2 15~240 分		15~240分	エラーが発生していない状態で、印刷ジョブの受信や操作パネルなどの操作 が何も行われない状態が続いたときは、自動的にスリープモードに移行しま す。 本設定では、スリープモードに移行するまでの時間を選択します。

チャージ設定*3

	自動チャージ時期延長		自動でチャージされた後、インクがインクタンクの底面から 70mm になるま	
	設定するインク色を	ON	で使い続けたときに、表示かい(または 1000000000000000000000000000000000	
	選択 	OFF	ただし、[ON] のままチャージされ続けると [強制チャージ] が必要になる ことがあります。インク補充時期に表示が [なら [OFF] にしてく ださい。 本機のチャージの消費が、インクの消費より先行しているときに設定しま す。	
	強制チャージ		自動でチャージされる前にインク補充時期(インクがインクタンクの底面か	
	設定するインク色を 選択	-	570mmのときにインタイバックを補充)で、デャージ状態がしてき のみ実施できます。チップユニットを予約してから設定する色を選択して実 行すると、現在のチャージを破棄して予約中のチップユニットから本機に チャージされます。廃棄したチャージは再チャージなど元には戻せません。 インクの消費が、本機のチャージの消費より先行しているときに設定しま す。	
プリンター設定初期化 はい いいえ		はい	[はい]を選択すると、[プリンター設定]メニューの各設定値をメーカー	
		いいえ		

メンテナンスメニュー

メンテナンスメニューは、【マイ】ボタンを押して直接呼び出すことができます。

設定項目	設定値	説明
ノズルチェック	印刷	チェックパターンが印刷されます。印刷されたチェックパターンを目視で確 認し、かすれや欠けがあるときはヘッドクリーニングを行います
印刷位置(右)		ふして、ガダルの目詰まりチェック」96ページ
印刷位置(中央)		設定項目に表示されるメニューは、メティア幅検出の設定やセットしている メディア幅によって異なります。
印刷位置(左)		
クリーニング		
全列クリーニング	実行(弱)/実行 (中)/実行(強)	チェックパターンでかすれや欠けがあるパターンの番号を確認し、全列また はその番号が含まれているノズル列を指定して、ヘッドクリーニングしま す、「全列クリーニング」は、全てのノズルに対してヘッドクリーニングし
クリーニングする列を選 択	実行(弱)/実行 (中)/実行(強)	す。[クリーニングする列を選択]は、ノズル列を指定し、指定したノズ ル列に対してのみヘッドクリーニングします。 ヘッドクリーニングのレベルを、[実行(弱)][実行(中)][実行(強)]か ら設定できます。最初は、[実行(弱)]を行ってください。[実行(弱)]を 行ってもチェックパターンにかすれや欠けがあるときは、[実行(中)]を行 います。[実行(中)]を行ってもチェックパターンにかすれや欠けがあると きは、[実行(強)]を行ってください。 ② 「ヘッドクリーニング」 97 ページ
ヘッドメンテナンス	ヘッド移動	プリントヘッドをメンテナンス位置に移動します。ワイパーやキャップ、プリントヘッドの清掃などを行うときは、必ずこのヘッド移動を行ってから清掃作業を行ってください。プリントヘッドを手で動かすと故障の原因となります。 ♪ 「清掃」74ページ
廃インクカウンタークリア	-	操作パネルの画面に、廃インクボトルの交換時期を示すメッセージが表示される前に廃インクボトルを交換したときは、交換後に廃インクカウンタークリアを実行してください。

印刷履歴メニュー

消耗品の使用状況を管理するのにご活用ください。 SC-F7100、SC-F7000のみ表示されます。

設定項目	設定値	説明
ジョブ履歴の印刷	印刷	本機内に保存されている印刷ジョブ(最大 10 ジョブ)に関する情報 を印刷します。印刷ジョブごとにメディア使用量やインク使用量が 印刷されますので消耗品の使用状況が把握できます。
総印刷面積表示	XXXXXXm ²	総印刷面積(6 桁まで)を表示します。

プリンターステータスメニュー

本機の使用状況や設定状況を管理するのにご活用ください。

設定項目	設定値	説明
プリンターステータスの印刷	印刷	現在の本機の設定状態を一覧で印刷します。個々の情報を一括して 確認できます。

設定項目 設定値		説明
ファームウェアバージョン	XXXXXXX,X_XX,XXXX	本機のファームウェアバージョンを表示します。

ネットワーク設定メニュー

はメーカー設定値です。

	設定項目	設定値	説明	
IP	IP アドレス設定			
	自動	-	IP アドレスの設定を DHCP を使用して行う([自動])/手動で行う	
	パネル	IP:XXX.XXX.XXX.XXX	([ハネル])を選択します。[ハネル] では、IPアトレス、サフネットマスク、デフォルトゲートウェイを設定します。それぞれの値は、	
		SM:XXX.XXX.XXX	システム管理者にお尋ねください。	
		DG:XXX.XXX.XXX		
ネ	ットワーク設定の印刷	印刷	現在のネットワーク設定の一覧を印刷します。ネットワーク設定の 個々の情報を一括して確認できます。	
ネットワーク設定初期化		はい	[はい]を選択すると、ネットワーク設定メニューの各設定値をメー	
		いいえ		

_____ 環境設定メニュー

はメーカー設定値です。

設定項目や設定値の*は、以下を示しています。

*1:SC-F7200、SC-F7100 のみ対応 *2:SC-F7000 のみ対応 *3:SC-F7200 のみ対応 *4:SC-F7100、SC-F7000 のみ 対応

設定項目	設定値	説明
日時設定	年/月/日 時∶分	内蔵時計の日時を設定します。ここで設定した時間は、ジョブ履歴 やプリンターステータスの印刷時に使用されます。
表示言語/Language	日本語	操作パネルの画面の表記言語を設定します。
	English	
	French	
	Italian	
	German	
	Portuguese	
	Spanish	
	Dutch	
	Russian	
	Korean	
	Chinese	

設定項目	設定値	説明
長さ単位	m	操作パネルの画面の表記やパターン印刷時に使用する長さの単位を
	ft/in	
温度単位*1	Ĉ	操作パネルの画面の表記で使用する温度の単位を設定します。
	F	
警告ブザー設定	ON	エラーが発生したときに、ブザー音を鳴らす([ON])/鳴らさない
	OFF	 (LOFF」) を設定します。 警告ブザーが鳴っている状態で【OK】ボタンを押すと、音が止ま ます。
アラートランプ設定	ON	エラーが発生したときに、大型アラートランプを点灯する([ON])/ 点灯しない([OFF])を設定します。
	OFF	

全設定の初期化メニュー

設定項目や設定値の*は、以下を示しています。

*1:SC-F7200、SC-F7100 のみ対応 *2:SC-F7000 のみ対応 *3:SC-F7200 のみ対応 *4:SC-F7100、SC-F7000 のみ 対応

設定値	説明
はい	[はい]を選択すると、環境設定メニューの[日時設定]、[表示言語/Language]、[長さ単位]、[温
いいえ	度単位」 *1 を除く全ての設定をメーカー設定値に戻します。

困ったときは

メッセージが表示されたとき

以下のメッセージが表示されたら、対処方法の記載を確認し必要な処置をしてください。

メッセージ	対処方法
空の廃インクボトルを準備してくだ さい。	廃インクボトルの空き容量が残り少なくなりました。新しい廃インクボトルを用意してくだ さい。
チップユニットエラー 正しく認識できません。チップユ ニットをセットし直すか、交換して ください。	 チップユニットをセットし直してください。セットし直しても同じエラーが発生するときは、新しいチップユニットと交換してください。 ∠3°「インクの補充」83ページ ・結露している可能性があります。4時間以上室温で放置してください。 ∠3°「インクパック・インクタンク取り扱い上のご注意」21ページ
チップユニットエラー 正しく認識できません。インクパッ クと本機のラベルを照合してから注 入しましたか?	指定された、エプソン純正品インクパックに付属のチップユニットをセットしてください。 指定外のエプソン純正品インクパックは使用できません。 ∠☞「消耗品とオプション」127 ページ
インク残量を確認してください。	チップユニットの交換時期が近づいています。速やかに、対象の色の新しいインクパックを お手元に用意してください。 インクタンクのインク残量をインクパックの目盛りで確認してください。インク残量がイン クの底面から 70mm 以下のときは、チップユニットの交換とインク補充を行ってください。 インク残量がインクタンクの底面から 70mm の位置よりも多いときは、インク残量が 70mm になるまで使い続けてください。 ☞ 「消耗品とオプション」127 ページ ☞ 「インクパック・インクタンク取り扱い上のご注意」21 ページ ☞ 「インクの補充」83 ページ
コマンドエラー RIP の設定を確認してください。	【Ⅱ·愈】ボタンを押して[ジョブキャンセル]を行います。インストールされているソフト ウェア RIP が本機に適応しているか確認してください。
ファームウェア アップデート エラー アップデートに失敗しました。 電源を入れ直してください。	電源を切り、しばらくたってから電源を入れてください。 LFP リモートパネル 2 で、再びファームウェアをアップデートしてください。 再び同じエラーが発生するときは、お買い求めの販売店またはエプソンサービスコールセン ターに連絡してください。
巻取りユニットエラー オートスイッチを off にし、メディ アを紙管にセットし直してくださ い。 詳しくはマニュアルをご覧くださ い。	このメッセージは SC-F7200、SC-F7100 のみ表示されます。 自動巻取りユニットに正しくメディアが取り付けられていません。 自動巻取りユニットの Auto スイッチを一旦 off にしてから、元の設定に戻して、自動巻取り ユニットにメディアをセットし直してください。 ∠③「メディアの取り付け方(SC-F7200/SC-F7100 の場合)」42 ページ
巻取りユニットが停止しました。	このメッセージは SC-F7000 のみ表示されます。 自動巻取りユニットに正しくメディアが取り付けられていません。 【Ⅱ·①】ボタンを押して[ジョブキャンセル]を選択して印刷を中止してください。 自動巻取りユニットの Auto スイッチを一旦 Off にしてから、元の設定に戻して、自動巻取り ユニットにメディアを取り付けてください。 △③「メディアの取り付け方(SC-F7000 の場合)」50 ページ

メッセージ	対処方法
メディアサイズエラー 正しいサイズのメディアをセットし てください。	不適切な幅のメディアをセットしました。メディアセットレバーを上げて、メディアを取り除いてください。 本機で使用可能な最小メディア幅は 300mm です。それ以上の幅のメディアをセットしてください。 適切な幅のメディアをセットしているにもかかわらずエラーメッセージが表示されるとき は、設定メニューの[メディア幅検出]を[OFF]にすると印刷を実行できることがありま す。

メンテナンスコール/サービスコールが発生したときは

エラーメッセージ	対処方法
メンテナンスコール 部品寿命間近/部品寿命到達 XXXXXXXX	本機の交換部品の交換時期が近付きました。 すぐにお買い求めの販売店またはエプソンサービスコールセンターに連絡してくだ さい。連絡の際には、「XXXXXXXX」(メンテナンスコール番号)を必ず伝えてくださ い。 エプソンサービスコールセンターの連絡先 CF 「お問い合わせ先」164 ページ メンテナンスコールは部品を交換しないと解除されません。そのまま使い続けると、 サービスコールが発生します。
サービスコール XXXX 系エラー XXXX 電源を入れ直しても復帰しないときは、上記 番号をサービスコールセンターに連絡してく ださい	サービスコールは以下の場合に表示されるエラーメッセージです。 ・電源コードが正しく接続されていないとき ・解除できないエラーが発生したとき サービスコールが発生すると、本機は自動的に印刷を停止します。電源を切り、電 源コードをコンセントと本機の電源コネクターから抜いて、接続し直します。本機 の電源を数回入れ直します。 再び同じ番号のサービスコールが表示されるときは、お買い求めの販売店またはエ プソンサービスコールセンターに連絡してください。連絡の際には、「XXXX」(サー ビスコール番号)を必ず伝えてください。 エプソンサービスコールセンターの連絡先 △ 「お問い合わせ先」164 ページ

トラブルシューティング

印刷できない(プリンターが動 かない)

電源が入らない

- 電源プラグがコンセントまたは本機から抜けていませんか?
 差し込みが浅くないか、斜めになっていないかを確認し、しっかりと差し込んでください。
- 電源コンセントに問題がありませんか? ほかの電気製品の電源プラグを差し込んで、動作するか どうか確かめてください。

プリンターとコンピューターの接続 に異常がある

ケーブルが外れていませんか? プリンター側のコネクターとコンピューター側のコネク ターにインターフェイスケーブルがしっかり接続されているか確認してください。また、ケーブルが断線していないか、変に曲がっていないか確認してください。予備のケーブルをお持ちの場合は、差し換えてご確認ください。

コンピューターの仕様が、それぞれのケーブルの接続条件を満たしていますか?
 インターフェイスケーブルの型番・仕様を確認し、コンピューターの種類や本機の仕様に合ったケーブルかどうかを確認してください。
 「仕様一覧」160ページ

USB ハブを使用している場合、使い方は正しいですか?
 USB は仕様上、USB ハブを 5 段まで縦列接続できますが、本機はコンピューターに直接接続された 1 段目のUSB ハブに接続することをお勧めします。お使いのハブによっては動作が不安定になることがあります。動作が不安定なときは、コンピューターのUSB ポートに USBケーブルを直接接続してください。

USB ハブが正しく認識されていますか? コンピューターで USB ハブが正しく認識されているか 確認してください。正しく認識されている場合は、コン ピューターの USB ポートから、USB ハブを全て外して から、本機の USB ポートとコンピューターの USB ポー トに直接接続してみてください。USB ハブの動作に関し ては、USB ハブのメーカーにお問い合わせください。

ネットワーク環境下で印刷ができな い

ネットワークの設定は正しいですか?
 ネットワークの設定については、ネットワークの管理者
 にお問い合わせください。

本機とコンピューターを USB 接続して、 印刷してみてください。 USB の接続で印刷ができるのであれば、ネットワークの 環境に問題があります。システム管理者に相談するか、 お使いのシステムのマニュアルをご覧ください。USB 接 続で印刷ができないときは、本書の該当項目をご覧くだ さい。

プリンター側でエラーが発生してい る

操作パネルのランプ表示と画面のメッセージで確認します。 デ「操作パネル」16ページ 「メッセージが表示されたとき」116ページ

プリンターは動くが印刷されな い

プリントヘッドは動くが印刷しない

本機の動作確認をしてください。 チェックパターンを印刷してください。チェックパターンはコンピューターと接続していない状態で印刷できるため、本機の動作や印刷状態を確認できます。 ご 「ノズルの目詰まりチェック」96ページ チェックパターンが正しく印刷されなかったときは、次項をご確認ください。

操作パネルの画面に [モーター自動調整 中] というメッセージが表示されていませんか? 内部のモーターを調整していますので、電源を切らずに そのままお待ちください。

チェックパターンが正常に印刷でき ない

ヘッドクリーニングを行ってください。 ノズルが目詰まりしている可能性があります。ヘッドクリーニングを行ってから再度チェックパターンを印刷してください。 「ヘッドクリーニング」97ページ

本機を長期間使用していなかったのではありませんか? 本機を長期間使用しないでいると、プリントヘッドのノズルが乾燥して目詰まりを起こすことがあります。本機を長期間使用しなかったときの処置 29 「使用しないと

きのご注意」21ページ

印刷品質/印刷結果のトラブル

印刷品質が悪い/ムラがある/薄い/濃い

プリントヘッドのノズルが目詰まりしていませんか?
 プリントヘッドが目詰まりを起こしていると、特定の色が出なくなり印刷品質が悪くなります。チェックパターンを印刷してみてください。
 「ノズルの目詰まりチェック」96ページ

■ ギャップ調整をしましたか?

印刷結果に粒状感やピントのずれが生じるときは、ギャッ プ調整を行い、印刷時のブリントヘッドのズレを調整し ます。 ②「印刷のブレ調整(ギャップ調整)」62 ページ

⊿了「印刷のズレ調整(ギャップ調整)」63 ページ

■ メディア送り補正をしましたか?

メディア送り量が大きくずれると、印刷結果にバンディ ング(水平方向の帯状の模様や色ムラ、スジ)が発生し ます。使用するメディアに応じてメディア送り補正をし てください。 _3 「メディア送り補正」58 ページ

インクパックは推奨品(当社純正品)を使用していますか? 本機は、本書で指定した純正インクパックの使用を前提に設計されています。指定以外のインクパックを使用すると、印刷品質に悪影響が出ることがあります。 本書で指定した純正インクパックを使用することをお勧めします。

古くなったインクパックを使用していませんか?

古くなったインクパックを使用すると、印刷品質が悪く なります。新しいインクパックを使用してください。イ ンクは、インクパックに記載の推奨使用期限までに使い 切ってください。

■ アフターヒーターの温度は適切ですか?

印刷がにじんで汚れたり、インクがだまになったりする ときは、アフターヒーターの温度を上げます。ただし、 温度を高くしすぎると、メディアが縮んでしわが寄った り、変質したりします。 なお、室温が低いとヒーターが設定温度まで達するのに 時間がかかることがあります。また、アフターヒーター は温まっていても、メディアが冷えすぎているとアフ ターヒーターの効果が出ないことがあります。メディア を室温になじませてから使用してください。

メディア選択は正しいですか? ソフトウェア RIP の設定または本機のメディア選択が実際に印刷するメディアと合っているか確認してください。

■ [ヘッド移動量]を[データ幅]に設定して印刷していませんか?

設定メニューで「ヘッド移動量」を「データ幅」に設定 すると、速度と引き替えに印刷品質が多少低下すること があります。より高品質な印刷を行うときは、「ヘッド 移動量」を「プリンター全幅」に設定してください。 ∠☞「プリンター設定メニュー」111ページ

ディスプレイの表示と印刷結果を比較していませんか? ディスプレイ表示とプリンターで印刷したときの色とで

ティスプレイ表示とプリンターで印刷したときの色とでは、発色方法が違うため、色合いに差異が生じます。

印刷中にカバーを開けませんでしたか? 印刷中に前面カバーやメンテナンスカバーを開けると、 ブリントヘッドが緊急停止するために色ムラが発生します。印刷中はカバーを開けないでください。

印刷位置がずれる/はみ出す

メディアのセット位置やマージンの設定は 正しいですか? メディアを正しくセットしていないと印刷位置がずれた

り、データの一部が印刷されなかったりします。お使い の製品にあったセット方法を確認してください。 ☞ 「メディアのセット方法(SC-F7200/SC-F7100の場 合)] 27ページ ☞ 「メディアのセット方法(SC-F7000の場合)] 33 ページ また、設定メニューの [サイドマージン] や [印刷開始 位置] の設定が適切かを確認してください。

∠☞「プリンター設定メニュー」111ページ

119

メディアが斜行していませんか? 設定メニューの〔斜行エラー検出〕が〔OFF〕になっているとメディアが斜行していても印刷してしまい、印刷領域からはみ出します。設定メニューで〔斜行エラー検出〕を〔ON〕に設定してください。 プ「プリンター設定メニュー〕111ページ

印刷データはメディア幅に納まっていますか? 印刷イメージがメディア幅より大きい場合、通常は印刷

 ボース シングライア 福をり入さい場合、 造品は印刷 が停止しますが、設定メニューの [メディア幅検出] が [OFF] になっているとメディア外に印刷されることが あります。メディア外に印刷すると、本機の内部がイン クで汚れます。変更した設定は、メディアをセットし直 すと反映されます。 23 「プリンター設定メニュー」 111 ページ

罫線が左右にガタガタになる

プリントヘッドにズレ(ギャップ)が生じていませんか?(双方向印刷時) 双方向印刷では、プリントヘッドが左右どちらに移動するときも印刷します。このとき、プリントヘッドのズレ(ギャップ)により、罫線がずれて印刷されることがあります。双方向印刷をしていて縦の罫線がずれるときは、ギャップ調整をしてください。 プ「印刷のズレ調整(ギャップ調整)」63ページ

印刷面がこすれる/汚れる

- メディアが厚すぎたり、薄すぎたりしませんか?
 本機で使用できる仕様のメディアかどうかを確認してください。ソフトウェア RIP を使用して印刷するときのメディアの種類や適切な設定に関する情報は、RIP の製造元にお問い合わせください。
- メディアが波打っていませんか? メディアによっては使用環境(温度や湿度)により、本機にセットしたままにしていると波打つことがあります。メディアが波打ったときは、操作パネルの【▼】ボタンを押してメディアを送り、波打っている部分を避けて印刷してください。メディアが波打つのを避けるために、温度と湿度を下げてください。
- メディアにしわや折り目がありませんか?
 メディアにしわや折り目があると、プラテンから浮いた状態になりプリントヘッドとこすれて汚れたり色のムラが生じます。

ワイパーやキャップ、プリントヘッドが汚れていませんか?

ワイパーやキャップ、プリントヘッドの周りにインクの 固まりや糸くずなどが付いているとインクが垂れて汚れ ることがあります。各部を清掃してください。 ∠3 「清掃」74 ページ

プリントヘッドが印刷面をこすっていませんか?

メディアの印刷面をこすってしまうときには、設定メ ニューの [プラテンギャップ設定]をメディアに応じて 変更してください。 ∠3 「プラテンギャップ設定」58 ページ



パーに毛羽ゴミが付いていると、印刷中のノズル目詰ま りの原因となります。かつ、毛羽ゴミが付いたままに なっているとヘッドクリーニングを繰り返してもノズル の目詰まりは解消できません。また、写真③のように キャップにインク滴が見られるときもノズルの目詰まり の原因となります。 各部の清掃を行ってください。

インクのボタ落ち



メディアを適切に取り扱っていますか? メディア取り扱い時は以下の点を守らないと、メディア 表面に小さなゴミや毛羽ゴミが付き、印刷結果にインク のボタ落ちが生じる原因となります。

- むき出しのままで直接メディアを床に置かない。
 メディアは、巻き直してから梱包されていた個装袋に 包んで個装箱に入れて保管してください。
- 衣類にメディア表面を付けた状態で持ち運ばない。
 本機にセットする直前まで、個装袋等に入れて取り 扱ってください。

プリントヘッドのノズル面に毛羽ゴミが付着していませんか?
プリントヘッドのノズル面に毛羽ゴミが付着していると毛羽ゴミを伝ってインクのボタ落ちが発生します。プリントヘッド周辺の清掃を実施してください。

∠͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡ː// 『アントヘッド周辺の清掃』74 ページ

水平方向のスジ/色ムラ(バンディン グ)



複数の原因が考えられます。

SC-F7200、SC-F7100 で 1pass/2pass で印刷しているとき は、手順1から対処方法を実施してください。それ以外 のときは、手順2から印刷結果が改善されるまで、以下 の順番で対処方法を実施してください。

対処の作業をする前には、必ずノズルチェックとギャッ プ調整を行ってください。ノズルが詰まった状態やギャッ プ調整されていない状態で、対処の作業を行っても改善 に至りません。

∠☞「ノズルの目詰まりチェック」96 ページ

∠중「印刷のズレ調整(ギャップ調整)」63ページ

1 設定メニューの印刷時のメディア送り速度を遅くする

SC-F7200、SC-F7100 で 1pass/2pass で印刷したメ ディアを巻き取ると、バンディングが発生すること があります。選択しているメディア管理メニューの 設定値によって対処方法が異なります。選択した設 定値にあった対処方法を実施してください。

- RIP 設定を選択している場合
 ソフトウェア RIP のメディア送り速度を遅くしてください。
- •1~30(メディア設定番号)を選択している場合 印刷時のメディア送り速度を [Lv1] に設定して ください。

2 メディア押さえ板の取り付け方を確認

メディア押え板を正しく取り付けていないと、メ ディア送りが乱れる原因となります。以下をご覧に なり、メディア押さえ板を取り付け直してくださ い。

∠중「メディアのセットと交換」27ページ

メディア押さえ板を正しく取り付けても改善されな いときは、次の対処を実施してください。

3 メディア送り補正

メディア送り補正は、セットしているメディアに応 じて個別に行う必要があります。同じメディアでも ロール幅が異なれば、個別に行う必要があります。 より精密な補正を行うため、[手動] - [500mm パ ターン印刷]で調整パターンを印刷してください。 _37 「メディア送り補正」64 ページ

印刷物左端の白スジ



上図のように印刷物の左端に白スジが発生したら、メディ アセット時に以下を参照してメディア左端のプラテン部 の穴を塞いでください。穴はメディア押さえ板をセット する前に、市販のテープで2ヵ所または1ヵ所塞いでく ださい。テープは浮かないようにしてください。テープ が浮いているとメディアやメディア押さえ板が引っかか ることがあります。



ヘッドこすれによる汚れが付く



印刷中にプリントヘッドとメディアがこすれてい ます。

印刷結果が改善されるまで、以下の順番で対処方法を実施してください。

1 メディアのしわや波打ちのある部分はカットする

メディアは、保管状態が不適切だったり、本機に セットしたまま放置したりすると、しわや波打ちが 発生します。このような状態のメディアを使用する と、プリントヘッドとメディアの盛り上がった面が こすれて汚れが付きます。しわや波打ちの部分を カットしてお使いください。

また、メディアに付属のマニュアルに従って適切に 保管し、本機には印刷する直前にセットしてくださ い。

しわや波打ちのない部分に印刷しても改善されない ときは、次の対処を実施してください。

2 メディアを本機に正しくセットし、メディア設定 を適切に設定する

メディアのセット方法やヒーター温度設定、テン ション、吸着力などの設定が適切でないと、メディ アにしわや波打ちが生じます。セット方法が正しく できているか確認してください。各種設定はメディ アにより異なるため、設定値を変更してみてください。

∠ ア「メディアのセットと交換」27ページ

上記対処を行っても改善されないときは、次の対処 を実施してください。

3 自動巻取りユニットにメディアが正しくセットされているか確認する

巻き取り紙管へのメディアの貼り付け方が不適切だ と、巻き取り時にメディアが蛇行し、しわや浮きが 発生することがあります。 自動巻取りユニットへのメディアのセットが正しく できているかを確認してください。

△ 「自動巻取りユニットの使い方」42ページ

4 アフターヒーターの温度を正しく設定する。 アフターヒーターは、メディアに適した温度設定に

アフターヒーターは、メティアに適した温度設定にしてください。



2 本機の電源を切ります。

画面にメッセージが表示され、電源が切れないとき は電源プラグをコンセントから抜いてください。



メディア押さえ板を退避させます。

!重要

メディア押さえ板が変形したときは、本機の使用を停止してください。メディア押さえ板が変形したまま使い続けると、加圧ローラーやプリントヘッドが損傷する原因となります。 お買い求めの販売店またはエプソンサービスコールセンターにお問い合わせください。 プ「お問い合わせ先」164ページ

スライド式のメディア押さえ板

メディア押さえ板のツマミを両側から押さえながら プラテンの左右両端へ移動します。



はめ込み式のメディア押さえ板

メディア押さえ板をメディアの両端から取り外しま す。





!重要

プリントヘッドは、必ずメディア押さえ板を取り外し てから移動してください。変形したメディア押さえ板 にプリントヘッドが触れると、プリントヘッドが損傷 することがあります。





6 メディアをカッター溝まで引き出し、破れたりし わになっている部分をカッターでカットします。





- 8 メディアの一部がプリンター内に残っているとき は、取り除きます。
- 9 本機の電源を入れ、ノズルチェックを実施しま す。

印刷されたチェックパターンを確認し、目詰まりし てしているときはヘッドクリーニングを行ってくだ さい。

∠☞「ノズルの目詰まりチェック」96ページ

!重要

電源を切った状態で放置すると、プリントヘッドが キャッピングされていないために乾燥して目詰まりを 起こし、印刷再開時に正しく印刷できません。 電源を入れると、自動的にキャッピングが行われます。

メディアをセットし直して印刷を再開してください。 ∠☞「メディアのセット方法(SC-F7200/SC-F7100 の場 合)」27 ページ ∠☞「メディアのセット方法(SC-F7000 の場合)」33 ペー ジ

メディアがまっすぐ搬送されない/う まく巻き取れない(**SC-F7200/ SC-F7100**)

メディア搬送ユニットと自動巻き取りユニットの平行調整を行っていますか?
メディア送り不良や巻き取り不良が発生した場合や本機を移動した後は、メディア搬送ユニットと自動巻き取りユニットの平行調整を行ってください。
ア行調整」135ページ

外巻きで巻き取っていませんか?内巻きでメディアの巻き取りを行ってください。

幅の狭いメディアを巻き取っていませんか? メディア幅が 36 インチ以上のメディアの使用をお勧めします。

厚手のメディアを巻き取っていますか?
 厚手のメディアに印刷して巻き取るときは、ソフトウェア RIP の印刷設定を 3pass 以上に設定することをお勧めします。

その他

チャージ状態の表示とインク補充時 期がズレる(SC-F7200)

 使用環境および使用状態によりズレることがあります。
 [ブリンター設定]メニューの[チャージ設定]を実施することで、ズレを解消できることがあります。詳細は以下をご覧ください。
 「プリンター設定メニュー」111ページ
 [チャージ設定]を実施しても解消されないときは、 チップユニットを予約しないで使い続けてズレを解消してください。

自動的にアフターヒーターがオフに なる

本機にエラーが発生していない状態で、印刷ジョブの受信が何も行われない状態が続いたときは、アフターヒーターがオフになります。アフターヒーターをオフに移行するまでの時間は、設定メニューの[ヒーターオフタイマー]で変更できます。
 「ブリンター設定メニュー」111ページ
 印刷ジョブを受け付けたり、メディアセットレバーを操作するなど、ハードウェア動作を伴う操作をするとアフターヒーターは復帰します。

操作パネルの画面表示が消える

スリープモードになっていませんか?

SC-F7200/SC-F7100 の場合

[ヒーターオフタイマー] により、アフターヒーターが OFF になると連動してスリープモードになります。アフ ターヒーターがオフに移行する時間はプリンター設定メ ニューで変更できます。

印刷ジョブを受け付けたり、メディアセットレバーを操 作するなど、ハードウェア動作を伴う操作をするとアフ ターヒーターが復帰し、連動してスリープモードも解除 されます。

SC-F7000 の場合

操作パネルの【 ⁽) ボタンを押すと通常の状態に復帰 します。スリープモードに移行する時間はプリンター設 定メニューで変更できます。 ∠3 「プリンター設定メニュー」111 ページ

本体内部が赤く光っている

 この状態は故障ではありません。 プリンター内部のランプです。

管理者パスワードを忘れた

パスワードを設定し直してください。
 操作パネルのネットワーク設定メニューで、「ネットワーク設定初期化」を実行して、新しいパスワードを設定してください。
 「ネットワーク設定メニュー」114ページ

お問い合わせいただく前に

トラブルが発生したときは、以下をご確認いただくと解 消できることがあります。

エプソンのホームページ(http://www.epson.jp)では、 お問い合わせの多い内容を Q&A 形式でご紹介しています。 トラブルや疑問の解消にお役立てください。



エプソンのホームページ(http://www.epson.jp)では最 新のファームウェアのバージョンアップ情報を提供して います。

ファームウェアのアップデートは LFP リモートパネル 2 で簡単に行えます。詳細は LFP リモートパネル 2 のヘル プをご覧ください。

トラブルが解消されないときは

「困ったときは」の内容やエプソンのホームページで確認をしても、トラブルが解消されないときは、本機の動作確認をした上でトラブルの原因を判断してそれぞれのお問い合わせ先に連絡ください。

_중「サービス・サポートのご案内」162ページ

付録

消耗品とオプション

本機で使用できる消耗品、オプションは以下の通りです。(2016 年 11 月現在) 最新の情報は、エプソンのホームページ(http://www.epson.jp)をご覧ください。

!重要

指定外のインクパックのインクを補充すると、故障の原因となります。指定外のエプソン純正品インクパックを使用して生じた本体 の損傷、故障については、保証期間内であっても責任を負いかねますのでご了承ください。

商品名	I	型番	備考
インクパック	高濃度ブラック	SC5HDK100P	プリンター性能をフルに発揮するためにエプソン純
	ブラック	SC5BK100P	上品の指定されにインジハッジを使用することをあ 勧めします。純正品以外のものをご使用になります
	シアン	SC5C100P	こ、フリンター本体14印刷10月に表記書が1000と、 プリンター本来の性能を発揮できない場合がありま す。地工日以後の日照め后該地についての記できま
	マゼンタ	SC5M100P	9。純正面以外の面負や信頼住について味証できよ せん。非純正品の使用に起因して生じた本体の損傷、 地障については、保証期間内であってたた一般であっ
	110-	SC5Y100P	故障については、保証期間内でのつても有債修理となります。 △ア「インクの補充」83ページ
メンテナンスキット		SC5MKIT2	メンテナンス作業で必要となる、クリーニング棒と 手袋、ワイパー、ワイパークリーナー、インククリー ナー、クリーニングワイパー、カップのセットです。 _☞「清掃」74 ページ
キャップクリーニングキット		SC5CCK	キャップの清掃で必要となる、クリーニング棒と手 袋、スポイト、キャップクリーニング液、カップの セットです。 _͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡
廃インクボトル		SC2WIB	製品付属の廃インクボトルと同等品です。

使用可能なメディア

本機で使用できるメディアの仕様は、以下の通りです。 メディアの種類および品質は、印刷結果に大きく影響し ます。用途に合った適切なメディアをお使いください。 また、使用の際の注意事項はそのメディアに付属のマニュ アルをご覧になるか、メーカーに詳細をお問い合わせく ださい。メディアを大量に購入する際は、事前にそのメ ディアに印刷したときの仕上がり具合を確認してください。

標準メディアユニット装着時

紙管サイズ(芯径)	2インチ、3インチ
ロール外径	最大 250mm
メディア幅	300~1626mm(64 インチ)
メディア厚さ	最小 0.08mm ~ 最大 1mm
ロール重量	最大 40kg

使用できないメディア

下図のような折れ、しわ、毛羽立ち、破れ、汚れなどの あるメディアは使用しないでください。印刷時にメディ アの盛り上がりなどがプリントヘッドに接触して、プリ ントヘッドが破損することがあります。





移動と輸送

ここでは、本機を移動または輸送する方法について説明 します。

移動の方法

ここでは、段差のない同一フロア内を移動する方法を説 明します。段差のあるフロアー、別の階や建物に移動す る方法は、以下をご覧ください。 _중 「輸送の方法」 130 ページ

<u>//</u>注意

本製品を移動する際は、前後左右に 10 度以上傾けないでくだ さい。転倒などによる事故のおそれがあります。

移動の準備

間口や通路が狭いときは、メディアガイドバーを取り外 してください。 ∠☞「メディアガイドバーの取り外し」130ページ



本機の電源が切れていることを確認します。



廃インクボトルを取り外します。

△ 3 「廃インクボトルの交換」 88 ページ

電源コードなど、全ての配線を取り外します。

メディア搬送ユニットと自動巻取りユニットから メディアを取り外します。

5 スタンドのロックを解除します。

> 左右の脚部のキャスターのロックを外し、固定具を しっかり上げてください。固定具は、SC-F7200の左 右脚部に2つずつ、SC-F7100、SC-F7000の左右脚 部に1つずつ付いています。





!重要

専用スタンドのキャスターは、室内の平らな床を短い 距離だけ移動するために使用します。輸送のためには、 使用できません。

移動後の本機の設定

移動後は、次の手順に従い使用可能な状態にします。

設置に適した場所か確認します。 ∠☞『セットアップガイド』(冊子)

メディアガイドバーを取り外した場合は、メディ 2 アガイドバーを取り付けます。

∠ ア「メディアガイドバーの取り付け」132ページ

メディア搬送ユニットと自動巻取りユニットの平 行調整を行います。

△ ア「平行調整」 135 ページ

電源プラグをコンセントに差し込み、電源を入れ ます。

∠☞『セットアップガイド』(冊子)



_☞「ノズルの目詰まりチェック」96ページ

6 ギャップ調整を実行して、印刷品質を確認しま す。

∠중「ギャップ調整」58ページ

輸送の方法

本機を輸送するときは、お買い求めの販売店またはエプ ソンインフォメーションセンターにご相談ください。 エプソンサービスコールセンターの連絡先 ∠ℱ「お問い合 わせ先」164 ページ



メディアガイドバーの取り外し

以下の作業で使用する部品



2

本機の電源が切れていることを確認します。

メディアガイドバーを取り外します。

付属の六角レンチ(小)でメディアガイドバーを固 定している4本のネジを完全に緩めて、メディアガ イドバーを取り外します。

!重要

取り外しは2人で行ってください。メディアガイドバー 固定ネジを取り外すとメディアガイドバーが落下しま すので、1人がメディアガイドバーを持って、ネジを取 り外してください。 メディアガイドバーが落下すると、変形するおそれが あります。







付録

3 六角レンチ (大) で 2-3 回転させ、ネジ 2 本を 緩めます。





右側の板金を取り外します。 5

SC-F7200 の場合

① 六角レンチ(小)でネジ2本を取り外します。



② 板金を持ちながら六角レンチ(大)で3本のネ ジを取り外します。



SC-F7100 の場合 ① 六角レンチ(大)でネジ1本を取り外します。



② 六角レンチ(大)でネジ2本を取り外します。



③ 六角レンチ(大)で2-3回転させ、ネジ2本を 緩めます。



④ 板金を左側にスライドさせて、手前に引き抜き ます。



メディアガイドバーの取り付け

以下の作業で使用する部品





右側の板金を取り付けます。

SC-F7200 の場合

① 板金を持ちながら六角レンチ(大)でネジ3本 を締めてしっかり固定します。



② 六角レンチ(小)で2本のネジを締めてしっか

SC-F7100 の場合

り固定します。

 仮止めしていたネジ2本と板金の穴を合わせて 差し込み、板金を右側にスライドします。



 ② 仮止めしていた 2 本のネジを六角レンチ(大) で締めてしっかり固定します。



六角レンチ(大)で2本のネジを締めてしっかり固定します。



④ 六角レンチ(大)でネジを締めてしっかり固定 します。





左側の板金を取り付けます。



3 仮止めにしていた 2本のネジを六角レンチ(大) で締めてしっかり固定します。



4 六角レンチ(小)で4本のネジを締めてメディア ガイドバーを固定します。

!重要

取り付けは 2 人で行ってください。メディアガイドバー が落下すると変形するおそれがありますので、1 人がメ ディアガイドバーを持って、ネジを固定してください。





⁵ 平行調整を行います。

メディアガイドバーの取り付けが終了したら、次項 をご覧になり、平行調整に進みます。 付録

平行調整

以下の場合は、メディア搬送ユニットと自動巻取りユニットの平行調整を行います。

- •メディア送り不良が発生したとき
- •巻き取り不良が発生したとき
- •本機を移動した後

平行調整は、本機の前面と背面で確認・調整を同時に行うので、2人で作業してください。

平行調整は、付属の紙管と調整ツールで行います。調整 ツールは、2種類付属している場合があります。AとB両 方が付属しているときは、Aを使ってください。



A を使った平行調整は、次項からご覧ください。 B を使った平行調整は、以下をご覧ください。 ∠☞「調整ツール B の場合」146 ページ

調整ツール A の場合

以下の調整で使用する部品

SC-F7200、SC-F7100 には六角レンチが2種類付属してい ます。メディア搬送ユニットの平行調整は六角レンチ (大)を使用します。



メディア搬送ユニット

- 本機の電源が切れていることを確認します。
- **2**前面カバーを開け、メディアセットレバーを上げ ます。



3 本機背面で、図の固定金具のネジを六角レンチ (大)を使って4本とも緩めます。



4

フィルム b の L 側と R 側を本機の背面から前面 に通します。



5 図のように、フィルム b の穴①を挿入ガイド左右端にあるネジに合わせて貼り付けます。

フィルム b を初めて使うときは、裏面の保護フィル ムを剥がしてください。



6 図のように、本機前面でフィルム b の穴②・④を アフターヒーター左右端にあるネジに合わせて貼 り付けます。

フィルム b を初めて使うときは、裏面の保護フィルムを剥がしてください。

穴②は、アフターヒーター上部のネジに合わせま す。

穴④は、アフターヒーター先端のネジに合わせま す。



7 本機背面のロールホルダー固定ネジを左右両側と も緩めます。続いて、左側のロールホルダーを破 線の位置に合わせ、ロールホルダー固定ネジを締 めます。





右側のロールホルダーを紙管の幅よりも外側に移 動します。









11 以下の図の A の部分が完全に入り込むまでハンド

ルを回します。



12 フィルム a を本機背面から前面に通します。





13 本機の前後で確認しながら、フィルム a を L 側の フィルム b にぴったりと沿わせます。



14 フィルム a にカウンターウェイトを取り付けま す。フィルム a の振れが収まったら、プラテン上 の白線の手前側の目盛りの数値を記録します。



15 本機の前後でフィルム a を持ち上げて、R 側の フィルム b にぴったりと沿うように移動します。 フィルム a の振れが収まったら、プラテン上の白 線の手前側が通る目盛りを確認します。

L 側と値が異なるときは、手順[16]に進んでください。同じときは、手順[17]に進んでください。



16 本機前面でフィルム a の目盛りを確認しながら、 本機背面で調整を行います。

調整ネジを反時計回りに回すと目盛りが奥に、時計回りに回すと目盛りが手前に動きます。ネジ1回転で、約1mm動かすことができます。目盛りの値がL側と一致したら調整は終了です。



17 4本のネジを六角レンチ(大)でしっかり固定します。





18 本機前面でフィルム a に付けたカウンターウェイ

トを取り外します。

続いて、自動巻き取りユニットの平行調整に進みます。

自動巻取りユニット

1 六角レンチ(大)を使い、本機の前面の図の固定 金具のネジを4本とも緩めます。



2 紙管ホルダー固定ネジを左右両側とも緩め、左側の紙管ホルダーを外側に移動します。続いて、右側の紙管ホルダーを破線の位置に合わせ、紙管ホルダー固定ネジを締めます。





7

6 本機の前後で確認しながら、フィルム a を L 側の フィルム **b** にぴったり沿わせます。 本機背面でフィルム a にカウンターウェイトを取



フィルム a の振れが収まったら、プラテン上の白 線の手前側の目盛りの数値を記録します。



8 本機の前後でフィルム a を持ち上げて、R 側の フィルム b にぴったりと沿うように移動します。 フィルム a の振れが収まったら、プラテン上の白 線の手前側が通る目盛りを確認します。

L側と値が異なるときは、手順[9]に進んでくださ い。同じときは、手順[10]に進んでください。





14 本機の前後でフィルム a を持ち上げて、L 側の フィルム b にぴったりと沿うように移動します。 本機背面でフィルム a にカウンターウェイトを取 り付けます。



15

フィルム a の振れが収まったら、プラテン上の白 線の手前側の目盛りの数値を記録します。



16 本機の前後でフィルム a を持ち上げて、R 側の フィルム b にぴったりと沿うように移動します。 フィルム a の振れが収まったら、プラテン上の白 線の手前側が通る目盛りを確認します。

L側と値が異なるときは、手順[17]に進んでくだ さい。同じときは、手順[20]に進んでください。


18 本機前面でフィルム a の目盛りを確認しながら、 本機背面でフィルム a に付けたカウンターウェイ 20 六角レンチ(大)を使い、メディアガイドバーを トを取り外します。 手で押さえながら調整を行います。 調整ネジを反時計回りに回すと目盛りが奥に、時計 回りに回すと目盛りが手前に動きます。ネジ1回転 で、約1mm動かすことができます。目盛りの値が L側と一致したら調整は終了です。 2190 6 5 21 本機からフィルム a を引き抜きます。続いて、右 Д 側の紙管ホルダー固定ネジを緩め、紙管ホルダー を引き抜きます。 (1)(DHO) (3) 19 六角レンチ(小)で2本のネジを締めます。 22 紙管を取り外します。 Ø 6

145

ПП

0

(2)







参考

取り外したフィルム a・b は、カウンターウェイトと一緒に 折り目が付かないように保管してください。再び使用すると きは、ホコリなどを除去し、きれいに伸ばしてお使いくださ い。

調整ツール B の場合

以下の手順は、SC-F7000 のイラストを用いて説明してい ますが、SC-F7200、SC-F7100 をお使いのときも同様の手 順となります。

以下の調整で使用する部品

SC-F7200、SC-F7100 には六角レンチが2本付属されてい ます。メディア搬送ユニットの平行調整は六角レンチ (大)を使用します。



- メディア搬送ユニット
 - 1 本機の電源が切れていることを確認します。
- **2** 前面カバーを開け、メディアセットレバーを上げ ます。



3 六角レンチを使い、本機の背面の図の固定金具の ネジを4本とも緩めます。





付録

!重要

Aの部分が隠れたら、それ以上はハンドルを回さないで ください。押し込みすぎるとロールホルダーが破損す るおそれがあります。

9 調整用紙を紙管の右端から 5cm の位置に寄せて、 本機に挿入します。



- 10 本機の前面で、調整用紙をピンと張った状態でプ ラテン上の白線の手前側に定規を当ててペンなど で線を引きます。





11 調整用紙を育面からうでなて、小小し 5cm の位置に寄せて、本機に挿入します。 調整用紙を背面から引き抜き、紙管の左端から



12 本機の前面で、調整用紙をピンと張った状態でプ ラテン上の白線と手順 10 で書き込んだ線の位置 を確認します。

書き込んだ線が下図のように白線とずれているとき は、手順 13 に進んでください。ずれていないとき は、手順 14 に進んでください。



13 本機前面で2本の線の状態を確認しながら、本機 背面で六画レンチを使い、書き込んだ線が破線の 位置と合うように調整します。

> 書き込んだ線が白線よりも手前にある場合は、調整 ネジを反時計回りに回し、奥にある場合は、調整ネ ジを時計回りに回します。ネジ1回転で、約1mm 動かすことができます。

> 書き込んだ線が破線の位置に来たら調整は終了で す。

SC-F7200/SC-F7100の場合



SC-F7000 の場合





14 4本のネジを六角レンチで締めてしっかり固定し ます。



15 調整用紙を本機から引き抜き、右側のロールホル ダー固定ネジを緩めて、ロールホルダーを引き抜 きます。





次項をご覧になり、自動巻取りユニットの平行調整に進 みます。

自動巻取りユニット

お使いの製品によって自動巻取りユニットの平行調整方 法が異なります。お使いの製品にあった調整方法をご覧 ください。

∠☞「SC-F7000 使用時」156 ページ

SC-F7200/SC-F7100 使用時

六角レンチ(大)を使い、本機の前面の図の固定 金具のネジを4本とも緩めます。



紙管ホルダー固定ネジを左右両側とも緩め、紙管 2 ホルダーを紙管の幅よりも外側に移動します。





3

右側の紙管ホルダーを破線の位置に合わせ、紙管 ホルダー固定ネジを締めます。



4 紙管を右側の紙管ホルダーに差し込みます。左側 の紙管ホルダーを押し込み、紙管ホルダー固定ネ ジを締めます。



5 以下の図の A の部分が完全に入り込むまでハンド ルを回します。



6 調整用紙を紙管の左端から 5cm の位置に寄せて、 本機に挿入します。ピンと張った状態でプラテン 上の白線の手前側に定規を当ててペンなどで線を 引きます。

調整用紙の先端をアフターヒーターとメディアガイ ドバーの間に通し、本機に挿入します。



7 調整用紙を引き抜き、紙管の右端から 5cm の位置に寄せて、本機に挿入します。

調整用紙の先端をアフターヒーターとメディアガイ ドバーの間に通し、本機に挿入します。



8 調整用紙をピンと張った状態でプラテン上の白線 と手順6で書き込んだ線の位置を確認します。

書き込んだ線が下図のように白線とずれているとき は、手順9に進んでください。ずれていないとき は、手順10に進んでください。



9 本機前面で2本の線の状態を確認しながら、六角 レンチ(大)を使い、書き込んだ線が破線の位置 と合うように調整します。

書き込んだ線が白線よりも手前の場合は、調整ネジ を時計回りに回します。書き込んだ線が奥にある場 合は、調整ネジを反時計回りに回します。ネジ1回 転で、約1mm動かすことができます。





11 本機から調整用紙を引き抜きます。 ШП 1 Paul

12 調整用紙を紙管の左側から 5cm の位置に寄せま す。調整用紙の先端をメディアガイドバーの手前 側に通して、本機に挿入します。



調整用紙をピンと張った状態でプラテン上の白線 の手前側に定規を当ててペンなどで線を引きま 13 す。





14 調整用紙を引き抜きます。調整用紙を紙管の右端 から 5cm の位置に寄せます。調整用紙の先端を メディアガイドバーの手前側に通して、本機に挿 入します。





15 調整用紙をピンと張った状態でプラテン上の白線と手順13でまたひと張った状態でプラテン上の白線 と手順13で書き込んだ線の位置を確認します。

書き込んだ線が右図のように白線とずれているとき は、手順16に進んでください。ずれていないとき は、手順19に進んでください。







17 2本の線の状態を確認しながら、六角レンチ (大)を使い、書き込んだ線が破線の位置と合う ように調整します。

メディアガイドバーを手で押さえながら調整ネジを 回して調整します。書き込んだ線が白線よりも手前 の場合は、調整ネジを反時計回りに回します。書き 込んだ線が奥にある場合は、調整ネジを時計回りに 回します。ネジ1回転で、約1mm動かすことがで きます。







18 六角レンチ(小)で2本のネジを締めます。



19 調整用紙を本機から引き抜き、左側の紙管ホル ダー固定ネジを緩めて、紙管ホルダーを取り外し





紙管を取り外します。



SC-F7000 使用時

- テンショナーを脚側に立てて作業してください。
- 六角レンチで4本のネジを緩めます。 2



3	紙管ホルダー固定ネジを左右両側とも緩め、紙管 ホルダーを紙管の幅よりも外側に移動します。

右側の紙管ホルダーを破線の位置に合わせ、紙管 ホルダー固定ネジを締めます。

4



5 紙管を右側の紙管ホルダーに差し込みます。左側 の紙管ホルダーを押し込み、紙管ホルダー固定ネ ジを締めます。



!重要

以下の図のAの部分が隠れるまで左側の紙管ホルダー を紙管に押し込み、ロールホルダー固定ネジを締めま す。



6

調整用紙を紙管の左端から 5cm の位置に寄せて、 本機に挿入します。ピンと張った状態でプラテン 上の白線の手前側に定規を当ててペンなどで線を 引きます。



7 調整用紙を引き抜き、紙管の右端から 5cm の位 置に寄せて、本機に挿入します。



8 調整用紙をピンと張った状態でプラテン上の白線 と手順6で書き込んだ線の位置を確認します。

書き込んだ線が下図のように白線とずれているとき は、手順9に進んでください。ずれていないとき は、手順10に進んでください。



9 本機前面で2本の線の状態を確認しながら、六角 レンチを使い、書き込んだ線が破線の位置と合う ように調整します。

書き込んだ線が白線よりも手前の場合は、調整ネジ を時計回りに回します。書き込んだ線が奥にある場 合は、調整ネジを反時計回りに回します。ネジ1回 転で、約1mm動かすことができます。



10 六角レンチで 4 本のネジを締めてしっかり固定し ます。





11 本機から調整用紙を引き抜き、左側の紙管ホル ダー固定ネジを緩めて、紙管ホルダーを取り外し ます。





12 ^{紙管を取り外します。}



システム条件

ご使用のソフトウェア RIP のマニュアルでご確認くださ い。

仕様一覧

本体仕様			
印字方式	オンデマンドインクジェット方式		
ノズル配列	360 ノズル×2 列×4 色(ブラッ ク ^{*1} 、シアン、マゼンタ、イエ ロー)		
解像度(最大)	720×1440dpi		
コントロールコード	ESC/P ラスター(コマンドは非公 開)		
メディア送り方式	フリクションフィード		
内蔵メモリー	メイン用 512MB ネットワーク用 128MB		
インターフェイス	High Speed USB 100Base-TX/1000Base-T ^{*2}		
定格電圧	SC-F7200/SC-F7100 (#1、#2): AC100-120V AC200-240V		
	SC-F7000: AC100-240V		
定格周波数	SC-F7200/SC-F7100 (#1、#2): 50-60Hz		
	SC-F7000: 50-60Hz		
定格電流	SC-F7200/SC-F7100 (#1、#2): 10A (AC100-120V) 5A (AC200-240V)		
	SC-F7000: 1.0-0.5A (AC100-240V)		
消費電力	SC-F7200/SC-F7100(#1、#2 の 合計) 動作時:約 460W レディー時:約 330W スリープモード時:約 10W 電源オフ時:0.6W 以下		
	SC-F7000 動作時:約 65W レディー時:約 20W スリープモード時:約 9W 電源オフ時:0.5W 以下		

本体仕様					
温度	・湿度(綺	諸露しないこ	こと)		
E	印刷時 メディアセット・ メンテナンスなど 保管時 (開梱前)		15~25°C、40~60%		
>			15∼35℃、20~80%		
伢			-20~60℃、5~85% (60℃の場合 120 時間以内、 40℃の場合1ヵ月以内)		
伢	R管時 (インク充	填前)	-20~40℃、5~85% (40℃の場合1ヵ月以内)		
温度・湿度範囲 グレー部:メディアセット、メンテナンス時など 斜線部:印刷時 (%) 90 -					
80 - 70 - 60 -	80 70 – 60				
50 - 40 - 30 -	_				
20 -					
	1	5 20	25 30 32 35 40 (°C)		
外形サイズ			SC-F7200 収納時(最小):幅 2620×奥行き 1013×高さ 1314mm 最大時:幅 2620×奥行き 1198×高 さ 1653mm		
			SC-F7100 収納時(最小):幅 2620×奥行き 1013×高さ 1311mm 最大時:幅 2620×奥行き 1198×高 さ 1650mm		
			SC-F7000 収納時(最小):幅 2620×奥行き 915×高さ 1311mm 最大時:幅 2620×奥行き 1259×高 さ 1650mm		

本体仕様		
質量*3	SC-F7200∶約 274kg	
	SC-F7100 洋 269kg	
	SC-F7000∶約 225kg	

*1 高濃度ブラックまたはブラック

*2 シールドツイストペアケーブル(カテゴリー 5 以上)を使用 してください。

*3標準メディアユニット装着時、インク含まず。

インク仕様			
形態	専用インクパック		
昇華染料インク	高濃度ブラック、ブラック、シアン、 マゼンタ、イエロー		
有効期限	インクパックに記載された期限(常温 で保管)		
印刷品質保証期限	25日(インクパックからインクタン クに補充した日から)		
保管温度	5∼35 ℃		
容量	1000ml		

参考

安定した色合いで印刷したいときは、15~25℃の環境下で 一定の室温に保ち、使用してください。

サービス・サポートのご案内

各種サービス・サポートについて

弊社が行っている各種サービス・サポートについては、以下のページでご案内しています。 ∠중 「お問い合わせ先」 164 ページ

保守サービスのご案内

「故障かな?」と思ったときは、まず「困ったときは」をよくお読みください。そして、接続や設定に間違いがないこと をご確認の上、保守サービスの受付窓口にお問い合わせください。 △⑦ 「困ったときは」 116 ページ

付録

保証書について

保証期間中に故障した場合には、保証書の記載内容に基づき修理いたします。保証期間や保証事項については、保証書を ご覧ください。

保証書は、製品の「保証期間」を証明するものです。「お買い上げ年月日」「販売店名」に記入漏れがないかご確認くださ い。これらの記載がない場合は、保証期間内であっても、保証期間内と認められないことがあります。記載漏れがあった 場合は、お買い求めいただいた販売店までお申し出ください。 保証書は大切に保管してください。

補修用性能部品および消耗品の保有期間

本製品の補修用性能部品および消耗品の保有期間は、製品の製造終了後6年間です。 改良などにより、予告なく外観や仕様などを変更することがあります。

保守サービスの受付窓口

エプソン製品を快適にご使用いただくために、年間保守契約をお勧めします。保守サービスに関してのご相談、お申し込 みは、次のいずれかで承ります。

- •お買い求めいただいた販売店
- •エプソンサービスコールセンター ∠☞「お問い合わせ先」164 ページ

保守サービスの種類

エプソン製品を万全の状態でお使いいただくために、下記の保守サービスをご用意しております。詳細は、お買い求めの 販売店またはエプソンサービスコールセンターまでお問い合わせください。

- 定期交換部品の寿命による交換は、保証内外を問わず、出張基本料・技術料・部品代が有償となります。
- 年間保守契約をされている場合は、定期交換部品代のみ有償(お客様交換可能な定期交換部品の場合は、出張基本料・ 技術料も有償)です。
- •本機は、専門業者による輸送対象製品のため、持込保守および持込修理はご遠慮ください。

種類		概要	修理代金と支払方法	
			保証期間内	保証期間外
年間保守契約	出張修理	 ・優先的にサービスエンジニアを派遣し、その場で修理いたします。 ・修理の都度発生する修理代・部品代*が無償のため、予算化ができて便利です。 ・定期点検(別途料金)で、故障を未然に防ぐことができます。 	無償	年間一定の保守料金
スポット出張修理		お客様からご連絡いただいて数日以内にサー ビスエンジニアを派遣し、その場で修理いた します。	無償	有償 (出張料+技術料 +部品代) 修理完了後その都度 お支払いください。

* 消耗品(インクカートリッジ、トナー、用紙など)は、保守対象外です。

!重要

- エプソン純正品以外、あるいはエプソン品質認定品以外のオプションまたは消耗品を装着し、それが原因でトラブルが発生した場合は、保証期間内であっても責任を負いかねますのでご了承ください。ただし、有償にて修理は承ります。
- 本製品の故障や修理の内容によっては、製品本体に保存されているデータや設定情報が消失または破損することがあります。また、お使いの環境によっては、ネットワーク接続などの設定をお客様に設定し直していただくことになります。これに関して弊社は保証期間内であっても責任を負いかねますのでご了承ください。データや設定情報は、必要に応じてバックアップするかメモを取るなどして保存することをお勧めします。

エプソンサービスパック

エプソンサービスパックは、ハードウェア保守パックです。

エプソンサービスパック対象製品と同時にご購入の上、登録していただきますと、対象製品購入時から所定の期間、出張 修理いたします。また、修理のご依頼や故障かどうかわからない場合のご相談等の受付窓口として、専用のヘルプデスク をご用意いたします。

- スピーディな対応:スポット出張修理依頼に比べて優先的にサービスエンジニアを派遣いたします。
- もしものときの安心:トラブルが発生した場合は何回でもサービスエンジニアを派遣して修理いたします。
- ●手続きが簡単:エプソンサービスパック登録書を FAX するだけで、契約手続きなどの面倒な事務処理は一切不要です。
- ・維持費の予算化:エプソンサービスパック規約内・期間内であれば都度修理費用がかからず、維持費の予算化が可能です。
- エプソンサービスパックは、エプソン製品ご購入販売店にてお買い求めください。

お問い合わせ先

- ●エプソンのホームページ http://www.epson.jp 各種製品情報ドライバー類の提供、サポート案内等のさまざまな情報を満載したエブソンのホームページです。
- ●修理に関するお問い合わせ・出張修理・保守契約のお申し込み先(エプソンソリューションコールセンター)

050-3155-8690

◎上記電話番号をご利用できない場合は、042-585-8431へお問い合わせください。

●製品の新規ご購入に関するご質問・ご相談先

製品の購入をお考えになっている方の専用窓口です。製品の機能や仕様など、お気軽にお電話ください。

050-3155-8380

◎上記電話番号をご利用できない場合は、042-585-8413へお問い合わせください。

上記050で始まる電話番号はKDDI株式会社の電話サービスを利用しています。 上記電話番号をご利用いただけない場合は、携帯電話またはNTTの固定電話(一般回線)からおかけいただくか、各◎印の電話番号に おかけくださいますようお願いいたします。

●ショールーム *詳細はホームページでもご確認いただざけます。http://www.epson.jp/showroom/
 エプソンスクエア新宿 〒160-8801 東京都新宿区新宿四丁目1番6号 JR新宿ミライナタワー 29階
 【開館時間】月曜日~金曜日 10:00~17:00(祝日、弊社指定休日を除く)

MyEPSON

エプノン製品をご愛用の方も、お持ちでない方も、エプソンに興味をお持ちの方への会員制情報提供サービスです。お客様にピッタリの おすすめ最新情報をお届けしたり、プリンターをもっと楽しくお使いいただくお手伝いをします。製品購入後のユーザー登録もカンタンです。 さあ、今すぐアクセスして会員登録しよう。

インターネットでアクセス! http://myepson.jp/ カンタンな質問に答えて 会員登録。			
	インターネットでアクセス!	http://myepson.jp/	カンタンな質問に答えて 会員登録。

●消耗品のご購入

製品取扱販売店でお買い求めください。

本ページに記載の情報は予告無く変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。 最新の情報はエプソンのホームページ(http://www.epson.jp/support)にてご確認ください。

エプソン販売株式会社 〒160-8801 東京都新宿区新宿四丁目1番6号 JR新宿ミライナタワー 29階

セイコーエプソン株式会社 〒392-8502 長野県諏訪市大和三丁目3番5号

商業(捺染) 2016.03

製品に関する諸注意と適合 規格

本製品を日本国外へ持ち出す場合の注意

本製品(ソフトウェアを含む)は日本国内仕様のため、 本製品の修理・保守サービスおよび技術サポートなどの 対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承くだ さい。また、日本国外ではその国の法律または規制によ り、本製品を使用できないことがあります。このような 国では、本製品を運用した結果罰せられることがありま すが、当社といたしましては一切責任を負いかねますの でご了承ください。

本製品の不具合に起因する付随的損害

万一、本製品(添付のソフトウェア等も含みます)の不 具合によって所期の結果が得られなかったとしても、そ のことから生じた付随的な損害(本製品を使用するため に要した諸費用、および本製品を使用することにより得 られたであろう利益の損失等)は、補償致しかねます。

本製品の使用限定

本製品を航空機・列車・船舶・自動車などの運行に直接 関わる装置・防災防犯装置・各種安全装置など機能・精 度などにおいて高い信頼性・安全性が必要とされる用途 に使用される場合は、これらのシステム全体の信頼性お よび安全維持のためにフェールセーフ設計や冗長設計の 措置を講じるなど、システム全体の安全設計にご配慮い ただいた上で当社製品をご使用いただくようお願いいた します。本製品は、航空宇宙機器、幹線通信機器、原子 力制御機器、医療機器など、極めて高い信頼性・安全性 が必要とされる用途への使用を意図しておりませんので、 これらの用途には本製品の適合性をお客様において十分 ご確認の上、ご判断ください。

液晶ディスプレイについて

画面の一部に点灯しない画素や常時点灯する画素が存在 する場合があります。また液晶の特性上、明るさにムラ が生じることがありますが、故障ではありません。

プリンター本体の廃棄

事業所など業務でお使いのときは、産業廃棄物処理業者 に廃棄物処理を委託するなど、法令に従って廃棄してく ださい。

ー般家庭でお使いのときは、必ず法令や地域の条例、自 治体の指示に従って廃棄してください。

複製が禁止されている印刷物

紙幣、有価証券などをプリンターで印刷すると、その印 刷物の使用如何に係わらず、法律に違反し、罰せられま す。

(関連法律)刑法第 148 条、第 149 条、第 162 条 通貨及証券模造取締法第 1 条、第 2 条など 以下の行為は、法律により禁止されています。

- 紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債証券、地方証券
 を複製すること(見本印があっても不可)
- •日本国外で流通する紙幣、貨幣、証券類を複製すること
- 政府の模造許可を得ずに未使用郵便切手、郵便はがきな どを複製すること
- 政府発行の印紙、法令などで規定されている証紙類を複 製すること

次のものは、複製するにあたり注意が必要です。

- 民間発行の有価証券(株券、手形、小切手など)、定期
 券、回数券など
- パスポート、免許証、車検証、身分証明書、通行券、食券、切符など

著作権

写真・書籍・地図・図面・絵画・版画・音楽・映画・プ ログラムなどの著作権物は、個人(家庭内その他これに 準ずる限られた範囲内)で使用するために複製する以外 は著作権者の承認が必要です。

電波障害自主規制

この装置は、クラスA情報技術装置です。この装置を家 庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがありま す。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求 されることがあります。

VCCI-A

瞬時電圧低下

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都 合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策と しては、交流無停電電源装置等を使用されることをお勧 めします。(社団法人 電子情報技術産業協会のパーソナル コンピューターの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づ く表示)

電源高調波

この装置は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合して います。

Info-ZIP copyright and license

This is version 2007-Mar-4 of the Info-ZIP license. The definitive version of this document should be available at ftp://ftp.info-zip.org/pub/infozip/ license.html indefinitely and a copy at http:// www.info-zip.org/pub/infozip/license.html.

Copyright (c) 1990-2007 Info-ZIP. All rights reserved.

For the purposes of this copyright and license, "Info-ZIP" is defined as the following set of individuals:

Mark Adler, John Bush, Karl Davis, Harald Denker, Jean-Michel Dubois, Jean-loup Gailly, Hunter Goatley, Ed Gordon, Ian Gorman, Chris Herborth, Dirk Haase, Greg Hartwig, Robert Heath, Jonathan Hudson, Paul Kienitz, David Kirschbaum, Johnny Lee, Onno van der Linden, Igor Mandrichenko, Steve P. Miller, Sergio Monesi, Keith Owens, George Petrov, Greg Roelofs, Kai Uwe Rommel, Steve Salisbury, Dave Smith, Steven M. Schweda, Christian Spieler, Cosmin Truta, Antoine Verheijen, Paul von Behren, Rich Wales, Mike White.

This software is provided "as is," without warranty of any kind, express or implied. In no event shall Info-ZIP or its contributors be held liable for any direct, indirect, incidental, special or consequential damages arising out of the use of or inability to use this software.

Permission is granted to anyone to use this software for any purpose, including commercial applications, and to alter it and redistribute it freely, subject to the above disclaimer and the following restrictions:

- 1. Redistributions of source code (in whole or in part) must retain the above copyright notice, definition, disclaimer, and this list of conditions.
- 2. Redistributions in binary form (compiled executables and libraries) must reproduce the above copyright notice, definition, disclaimer, and this list of conditions in documentation and/or other materials provided with the distribution. The sole exception to this condition is redistribution of a standard UnZipSFX binary (including SFXWiz) as part of a self-extracting archive; that is permitted without inclusion of this license, as long as the normal SFX banner has not been removed from the binary or disabled.

- 3. Altered versions--including, but not limited to, ports to new operating systems, existing ports with new graphical interfaces, versions with modified or added functionality, and dynamic, shared, or static library versions not from Info-ZIP--must be plainly marked as such and must not be misrepresented as being the original source or, if binaries, compiled from the original source. Such altered versions also must not be misrepresented as being Info-ZIP releases--including, but not limited to, labeling of the altered versions with the names "Info-ZIP" (or any variation thereof, including, but not limited to, different capitalizations), "Pocket UnZip," "WiZ" or "MacZip" without the explicit permission of Info-ZIP. Such altered versions are further prohibited from misrepresentative use of the Zip-Bugs or Info-ZIP e-mail addresses or the Info-ZIP URL(s), such as to imply Info-ZIP will provide support for the altered versions.
- Info-ZIP retains the right to use the names "Info-ZIP," "Zip," "UnZip," "UnZipSFX," "WiZ," "P ocket UnZip," "Pocket Zip," and "MacZip" for its own source and binary releases.

Bonjour

This printer product includes the open source software programs which apply the Apple Public Source License Version1.2 or its latest version ("Bonjour Programs").

We provide the source code of the Bonjour Programs pursuant to the Apple Public Source License Version1.2 or its latest version until five (5) years after the discontinuation of same model of this printer product. If you desire to receive the source code of the Bonjour Programs, please see the "Contacting Customer Support" in Appendix or Printing Guide of this User's Guide, and contact the customer support of your region.

You can redistribute Bonjour Programs and/or modify it under the terms of the Apple Public Source License Version1.2 or its latest version

These Bonjour Programs are WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE.

The Apple Public Source License Version1.2 is as follows. You also can see the Apple Public Source License Version1.2 at

http://www.opensource.apple.com/apsl/.

APPLE PUBLIC SOURCE LICENSE Version 2.0 - August 6, 2003 1. General; Definitions. This License applies to any program or other work which Apple Computer, Inc. ("Apple") makes publicly available and which contains a notice placed by Apple identifying such program or work as "Original Code" and stating that it is subject to the terms of this Apple Public Source License version 2.0 ("License"). As used in this License:

1.1 "Applicable Patent Rights" mean: (a) in the case where Apple is the grantor of rights, (i) claims of patents that are now or hereafter acquired, owned by or assigned to Apple and (ii) that cover subject matter contained in the Original Code, but only to the extent necessary to use, reproduce and/or distribute the Original Code without infringement; and (b) in the case where You are the grantor of rights, (i) claims of patents that are now or hereafter acquired, owned by or assigned to You and (ii) that cover subject matter in Your Modifications, taken alone or in combination with Original Code.

1.2 "Contributor" means any person or entity that creates or contributes to the creation of Modifications.

1.3 "Covered Code" means the Original Code, Modifications, the combination of Original Code and any Modifications, and/or any respective portions thereof.

1.4 "Externally Deploy" means: (a) to sublicense, distribute or otherwise make Covered Code available, directly or indirectly, to anyone other than You; and/or (b) to use Covered Code, alone or as part of a Larger Work, in any way to provide a service, including but not limited to delivery of content, through electronic communication with a client other than You.

1.5 "Larger Work" means a work which combines Covered Code or portions thereof with code not governed by the terms of this License.

1.6 "Modifications" mean any addition to, deletion from, and/or change to, the substance and/or structure of the Original Code, any previous Modifications, the combination of Original Code and any previous Modifications, and/or any respective portions thereof. When code is released as a series of files, a Modification is: (a) any addition to or deletion from the contents of a file containing Covered Code; and/or (b) any new file or other representation of computer program statements that contains any part of Covered Code. 1.7 "Original Code" means (a) the Source Code of a program or other work as originally made available by Apple under this License, including the Source Code of any updates or upgrades to such programs or works made available by Apple under this License, and that has been expressly identified by Apple as such in the header file(s) of such work; and (b) the object code compiled from such Source Code and originally made available by Apple under this License

1.8 "Source Code" means the human readable form of a program or other work that is suitable for making modifications to it, including all modules it contains, plus any associated interface definition files, scripts used to control compilation and installation of an executable (object code).

1.9 "You" or "Your" means an individual or a legal entity exercising rights under this License. For legal entities, "You" or "Your" includes any entity which controls, is controlled by, or is under common control with, You, where "control" means (a) the power, direct or indirect, to cause the direction or management of such entity, whether by contract or otherwise, or (b) ownership of fifty percent (50%) or more of the outstanding shares or beneficial ownership of such entity.

2. Permitted Uses; Conditions & Restrictions. Subject to the terms and conditions of this License, Apple hereby grants You, effective on the date You accept this License and download the Original Code, a world-wide, royalty-free, non-exclusive license, to the extent of Apple's Applicable Patent Rights and copyrights covering the Original Code, to do the following:

2.1 Unmodified Code. You may use, reproduce, display, perform, internally distribute within Your organization, and Externally Deploy verbatim, unmodified copies of the Original Code, for commercial or non-commercial purposes, provided that in each instance:

(a) You must retain and reproduce in all copies of Original Code the copyright and other proprietary notices and disclaimers of Apple as they appear in the Original Code, and keep intact all notices in the Original Code that refer to this License; and

(b) You must include a copy of this License with every copy of Source Code of Covered Code and documentation You distribute or Externally Deploy, and You may not offer or impose any terms on such Source Code that alter or restrict this License or the recipients' rights hereunder, except as permitted under Section 6. 2.2 Modified Code. You may modify Covered Code and use, reproduce, display, perform, internally distribute within Your organization, and Externally Deploy Your Modifications and Covered Code, for commercial or non-commercial purposes, provided that in each instance You also meet all of these conditions:

(a) You must satisfy all the conditions of Section 2.1 with respect to the Source Code of the Covered Code;

(b) You must duplicate, to the extent it does not already exist, the notice in Exhibit A in each file of the Source Code of all Your Modifications, and cause the modified files to carry prominent notices stating that You changed the files and the date of any change; and

(c) If You Externally Deploy Your Modifications, You must make Source Code of all Your Externally Deployed Modifications either available to those to whom You have Externally Deployed Your Modifications, or publicly available. Source Code of Your Externally Deployed Modifications must be released under the terms set forth in this License, including the license grants set forth in Section 3 below, for as long as you Externally Deploy the Covered Code or twelve (12) months from the date of initial External Deployment, whichever is longer. You should preferably distribute the Source Code of Your Externally Deployed Modifications electronically (e.g. download from a web site).

2.3 Distribution of Executable Versions. In addition, if You Externally Deploy Covered Code (Original Code and/or Modifications) in object code, executable form only, You must include a prominent notice, in the code itself as well as in related documentation, stating that Source Code of the Covered Code is available under the terms of this License with information on how and where to obtain such Source Code.

2.4 Third Party Rights. You expressly acknowledge and agree that although Apple and each Contributor grants the licenses to their respective portions of the Covered Code set forth herein, no assurances are provided by Apple or any Contributor that the Covered Code does not infringe the patent or other intellectual property rights of any other entity. Apple and each Contributor disclaim any liability to You for claims brought by any other entity based on infringement of intellectual property rights or otherwise. As a condition to exercising the rights and licenses granted hereunder, You hereby assume sole responsibility to secure any other intellectual property rights needed, if any. For example, if a third party patent license is required to allow You to distribute the Covered Code, it is Your responsibility to acquire that license before distributing the Covered Code.

3. Your Grants. In consideration of, and as a condition to, the licenses granted to You under this License, You hereby grant to any person or entity receiving or distributing Covered Code under this License a non-exclusive, royalty-free, perpetual, irrevocable license, under Your Applicable Patent Rights and other intellectual property rights (other than patent) owned or controlled by You, to use, reproduce, display, perform, modify, sublicense, distribute and Externally Deploy Your Modifications of the same scope and extent as Apple's licenses under Sections 2.1 and 2.2 above.

4. Larger Works. You may create a Larger Work by combining Covered Code with other code not governed by the terms of this License and distribute the Larger Work as a single product. In each such instance, You must make sure the requirements of this License are fulfilled for the Covered Code or any portion thereof.

5. Limitations on Patent License. Except as expressly stated in Section 2, no other patent rights, express or implied, are granted by Apple herein. Modifications and/ or Larger Works may require additional patent licenses from Apple which Apple may grant in its sole discretion.

6. Additional Terms. You may choose to offer, and to charge a fee for, warranty, support, indemnity or liability obligations and/or other rights consistent with the scope of the license granted herein ("Additional Terms") to one or more recipients of Covered Code. However, You may do so only on Your own behalf and as Your sole responsibility, and not on behalf of Apple or any Contributor. You must obtain the recipient's agreement that any such Additional Terms are offered by You alone, and You hereby agree to indemnify, defend and hold Apple and every Contributor harmless for any liability incurred by or claims asserted against Apple or such Contributor by reason of any such Additional Terms.

7. Versions of the License. Apple may publish revised and/ or new versions of this License from time to time. Each version will be given a distinguishing version number. Once Original Code has been published under a particular version of this License, You may continue to use it under the terms of that version. You may also choose to use such Original Code under the terms of any subsequent version of this License published by Apple. No one other than Apple has the right to modify the terms applicable to Covered Code created under this License. 付録

8. NO WARRANTY OR SUPPORT. The Covered Code may contain in whole or in part pre-release, untested, or not fully tested works. The Covered Code may contain errors that could cause failures or loss of data, and may be incomplete or contain inaccuracies. You expressly acknowledge and agree that use of the Covered Code, or any portion thereof, is at Your sole and entire risk. THE COVERED CODE IS PROVIDED "AS IS" AND WITHOUT WARRANTY, UPGRADES OR SUPPORT OF ANY KIND AND APPLE AND APPLE'S LICENSOR(S) (COLLECTIVELY REFERRED TO AS "APPLE" FOR THE PURPOSES OF SECTIONS 8 AND 9) AND ALL CONTRIBUTORS EXPRESSLY DISCLAIM ALL WARRANTIES AND/OR CONDITIONS, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES AND/OR CONDITIONS OF MERCHANTABILITY, OF SATISFACTORY QUALITY, OF FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, OF ACCURACY, OF QUIET ENJOYMENT, AND NONINFRINGEMENT OF THIRD PARTY RIGHTS. APPLE AND EACH CONTRIBUTOR DOES NOT WARRANT AGAINST INTERFERENCE WITH YOUR ENJOYMENT OF THE COVERED CODE, THAT THE FUNCTIONS CONTAINED IN THE COVERED CODE WILL MEET YOUR REQUIREMENTS, THAT THE OPERATION OF THE COVERED CODE WILL BE UNINTERRUPTED OR ERROR-FREE, OR THAT DEFECTS IN THE COVERED CODE WILL BE CORRECTED. NO ORAL OR WRITTEN INFORMATION OR ADVICE GIVEN BY APPLE, AN APPLE AUTHORIZED REPRESENTATIVE OR ANY CONTRIBUTOR SHALL CREATE A WARRANTY. You acknowledge that the Covered Code is not intended for use in the operation of nuclear facilities, aircraft navigation, communication systems, or air traffic control machines in which case the failure of the Covered Code could lead to death, personal injury, or severe physical or environmental damage.

9. LIMITATION OF LIABILITY. TO THE EXTENT NOT PROHIBITED BY LAW, IN NO EVENT SHALL APPLE OR ANY CONTRIBUTOR BE LIABLE FOR ANY INCIDENTAL, SPECIAL, INDIRECT OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF OR RELATING TO THIS LICENSE OR YOUR USE OR INABILITY TO USE THE COVERED CODE, OR ANY PORTION THEREOF, WHETHER UNDER A THEORY OF CONTRACT, WARRANTY, TORT (INCLUDING NEGLIGENCE), PRODUCTS LIABILITY OR OTHERWISE, EVEN IF APPLE OR SUCH CONTRIBUTOR HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES AND NOTWITHSTANDING THE FAILURE OF ESSENTIAL PURPOSE OF ANY REMEDY. SOME JURISDICTIONS DO NOT ALLOW THE LIMITATION OF LIABILITY OF INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES, SO THIS LIMITATION MAY NOT APPLY TO YOU. In no event shall Apple's total liability to You for all damages (other than as may be required by applicable law) under this License exceed the amount of fifty dollars (\$50.00).

10. Trademarks. This License does not grant any rights to use the trademarks or trade names "Apple", "Apple Computer", "Mac", "Mac OS", "QuickTime", "QuickTime Streaming Server" or any other trademarks, service marks, logos or trade names belonging to Apple (collectively "Apple Marks") or to any trademark, service mark, logo or trade name belonging to any Contributor. You agree not to use any Apple Marks in or as part of the name of products derived from the Original Code or to endorse or promote products derived from the Original Code other than as expressly permitted by and in strict compliance at all times with Apple's third party trademark usage guidelines which are posted at http:// www.apple.com/legal/guidelinesfor3rdparties.html.

11. Ownership. Subject to the licenses granted under this License, each Contributor retains all rights, title and interest in and to any Modifications made by such Contributor. Apple retains all rights, title and interest in and to the Original Code and any Modifications made by or on behalf of Apple ("Apple Modifications"), and such Apple Modifications will not be automatically subject to this License. Apple may, at its sole discretion, choose to license such Apple Modifications under this License, or on different terms from those contained in this License or may choose not to license them at all.

12. Termination.

12.1 Termination. This License and the rights granted hereunder will terminate:

(a) automatically without notice from Apple if You fail to comply with any term(s) of this License and fail to cure such breach within 30 days of becoming aware of such breach;

(b) immediately in the event of the circumstances described in Section 13.5(b); or

(c) automatically without notice from Apple if You, at any time during the term of this License, commence an action for patent infringement against Apple; provided that Apple did not first commence an action for patent infringement against You in that instance.

12.2 Effect of Termination. Upon termination, You agree to immediately stop any further use, reproduction, modification, sublicensing and distribution of the Covered Code. All sublicenses to the Covered Code which have been properly granted prior to termination shall survive any termination of this License. Provisions which, by their nature, should remain in effect beyond the termination of this License shall survive, including but not limited to Sections 3, 5, 8, 9, 10, 11, 12.2 and 13. No party will be liable to any other for compensation, indemnity or damages of any sort solely as a result of terminating this License will be without prejudice to any other right or remedy of any party.

13. Miscellaneous.

13.1 Government End Users. The Covered Code is a "commercial item" as defined in FAR 2.101. Government software and technical data rights in the Covered Code include only those rights customarily provided to the public as defined in this License. This customary commercial license in technical data and software is provided in accordance with FAR 12.211 (Technical Data) and 12.212 (Computer Software) and, for Department of Defense purchases, DFAR 252.227-7015 (Technical Data -- Commercial Items) and 227.7202-3 (Rights in Commercial Computer Software or Computer Software Documentation). Accordingly, all U.S. Government End Users acquire Covered Code with only those rights set forth herein.

13.2 Relationship of Parties. This License will not be construed as creating an agency, partnership, joint venture or any other form of legal association between or among You, Apple or any Contributor, and You will not represent to the contrary, whether expressly, by implication, appearance or otherwise. 13.3 Independent Development. Nothing in this License will impair Apple's right to acquire, license, develop, have others develop for it, market and/or distribute technology or products that perform the same or similar functions as, or otherwise compete with, Modifications, Larger Works, technology or products that You may develop, produce, market or distribute.

13.4 Waiver; Construction. Failure by Apple or any Contributor to enforce any provision of this License will not be deemed a waiver of future enforcement of that or any other provision. Any law or regulation which provides that the language of a contract shall be construed against the drafter will not apply to this License.

13.5 Severability. (a) If for any reason a court of competent jurisdiction finds any provision of this License, or portion thereof, to be unenforceable, that provision of the License will be enforced to the maximum extent permissible so as to effect the economic benefits and intent of the parties, and the remainder of this License will continue in full force and effect. (b) Notwithstanding the foregoing, if applicable law prohibits or restricts You from fully and/or specifically complying with Sections 2 and/or 3 or prevents the enforceability of either of those Sections, this License will immediately terminate and You must immediately discontinue any use of the Covered Code and destroy all copies of it that are in your possession or control.

13.6 Dispute Resolution. Any litigation or other dispute resolution between You and Apple relating to this License shall take place in the Northern District of California, and You and Apple hereby consent to the personal jurisdiction of, and venue in, the state and federal courts within that District with respect to this License. The application of the United Nations Convention on Contracts for the International Sale of Goods is expressly excluded.

13.7 Entire Agreement; Governing Law. This License constitutes the entire agreement between the parties with respect to the subject matter hereof. This License shall be governed by the laws of the United States and the State of California, except that body of California law concerning conflicts of law.

Where You are located in the province of Quebec, Canada, the following clause applies: The parties hereby confirm that they have requested that this License and all related documents be drafted in English.

Les parties ont exigé que le présent contrat et tous les documents connexes soient rédigés en anglais.

EXHIBIT A.

"Portions Copyright (c) 1999-2003 Apple Computer, Inc. All Rights Reserved.

This file contains Original Code and/or Modifications of Original Code as defined in and that are subject to the Apple Public Source License Version 2.0 (the 'License'). You may not use this file except in compliance with the License. Please obtain a copy of the License at http:// www.opensource.apple.com/apsl/ and read it before using this file.

The Original Code and all software distributed under the License are distributed on an 'AS IS' basis, WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESS OR IMPLIED, AND APPLE HEREBY DISCLAIMS ALL SUCH WARRANTIES, INCLUDING WITHOUT LIMITATION, ANY WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, QUIET ENJOYMENT OR NON-INFRINGEMENT. Please see the License for the specific language governing rights and limitations under the License."